

令和4年第5回都城市議会定例会（12月）

公の施設の指定管理者の指定議案関係資料  
（議案第191号～第199号）



## 目 次

議案 番号	公の施設の名称	指定管理者候補者の名称	頁
191	都城市リサイクルプラザ	真栄産業株式会社	1
192	都城市東霧島多目的集会所	都城市高崎地区まちづくり協議会	29
	都城市前田多目的集会所		
	都城市縄瀬多目的集会所		
	都城市大牟田多目的集会所		
	都城市笛水多目的集会所		
	都城市江平農村環境改善センター		
	高崎江平市民広場		
	高崎縄瀬市民広場		
	高崎前田市民広場		
	高崎東霧島市民広場		
	高崎示野原市民広場		
193	都城市公設地方卸売市場	株式会社都城公設卸売市場	37
194	早水公園体育文化センター	N P O 法人都城ぼんちスポーツクラブ	49
195	山之口運動公園	一般社団法人都城市スポーツコミッション	63
	都城運動公園		
196	都城市南部ふれあい広場	都城市南部ふれあい広場管理運営委員会	125
197	都城市立図書館	M A L コンソーシアム	135
	都城市立高城図書館		
198	都城市子育て世代活動支援センター	社会福祉法人善隣館福祉会	163
199	都城市未来創造ステーション	都城まちづくり株式会社	181
	都城市まちなか広場		
	都城市まちなか交流センター		
	都城市中央バス待合所		
	都城市中心市街地中核施設附帯駐車場		





## 都城市リサイクルプラザ施設指定管理者候補者選定の概要

都城市リサイクルプラザの指定管理者については、次のとおり候補となる団体を公募により選定しました。

なお、選定された団体を指定管理者とする議案が、令和４年１２月議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営に当たることとなります。

### １．指定管理者候補者の概要

#### （１）団体の名称

真栄産業株式会社

#### （２）代表者名

代表取締役 堀之内 真司

#### （３）所在地

都城市神之山町４８２４番地

#### （４）設立年月日

昭和４９年８月２２日

#### （５）従業員数

９５名

#### （６）業務内容

一般廃棄物並びに産業廃棄物収集運搬並びに処理業

貨物自動車運送業

砂利、砂、玉石、栗石の採取並びに販売業

セメントおよび土木建築工事用資材の販売業

土木工事業、建築工事業、大工工事業、とび・土工工事業、管工事業

鋼構造物工事業、舗装工事業、造園工事業、水道施設工事業 他

### ２．指定期間

令和５年４月１日 ～ 令和１０年３月３１日（５年間）

### ３．施設及び業務の概要

#### （１）施設概要

施設名及び所在地	施設規模等
都城市リサイクルプラザ （都城市下水流町４０２８ 番地１１）	敷地面積：４１，６６７㎡ 延床面積：１２，３６６㎡

#### （２）業務概要

- ①リサイクルプラザ運転管理業務
- ②リサイクルプラザ保守点検管理等業務
- ③運搬等業務
- ④リサイクルプラザ管理工房展示棟の企画運営等に関する業務

#### 4. 事業計画の概要

事業計画書概要版のとおり

#### 5. 選定結果の概要

##### (1) 公募の状況

##### ①申請団体数

1 団体

##### ②指定管理者候補者選定までの経過

令和4年6月10日

第1回選定委員会開催

令和4年6月15日～令和4年7月14日

募集（広報都城6月号、市ホームページに掲載）

令和4年7月21日

申請書類受付

～令和4年8月10日

令和4年10月11日

第2回選定委員会開催、書類審査・面接審査

令和4年10月12日

選定結果報告

##### (2) 都城市指定管理者候補者選定委員会委員構成

委員構成		人数
有識者	学識経験者	1 人
	税理士	1 人
	行政書士	1 人
	環境専門家	1 人
施設利用者代表		1 人
市課長職		2 人

##### (3) 選定理由

令和4年6月10日及び10月11日に都城市指定管理者候補者選定委員会において、書類審査・面接審査をもとに、選定基準に基づいて総合的に審査・選考（総合得点方式）を行った結果、以下の理由で真栄産業株式会社が指定管理者として適正であると判断しました。

「選定基準1 市民の平等な利用が確保されること」

- ・施設の設置目的を理解した、団体としての明確な運営方針が示されているこ

と。

- ・資源の有効利用の観点から、リユース品の販売に力を入れており、結果としてゴミ減量が見込まれること。
- ・市民への啓発活動にも積極的に取り組んでいること。
- ・相談窓口などクレーム処理への対応が構築されていること。

「選定基準2 事業計画の内容が施設の効用を最大限に発揮するものであること」

- ・自転車等の専門的技術者も配置し、安全に配慮しながらリサイクルを実施していること。
- ・ラジオ番組に毎週出演するなど広報活動を行っていること。

「選定基準3 経済的な管理運営が図られ、経費配分が適正であること」

- ・実績を踏まえた提案となっており、経費配分が具体的に明示してあること。
- ・業務の効率化が図られるような労務管理をされていること。

「選定基準4 事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有していること」

- ・実態を踏まえた人員体制の提案となっており、また社員教育（研修）を積極的に行うことで、利用者への接遇向上に努めていること。

「選定基準5 地域に貢献する取組が確保されていること」

- ・環境まつり等を開催し、地域と交流・連携を深めていること。

「選定基準6 その他、公の施設を管理させるに当たり必要な基準」

- ・国際規格 ISO14001、ISO45001 に基づく環境マネジメントに対する取組が明示されていること。
- ・他市県施設の視察を通して、職務に活かす姿勢があること。

#### （4）選定委員会における主な意見

〈選定基準に関する事項〉

- ・選定基準については、施設の特性を考慮し、今後新型コロナウイルス感染症の感染拡大も落ち着くと思われるため、これからの利用の促進及びサービス利便性の維持向上に関する項目に重点的に配点を行った。

〈指定申請書記載事項について〉

- ・今後の管理・運営については、これまでの実績を含め、実態を踏まえた人員体制での安定的な運営が見込まれる提案である。
- ・市民への啓発活動の一環として、独自でラジオの出演等を含め、今後の広報活動の取組に期待が出来る。
- ・接遇や再利用の考えを組織的に社員への研修・教育の実施に力を入れている状況を感じられる。
- ・地域交流の促進において、環境まつり等を実施し地域の方々と交流を深める

提案がある。

- (5) 選定結果  
別紙のとおり

選定結果

選定基準	配点	採点結果	審査項目	一人当たりの配点	審査内容
		真栄産業株式会社			
1. 市民の平等な利用が確保されること	175	142.6	管理運営方針等	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の管理方針の認識</li> <li>・施設の設置目的である廃棄物の減量と資源の有効利用の考え方</li> <li>・申請団体の経営モラル</li> <li>・環境に配慮した取り組み</li> </ul>
			平等利用	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用申込等が平等な利用を確保する提案</li> <li>・当該施設に係る相談や苦情等への対応の考え方</li> </ul>
2. 事業計画の内容が施設の効用を最大限に発揮するものであること	266	193.6	利用の促進	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発施設の管理運営及び展示物の有効利用の提案</li> <li>・廃棄物の減量及び資源の有効利用に関する情報収集及び体験学習等についての提案</li> <li>・リサイクル工房の有効活用の提案</li> <li>・不用品の再生計画及び再生品の販売計画の提案</li> <li>・利用者増のための広報、PR 対策</li> </ul>
			サービス、利便性の維持向上	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者サービス・利便性の維持向上に関する提案</li> <li>・施設の維持管理、安全管理の内容</li> <li>・施設の設備、機能等の有効活用の提案</li> <li>・適切な利用料金及び利用料金収入の提案</li> </ul>
3. 経済的な管理運営が図られ、経費配分が適正であること	63	44.4	経費配分	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理料の提案額（収支予算書）</li> <li>・具体的な管理業務の効率化の提案</li> <li>・適正な経費配分の考え方、提案</li> </ul>

4. 事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有していること	2 5 9	1 9 7	物的能力	2 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支計画の積算根拠の明確性（収支予算書）</li> <li>・収支計画と事業計画の整合性（収支予算書・事業計画書）</li> <li>・直近3年間における類似施設の良い運営実績（主要業務実績）</li> <li>・安定した運営が可能な申請団体の財務状況（貸借対照表・損益計算書）</li> </ul>
			人的能力	1 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織体制、勤務体制、責任体制</li> <li>・利用者の指導</li> <li>・職員の指導育成、研修体制</li> <li>・個人情報保護、情報公開及び労働法令等の認識</li> </ul>
5. 地域に貢献する取り組みが確保されていること	1 1 2	9 5. 2	地域貢献	1 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都城市内に本店を有するか。</li> <li>・地域雇用の考え方が示されているか。</li> <li>・関係団体や地域住民との連携、交流の提案</li> </ul>
6. その他、公の施設を管理させるに当たり必要な基準	1 0 5	8 7. 4	法令順守等	1 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設管理に必要な基準等の理解度</li> <li>・法令順守についての考え方</li> <li>・法令順守に関する取り組み</li> </ul>
合計	9 8 0	7 6 0. 2		1 4 0	
〈参考〉：提案金額 （単位：千円）	9 3, 1 1 2 千円		（令和5年度）		

※提案金額をそのまま指定管理料として決定するものではなく、予算査定等を経て市議会の議決により決定するものです。

# 事業計画書

申請団体名： 真栄産業株式会社

希望する施設名： 都城市リサイクルプラザ

## (1) 市民の平等な利用に関すること

### ※ 当該施設の管理運営方針等についての提案

- 都城市リサイクルプラザの運営については、単純にごみ処理施設の運営ではなくごみの減量化も踏まえた取組及び啓発活動であることを念頭に置きます。
- 公の施設の管理において、市民の使いやすい施設、親切的な対応、わかりやすい説明、安全対策など住民サービスの向上については最大の配慮を行います。
- 市民一人一人の要望に柔軟に応え、施設利用の効率化を図ることで、多様化する住民ニーズへ対応します。
- 現在までの豊富な実績経験を踏まえた管理経費の縮減を実施し、持続可能な社会における環境施設を形成します。
- 施設管理に必要な人員の確保及び従業員の環境学習・資格取得に力を入れ、人的能力の確保について安定させます。

### ※ 廃棄物の減量と資源の有効活用についての提案

4R 運動の推進 ～ 基本的な軸 ～

Refuse (リフューズ)	ごみとなるものは断る	レジ袋、使い捨て包装の商品など
Reduce (リデュース)	ごみの量を減らす	詰め替え品の利用、食品ロスの削減など
Reuse (リユース)	繰り返し使う	修理する、欲しい人に譲るなど
Recycle (リサイクル)	資源として再利用する	ごみ分別により資源として再生する

宮崎県が推奨する 4R 運動（全国的に推進されている 3R に Refuse を新たに加えたもの）を軸として施設の運営に取り組むとともに、市民への普及・啓発を施し、資源を繰り返し使う循環型の社会の形成を促進します。

#### ● 廃棄物の減量について (Refuse&Reduce)

物を消費するにあたり、その後繰り返し利用できるかどうかで判断し使用します。

#### ● 資源の有効利用の促進 (Reuse&Recycle)

ごみをリサイクルするには新たなエネルギーや費用が掛かる為、資源を再利用する上でリサイクルは最終手段として捉えます。リサイクルプラザという施設名とは相対しますが、リサイクル（再生利用）よりリユース（再利用）を優先することを市民に訴えかけます。ごみの分別が社会的ルールとして浸透し、年々資源ごみの量が増加傾向にあります。最終的には資源ごみの量も減らすことが持続可能な循環型社会への次のステップであり目標と考えます。

### ※ 経営モラルについて

現在、SDGs 達成など企業の社会に対する貢献に強い期待が高まる中、会社の利益を重視する企業価値だけではなく、企業が社会に及ぼす影響や社会的課題の解決への効果など、安定した経営に加えて社会的価値の創出が重要であり、企業価値＝社会的価値であると考えます。そういった社会的価値の筆頭に立つのが経営モラルであり、モラルのない会社経営の先に成長発展はなく、モラルある会社経営の先にこそ企業の成長発展があります。企業のモラルが信頼を生み出し、安定した企業継続や新しい事業の進出につながり、地域産業の発展や新規雇用の促進に寄与するものと考えます。

### ※ 環境に配慮した取り組みについての提案

- 国際規格 環境マネジメントシステム ISO14001 を根本的な理念とし、環境法令の遵守及び基準値の達成に取り組みます。なお、基本的な構造として最高経営層からのトップダウン型管理の上、PDCA サイクル（１）方針・計画（Plan）、（２）実施（Do）、（３）点検（Check）、（４）是正・見直し（Act）というプロセスを繰り返すことにより環境対策について継続的かつ効果的に改善していきます。
- 持続可能な開発目標 SDGs の達成に向けて施設として取り組みます。
  - ・施設の消費電力の削減
  - ・使用車両・重機の燃費向上・使用効率化及び燃料削減
  - ・不燃ごみの削減（啓発活動及び自治体・関連施設とも協同で実施）
  - ・再資源化量の向上及び埋立ごみの減少
  - ・さいせい館来館者数の上昇
  - ・さいせい品（リユース品）の増加
  - ・再生水の使用及び放流水の浄化
  - ・労働災害防止及び施設利用者の事故防止

～ 各々の項目について、目標及び実績を数値化し達成させます ～

### ※ 市民の平等利用の確保についての提案

- 市民からの施設利用の申し出または相談については、正当な理由がない限りこれを拒むことなく受け入れ、施設の平等性・公平性の確保に努めます。また、市民からの意見を一つ一つ尊重し、その申し出だけに対応するのではなく、施設利用の適正化や効率化に繋がるものではないかを吟味し取り入れます。施設従業員も一市民であることを強みとし、利用しやすい場所・親しみやすい施設の在り方を常日頃から意見を持ち寄ります。
- 施設の利用時間以外（平日 12 時～13 時及び毎週土曜日）であっても、電話応対・相談は行えるよう窓口を設け、サービスの向上に取り組みます。また、気軽にいつでも情報収集やメールでの問い合わせができるホームページを自主事業にて作成しているため、日中問い合わせ等できない方への配慮も行います。



## ホームページ内容



お知らせ / 施設紹介 / ごみ搬入 / 施設見学 / リサイクル / 採用情報

お問い合わせ

お知らせ / 施設紹介 / ごみ搬入 / 施設見学 / リサイクル / 採用情報

お問い合わせ

令和4年度 家庭ごみの出し方・分け方

燃やせるごみ

燃やせないごみ

資源物

その他

お問い合わせ

お問い合わせ

お知らせ / 施設紹介 / ごみ搬入 / 施設見学 / リサイクル / 採用情報

お問い合わせ

カレンダー

ごみ搬入カレンダー

さいせい館カレンダー

都城市リサイクルプラザ  
さいせい館

実は・・・  
ホームページ  
あります。

<https://m-recycle-plaza.com/>

※ 当該施設に係る相談や苦情等への対応についての提案

- 利用者の相談・苦情については積極的に受け入れるものとし、場合によってはこちらから施設への意見を求め、聞き取り、調査します。その場で解決できるものについては、即時対応することとしますが些細な事案であっても、メモをとり上司である管理職員に報告し、再度発生しないよう施設利用について見直します。即時対応できない事案については、その場で上司に報告し回答を仰ぎますが、場合によっては市役所担当課に連絡します。この時、回答を先延ばしにする、一向に返事をしない、見当違いの対応をするなどによって起きる二重クレームを避けるようにするとともに、個人の一時的な意見で対応せず、組織としての冷静な対応を心掛けます。

令和 年 月 日

## クレーム報告書

所属：リサイクルプラザ

担当：

発生日時			時間	
発生場所	<input type="checkbox"/> 受付 <input type="checkbox"/> プラット <input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> さいせい館 <input type="checkbox"/> その他( )			
連絡方法	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> HP <input type="checkbox"/> その他( )			
お客様連絡先	氏 名			
	フリガナ			
	住 所			
	連絡先			
クレーム内容				
対応内容				
備考				

受理担当者	責任者	担当

- 施設側のミスによる苦情については、即刻「申し訳ありませんでした」と陳謝します。その上で、相手の話を熱心に聞き、事情を理解し、相手の対面に立つのではなく隣に寄り添う態度で接することで、クレームではなく施設に関して満足して頂けるようにします。苦情対応は、人と人とのコミュニケーションであるということを意識して対応します。



## (2) 施設効用の発揮に関すること

### ※ 啓発施設の管理運営、展示物の有効活用についての提案

- 現在施設に備え付けの展示物を利用し施設見学やリサイクルについての説明に役立てます。

ペットボトル再生の流れ



処理施設の紹介



リサイクルゲーム



江戸時代のリサイクル



施設の点検及び修繕については常に行い、施設を維持・継続使用しているが取り巻く環境の変化・法令の改正等を踏まえて改善・撤去・再構築などを行っています。

- 指定管理者独自で新設した啓発施設及び展示物

昔の家具・道具コーナー



SDGs コーナー



再生資源の展示



分別できていないものの展示



利用者にごみに関する現状を伝える手段としての展示物を設置し、施設見学などに役立てているが、今後の環境の変化にも対応し新たな施設・展示物についても検討します。ただし、新設に関しては購入したりせず、施設で受け入れたものを使用することにより現実味が増し、利用者に訴えかけることができると考えます。

#### ※ 廃棄物の減量及び資源の有効利用に関する情報収集及び体験学習についての提案

- WEB・SNS等により常日頃からリサーチするとともに、他の類似施設やリサイクル関連施設に実際に赴き視察し情報を得る。

～ 現在までの視察見学実績 ～

- |                  |                             |
|------------------|-----------------------------|
| ・久留米市宮ノ陣クリーンセンター | … 分別していないごみの持込は禁止している       |
| ・エコクリーン宮崎        | … 資源ごみの分別は手作業でないとできないことを共感  |
| ・大分エコライフプラザ      | … 服などの可燃ごみも占着として無料配布        |
| ・しものせき環境みらい館     | … 体験学習は地元のボランティアと共同で行っている   |
| ・延岡リサイクルプラザ ゲン丸館 | … 缶とびんが一緒に回収される為、手選別が大変     |
| ・宮崎市民文化ホール       | … 3.3mのペットボトルツリーをイルミネーション展示 |

- コロナ禍により学校や団体の見学及び体験学習が減少している中、ペットボトル風鈴などリサイクル体験学習をホームページにて配信します。市民の方が簡単に閲覧でき、また、実際にリサイクルプラザに足を運ぶ方が増えることが期待できます。

#### ※ リサイクル工房の有効活用についての提案

- 家具工房については現在、机・椅子・食器棚・タンスなど月 50～60 品程度再生し販売しています。木製品であることが多い家具は、燃えるゴミとしてクリーンセンターに持ち込まれることが多い為、クリーンセンターと連携し、焼却処分せずにリサイクルプラザに再度持ち込み再生することでリサイクル量を増やしています。今後の活用提案として家具工房で再生不可能なテーブルやソファなど個別製品としては使えないが天板・足・金具などパーツとしては DIY などでも再利用価値のある単体パーツをリユース販売することにより更なる再資源化率の向上を目指します。
- アクセサリーなどの、指輪・ネックレス・時計などを修理して販売します。単純に修理し、きれいに磨いたものを販売するのではなく、再生される前の物を隣に展示するなど来館者の視覚を引き付けるようにすることでリサイクル工房を有効に活用できるものと考えます。



### ※ 不用品の再生計画及び再生品の販売計画についての提案

- 今年度から始めた制服リサイクルのように不要になった服や靴などをリユース・リサイクルします。親戚や親しい友人間で行われる「お下がり」的な感覚で、譲った方も譲られた方も喜ぶシステムをリサイクルプラザさいせい館で展開させたいです。

制服リサイクル（市内の中学校・高校）



制服（200 円～300 円で販売）



- 再生品として販売できない需要の無いものや壊れたものや修理できないものについては、その中からさらに厳選し、R4 年度より、自主事業にて株式会社ecommit<sup>エコミット</sup>と協定を結びリユースしています。4 月～7 月実績：9460 k g の再資源化になっております。搬出量は再資源化率の向上につながります。

### ※ 利用者を増やすための広報・PR 対策についての提案

- 自主事業にて開始したリサイクルプラザホームページにてリアルタイムに情報を掲載し発信する。そのためには、まずホームページがあることを FM ラジオやポスター掲示にて宣伝していきます。
- 家具や自転車にリサイクルプラザのロゴシールを貼り、口コミで利用者が増えるよう PR します。



- ラジオ番組、シティエフエム都城「素敵に 764」内にて毎週月曜日出演し PR を行います。

### ※ 利用者サービス・利便性の維持向上を図るための方法についての提案

- さいせい館リサイクル販売にて毎月 11 日、22 日はゾロ目ラッキーデーとしてくじ引きを行います。再生品販売額から 5%～30% の値引きを行います。
- 少量のごみであれば車から降りずに手渡しで受け取るドライブスルーを行います。
- 施設見学の受付などホームページ上で行え、受付用紙等ダウンロードできます。

### ※ 施設の維持管理、安全管理についての提案

- 施設・設備の点検・修繕について、日常・週間・月度・年間の計画を立て実施していきます。  
各点検については担当者のみならず、部門責任者・業務遂行責任者による二重チェック、三重チェックを行います。点検・修繕内容については、市担当者、月報で報告します。
- ごみ処理施設としての機能を大きく害するものや費用がかさむものに関しては、市担当者と協議を行い対応します。
- 安全管理については、危険予知・予防を重視し KY 活動、リスクアセスメント、ヒヤリハット報告などにより危険を摘み取ることを最優先します。その上で、いざ災害が起こった時を想定した訓練・体験を定期的に行います。

### ※ 施設の設備・機能等の有効活用についての提案

- 破碎施設（粗破碎機・回転破碎機）及びコンベア・モーター等の機器設備に負荷の掛からない運転・管理を行います。特に粗大ごみなどは手ばらし、バックホーなどで一次処理、二次処理をしたうえで処理機にかけることで機器の長寿命化や経済的費用を抑えることができます。
- リサイクル広場・サッカー場・会議室の無料開放を行い、施設の広報・PR 及び利用者の増加につなげる。
- 地震・大雨などによる災害発生時、都城市クリーンセンター及び一般廃棄物最終処分場と連携し災害ごみの受入を行う。その際、可燃ごみ・不燃ごみの両方ができるリサイクルプラザを第一受入拠点とし対応する。

### ※ 適切な利用料金及び利用料金収入についての提案

- 一般家庭ごみの受入料金に関しては 300kg 以下無料の為、年間 10,000 円にも満たない収入です。  
都城市リサイクルプラザでは再生品収入でごみ処理費用を補填している面があり、また、300kg 以上だと料金がかかる抑止力も備える為、現状が適切であると考えます。
- 事業系一般ごみに関しては、喫緊の物価高・燃料価格の高騰を踏まえると値上げせざるを得ない状況かと考えます。しかしながら、ごみ処理にかかる費用がひっ迫する理由とは別に廃棄物発生抑制及び産業廃棄物の混入防止を兼ね備えるものと捉えます。
- 一般家庭ごみ及び事業系ごみのどちらに関しても、この利用料金の違いを利用して廃棄物の減量化及び再資源化率の上昇につながる設定を行うことが適切だと考えます。



### (3) 経済的な管理運営に関すること

#### ※ 指定管理料の提案額についての提案

- 物価高・燃料高騰・賃金引上げ等の観点より指定管理料については管理運営に支障をきたさない範囲で提案したいと考えます。指定管理料は、ごみの処理費用の最低保証額と捉え管理します。

#### ※ 管理業務の効率化についての提案

- 人員配置については単に一つの作業に人員を各々充てるのではなく、時間ごと・日ごと・週ごと等短期的さらには、季節ごとの作業量の違いもある為、今やるべき作業・やらなくていい作業を見極めることで効率化を図ります。
- 機械作業を増やすことで人的能力をカバーもしくは円滑化を目指します。

粗大ごみの重機解体



スプレー缶・ガス缶穴あけ装置



- 処理棟の状況が常に把握できるように、監視モニターを設置し事務所と処理施設の連携の効率化を図ります。



※ 清掃・維持補修等に関する考え方についての提案（委託する場合は、その委託先等）

- 施設の清掃・維持管理については、基本的に全て指定管理者にて行います。清掃・点検についてはエリア・項目を定めて実施し記録します。
- 専門的分野や免許・資格等が必要な設備ならびに緊急性の高い項目については、委託業者をしますが委託先については、市内もしくは県内業者を選定します。

クレーン点検	…	あさひ電機		(都城市)
電気保安管理	…	九州電気保安協会	都城事業所	(都城市)
エレベーター	…	日立ビルシステム	都城営業所	(都城市)
自動扉設備	…	オリエント産業	宮崎支店	(宮崎市)
消防用設備	…	ヤマトボーデン		(都城市)
計量器設備	…	泰盛堂		(都城市)
貯水槽設備	…	保全		(宮崎市)
浄化槽設備	…	都城北諸地区清掃公社		(都城市)
排水処理設備	…	アクア分析センター		(都城市)
警備業務	…	セコム宮崎	都城支社	(都城市)
樹木造園管理	…	島田造園		(都城市)
重機年次点検	…	キング	都城営業所	(三股町)
車両点検検査	…	モリタ		(都城市)
〇A機器管理	…	宮崎電子機器	都城支店	(都城市)
清掃用品	…	西日本リースキン		(都城市)
工業用酸素・ガス	…	山口酸素		(都城市)
保険	…	損保ジャパン日本興亜	都城支社	(都城市)

※ 経費配分の具体的な内容（人件費等）についての提案

- 人件費については5年間の人数を固定。令和4年度を基準として毎年1.6%の昇給率を設定します。
- 消耗品費は、ペットボトル梱包用 PP バンド・白色トレイ専用袋など必要経費とするが、物価高の影響を受けるため初年度在庫を確保し毎年3%の費用削減を目指します。
- 燃料費については、原油高を想定し年度ごとに2%の上昇を設定。
- 光熱水費（主に電気料）は5年間固定とします。
- 修繕料については、施設設備・車両等の経年劣化を踏まえて2%の年度上昇率を設定。
- 通信運搬費については、回線の見直しを検討している為、毎年2%の費用削減を目指します。
- 広告料は年間契約額を固定しています。
- 手数料については銀行振込料及び自転車防犯登録手数料を固定額とし、2年に一度のクレーン検査手数料を計上しています。
- 保険料、使用料および賃借料、備品購入費は5年間固定します。
- 委託費のうち警備費用は固定、機械点検等の委託費用について毎度1.5%の上昇を見込みます。
- 公課費・研修・教育訓練費については5年間固定します。



#### (4) 安定的な施設の管理運営に関すること

##### ※ 収支計画の積算根拠について

- 運営に無理のない健全な計画を立てるとともに、収入及び支出に関して達成可能な目標を設定したうえで積算します。
- 利用料金については、ごみの減少を見越したうえで毎年度 3% の減収を見込みます。
- 再資源化物売払料は、令和元年度からの 3 年間の平均値を採用。今後 5 年間の金額は固定します。
- 再生品販売料の初年度（令和 5 年度）の金額 6,500,000 円については、再度、価格を見直しさらにリーズナブルな価格を設置し、お客様にも喜んでもらえて来館者数増を目指し毎年度 2% の増収を見込みます。
- その他収入は、主に古紙及び空びんの売り払い料で、過去 3 ヶ年の平均を固定しております。

##### ※ 類似施設運営実績について

- 都城市リサイクルプラザ 指定管理者 … 平成 27 年度 ～ 令和 4 年度 までの 8 年間
- 都城市一般廃棄物最終処分場 管理委託業務 … 平成 27 年度 ～ 令和 4 年度 までの 8 年間
- 大型焼却炉 真栄ファイナル・ファクトリー … 令和 3 年度より稼働

##### ※ 施設管理運営のための人員体制、連絡体制、勤務体制及び責任体制についての提案

- 業務遂行責任者 1 名、その下にさいせい館及び処理棟に 1 名ずつ部門管理者を配置する。  
管理者以外の人員配置は、破碎処理施設 10 名 手選別 6 名 事務所 2 名 さいせい館 1 名 さいせい館工房 2 名 清掃係 1 名の合計 25 名（うちパート職員 11 名）にて運営します。
- 報告・連絡については、各自無線機にて行い全従業員が同じチャンネルを使用し伝達漏れを防ぐようにします。
- 正社員について 4 周 8 休制を会社として規定しているため、毎週土曜日の休暇とそれ以外の休暇を施設運営に支障が無いよう計画します。
- トラブル時や問題発生時の責任はトップに置き、部門管理者・業務責任者・本社責任者、最終責任は社長に置くこととします。しかし、従業員個々の責任感および会社組織への積極的参加を促すため、毎日プラットリーダーを交代で定めて業務を行います。

##### ※ 利用者への指導についての提案

- 利用者への指導は、同じ一市民としての立場で接しながら行います。上から目線になることなく、また、指導する・教えるのではなく一緒に行う感覚を全従業員で共有します。
- ごみを分別する及びその分別方法が主に利用者に伝えることであり、それがどう地域にプラスになるのかを指導していきます。
- 再資源化技術が高まるほど、ごみの分別は複雑になり今まで無かった工程が増えます。そういったことも処理施設内もしくはホームページなどを利用して伝えます。

### ※ 職員の指導育成、研修体制についての提案

- 施設従業員の中には弊社がリサイクルプラザ指定管理を始める前から 10 年以上勤めている従業員が 2 名在籍しており、新人研修の際はマンツーマンで指導します。
- 施設の必要な資格・免許については教育訓練費を予算として従業員に順次習得させます。そのほか、法規制の改正により必要になった研修についても、担当従業員に即刻取得させます。
- 他の類似施設及び関連施設に積極的に視察・研修を行い、都城市リサイクルプラザの運営及び廃棄物抑制・再資源化のヒントなどを得ます。

### ※ 個人情報保護、情報公開及び労働法令等の考え方についての提案

- 個人情報保護及び情報公開について、都城市個人情報保護条例と関連法令及びその他規範に基づき規定により、個人情報の収集手段、目的についての禁止事項を遵守し、漏洩等の防止に努めます。
- 個人情報保護法及び情報公開制度について、内部研修を実施し適正な管理を行います。
- ISO45001 労働安全衛生マネジメントシステムを本社連動して構築し、労働法令の遵守に努めます。

## (5) 地域への貢献に関すること

### ※ 本店、支店等の開設状況、所在地等について

- 本店 : 真栄産業株式会社  
所在地 : 宮崎県都城市神之山町 4824 番地
- 産廃処分場 : 真栄ファイナルファクトリー  
所在地 : 宮崎県都城市庄内町 13099-12

### ※ 地域雇用についての考え方

- 現在、リサイクルプラザで働く従業員はすべて宮崎県内在住であり、今後も地元在住の方を優先的に募集します。
- 手選別の女性パート職員については、全て地元志和池在住です。今後も、志和池の方々から募集します。

### ※ 地域貢献に関する具体的な取り組み内容について

- 地元保育園（金田保育園・こばと保育園）の運動会のため、サッカー場を開放しました。
- 毎週水曜日、上水流東高齢者クラブのグラウンドゴルフ場として広場を開放しております。
- 土・日曜日は FC 志和池(小学生サッカークラブ)にサッカー場を開放しております。

(6) その他、公の施設を管理するにあたり必要な基準に関すること

※ 法令遵守に対する考え方について

- 廃棄物処理法について、一般廃棄物の区別（家庭系・事業系）及び産業廃棄物との区別を明確にし、混同しないよう留意する。
- 各種労働法を遵守し、従業員の安全と健康の確保、快適な労働環境の形成を促進します。
- 法の改正や新分野への取組など、新たな活動に対してのコンプライアンス等には特に慎重になります。

※ 法令遵守に関する取り組みについて

- 弊社が取得している国際規格 ISO14001 及び ISO45001 のもと、サービス・活動の環境側面に関連する法的要求事項を追求したのち、遵守状況について数値化し評価します。
- 法に関する知識を共有する為、法の役割または、自分たちが取り組んでいることの意義及び今後取り組まなければならない理由について定期的に従業員教育・研修を実施する。

※ 関係団体や地域住民との連携、交流についての提案

- クリーンセンターや一般廃棄物最終処分場との連絡協議会を定期的に実施し、ごみの減量化・施設の問題点など連携を密にします。
- 県内の施設のみならず県外の類似施設及び関連施設に赴き、情報交換の手段を増やします。
- 隣接の志和池ふれあい広場・一般廃棄物最終処分場とは特に連携し、周辺の環境美化に努めます。
- 管内の学校・保育園・幼稚園・公民館など積極的に訪問し PR します。

(7) 公の施設を管理するにあたりアピールしたいこと

- 都城市リサイクルプラザの指定管理運営ならびに一般廃棄物最終処分場の業務を都城市より任せて頂けるようになり 8 年目になります。指定管理期間中は不燃ごみの処理率は 100% 処理できており、ごみの再資源化も滞りなく行ってまいりました。ガス缶の処理方法や小型家電の回収など様々な取り巻く環境の変化に、市役所担当環境施設課と共同して対応できております。

しかしながら、埋立ごみの削減、海洋プラスチック問題、ごみの減量化、再資源化率の増加などの課題は年を重ねるたびに増え、そして、大きくなっていきます。

今後も、それらの問題の解決に全身全霊で取り組み立ち向かって参ります。

「大量生産・大量消費・大量廃棄」の時代、使い捨て社会からの脱却を目指し、循環型の社会へ市民の手を引いて共に向かう民間の第一リーダーとしての責務に全うする所存です。

## 様式 6 (主要業務実績)

申請団体名 真栄産業 株式会社  
希望する施設名 都城市リサイクルプラザ

### 主 要 業 務 実 績

年 度	業 務 名 (施設名称等)	業 務 内 容 (業務概要・発注者等)	受注額 (円)
令和 2 年度	都城理リサイクルプラザ	都城市 指定管理業務	92,185,000 円
令和 3 年度	都城理リサイクルプラザ	都城市 指定管理業務	92,102,000 円
令和 4 年度	都城理リサイクルプラザ	都城市 指定管理業務	92,031,000 円
平成 31 ～令和 2 年度	都城市一般廃棄物最終処分場	都城市 管理業務委託	58,551,000 円
令和 3～ 6 年度	都城市一般廃棄物最終処分場	都城市 管理業務委託	68,797,300 円
令和 3 年度	社会資本整備総合交付金事業 都城運動公園整備 体育館外 解体工事	都城市	97,016,700 円
令和 3～ 5 年度	都城市一般廃棄物最終処分場 (第 3 期) 浸出水調整池建設工 事	都城市	352,046,200 円

(備考)

- ※ 過去 3 年間の主要実績業務について記入してください。  
(同様の施設管理実績がある場合は、これを優先して記入してください。)
- ※ 業務内容欄には、業務の概要、発注者等について可能な限り詳細に記入してください。
- ※ その他、申請団体の概要がわかる資料がある場合は、添付してください。

# 決 算 報 告 書

(第 47 期)

自 令和 2 年 8 月 1 日  
至 令和 3 年 7 月 31 日

真 栄 産 業 株 式 会 社

宮崎県都城市神之神町4824番地

# 貸借対照表

真栄産業 株式会社

令和 3年 7月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 554,887,092】	【流 動 負 債】	【 429,169,703】
現 金	713,553	工 事 未 払 金	196,118,453
預 金	164,421,634	未 払 金	88,904,636
売 掛 金	43,751,147	買 掛 金	134,035
完成工事未収入金	204,531,310	未 払 法 人 税 等	33,423,200
製 品	2,214,000	預 り 金	15,548,879
未 収 入 金	13,663,432	未 成 工 事 受 入 金	92,411,000
立 替 金	23,696	未 払 消 費 税	2,629,500
前 払 金	2,055,770	【固 定 負 債】	【 7,626,000】
未 成 工 事 支 出 金	124,892,550	特定災害防止準備金	7,626,000
貸 倒 引 当 金	△1,380,000	負 債 合 計	436,795,703
【固 定 資 産】	【 348,106,112】	純 資 産 の 部	
(有 形 固 定 資 産)	( 333,075,247)		
建 物 附 属 設 備	77,686	【株 主 資 本】	【 466,197,501】
構 築 物	218,904,984	資 本 金	20,000,000
機 械 装 置	11,951,783	(利 益 剰 余 金)	( 446,197,501)
車 両 運 搬 具	10,426,857	その他利益剰余金	446,197,501
工 具 器 具 備 品	769,904	別 途 積 立 金	215,000,000
土 地	87,018,410	繰 越 利 益 剰 余 金	231,197,501
建 設 仮 勘 定	3,925,623		
(無 形 固 定 資 産)	( 6,370,365)		
ソ フ ト ウ ェ ア	6,370,365		
(投資その他の資産)	( 8,660,500)		
出 資 金	850,000		
加 入 金	184,500		
特定災害防止積立金	7,626,000	純 資 産 合 計	466,197,501
資 産 合 計	902,993,204	負 債 ・ 純 資 産 合 計	902,993,204

# 損益計算書

真栄産業 株式会社

自 令和 2年 8月 1日

至 令和 3年 7月31日

単位：円

科 目	金 額	
<b>【完 成 工 事 高】</b>		
完 成 工 事 高	2,126,255,348	
売 上 高	280,958,593	
売上値引戻り高	△7,918	2,407,206,023
<b>【完 成 工 事 原 価】</b>		
期 首 棚 卸 高	8,842,800	
仕 入 高	869,195	
完 成 工 事 原 価	1,887,704,022	
* * 合 計 * *	1,897,416,017	
期 末 棚 卸 高	△2,214,000	1,895,202,017
完成工事総利益金額		512,004,006
<b>【販売費及び一般管理費】</b>		396,152,038
営 業 利 益 金 額		115,851,968
<b>【営 業 外 収 益】</b>		
受 取 利 息	2,269	
受 取 配 当 金	16,200	
雑 収 入	10,947,269	10,965,738
<b>【営 業 外 費 用】</b>		
支 払 利 息 割 引 料		865,595
経 常 利 益 金 額		125,952,111
<b>【特 別 利 益】</b>		
固 定 資 産 売 却 益		299,999
<b>【特 別 損 失】</b>		
固 定 資 産 除 却 損	466,458	
特定災害防止準備繰入	489,000	
固 定 資 産 圧 縮 損	2,000,000	2,955,458
税引前当期純利益金額		123,296,652
法人税、住民税及び事業税		39,303,500
当 期 純 利 益 金 額		83,993,152

# 販売費及び一般管理費

真栄産業 株式会社

自 令和 2年 8月 1日

至 令和 3年 7月31日

単位：円

科 目	金 額
役員報酬	21,896,000
給与手当	156,311,848
雑給	7,834,440
労務外注費	8,869,636
法定福利費	29,234,998
福利厚生費	8,931,459
外注費	6,629,260
旅費交通費	8,405,838
通信費	3,491,878
交際費	1,048,507
減価償却費	11,263,173
賃借料	4,950,978
保険料	11,639,505
修繕費	9,489,301
水道光熱費	1,861,726
燃料費	14,969,520
消耗品費	7,739,484
租税公課	9,624,934
運搬費	1,264,650
繰延資産償却費	104,000
事務用品費	1,388,875
広告宣伝費	2,836,258
支払手数料	5,140,006
諸会費	1,865,014
図書印刷費	1,061,616
貸倒引当金繰入額	1,090,000
タイヤ費	2,214,940
動力費	19,258,739
地代家賃	9,900,000
荷造運賃	150,356
寄付金	520,000
車両費	6,173,394
倒産防止共済	1,200,000
研修費	1,652,721
雑費	16,138,984
合 計	396,152,038



# 完成工事原価報告書

真栄産業 株式会社

自 令和 2年 8月 1日

至 令和 3年 7月31日

単位：円

科 目	金 額	
【材 料 費】		
主 要 材 料 費		250,918,741
【労 務 費】		
労 務 外 注 費		11,728,975
【外 注 加 工 費】		
外 注 費		1,271,492,863
【経 費】		
労 務 管 理 費	444,176	
通 信 交 通 費	21,082,008	
交 際 費	391,257	
減 価 償 却 費	2,890,465	
賃 借 料	50,000	
保 險 料	4,078,378	
荷 造 運 賃	1,212,706	
動 力 用 水 光 熱 費	979,046	
車 両 費	10,146	
消 耗 品 費	8,189,865	
租 税 公 課	9,407,344	
運 搬 費	24,667,524	
仮 設 経 費	26,114,564	
機 械 等 経 費	85,219,661	
給 料 手 当	121,228,627	
法 定 福 利 費	19,327,929	
福 利 厚 生 費	1,492,413	
事 務 用 品 費	1,709,756	
チ ャ ー タ ー 費	12,302,943	
地 代 家 賃	1,153,018	
夕 イ ヤ 費	14,200	
補 償 費	538,655	
雑 費	11,058,762	353,563,443
完 成 工 事 原 価		1,887,704,022

# 株主資本等変動計算書

真栄産業 株式会社

自 令和 2年 8月 1日

至 令和 3年 7月31日

単位：円

	株主資本					純資産合計
	資本金	利益剰余金			株主資本合計	
		その他利益剰余金		利益剰余金合計		
		別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	20,000,000	215,000,000	147,204,349	362,204,349	382,204,349	382,204,349
当期変動額						
当期純利益			83,993,152	83,993,152	83,993,152	83,993,152
当期変動額合計	-	-	83,993,152	83,993,152	83,993,152	83,993,152
当期末残高	20,000,000	215,000,000	231,197,501	446,197,501	466,197,501	466,197,501

## 個別注記表

真栄産業 株式会社

自 令和 2年 8月 1日

至 令和 3年 7月31日

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 固定資産の減価償却の方法

- 1) 有形固定資産・・・定率法。ただし、平成10年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法
- 2) 無形固定資産・・・定額法

#### 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

#### その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

##### 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

### 貸借対照表等に関する注記

#### 有形固定資産の減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額 242,021,267円

### 株主資本等変動計算書に関する注記

#### 発行済株式の種類及び総数に関する事項

前期末株式数（発行済普通株式）	400株
当期増加株式数（発行済普通株式）	
当期減少株式数（発行済普通株式）	
当期末株式数（発行済普通株式）	400株
前期末株式数（発行済優先株式）	
当期増加株式数（発行済優先株式）	
当期減少株式数（発行済優先株式）	
当期末株式数（発行済優先株式）	



## 都城市東霧島多目的集会所外 10 施設指定管理者候補者選定の概要

都城市東霧島多目的集会所外 10 施設の指定管理者については、次のとおり候補となる団体を非公募により選定しました。

なお、選定された団体を指定管理者とする議案が、令和 4 年 12 月議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営に当たることとなります。

### 1. 指定管理者候補者の概要

#### (1) 団体の名称

都城市高崎地区まちづくり協議会

#### (2) 代表者名

会長 鶴田 輝夫

#### (3) 所在地

都城市高崎町大牟田 1 1 5 0 番地 1

#### (4) 設立年月日

平成 26 年 3 月 26 日

#### (5) 従業員数

84 名

#### (6) 業務内容

①まちづくり部会：地域振興などに関する業務

：自治公民館との調整、連携及び行政との連携、情報交換に関する業務

②環境・安全部会：環境美化、リサイクルの推進、地区内の環境整備に関する業務

：防犯、防災、交通安全、見守り活動など住民の安全安心確保などに関する業務

③健康福祉部会：高齢者・障害者福祉、子育て支援、健康づくり、食生活改善、ボランティア交流など地域福祉の推進などに関する業務

④青少年育成部会：青少年育成、生涯学習の推進、社会教育の振興、伝統文化の継承など教育及び文化振興などに関する業務

⑤産業部会：地域振興、産業振興、観光振興、各イベントなどに関する業務

⑥受託業務：都城市東霧島多目的集会所外 10 施設指定管理業務（相手方：都城市）

旧町営住宅用地（駅西側）草刈業務（相手方：都城市土

地開発公社)

2. 指定期間

令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日(5年間)

3. 施設及び業務の概要

(1) 施設概要

施設名及び所在地	施設規模等
都城市東霧島多目的集会所 (都城市高崎町東霧島757番地1)	敷地面積: 3,193.00㎡ 延床面積: 470.54㎡
都城市前田多目的集会所 (都城市高崎町前田2330番地1)	敷地面積: 2,759.04㎡ 延床面積: 270.00㎡
都城市縄瀬多目的集会所 (都城市高崎町縄瀬1823番地3)	敷地面積: 3,480.86㎡ 延床面積: 349.13㎡
都城市大牟田多目的集会所 (都城市高崎町大牟田585番地1)	敷地面積: 2,621.63㎡ 延床面積: 200.00㎡
都城市笛水多目的集会所 (都城市高崎町笛水312番地)	敷地面積: 500.00㎡ 延床面積: 257.00㎡
都城市江平農村環境改善センター (都城市高崎町江平2329番地9)	敷地面積: 6,763.95㎡ 延床面積: 971.28㎡
高崎江平市民広場 (都城市高崎町江平2329番地3)	敷地面積: 12,003.00㎡ トイレ棟: 58.88㎡
高崎縄瀬市民広場 (都城市高崎町縄瀬1849番地7)	敷地面積: 17,913.14㎡ トイレ棟: 58.39㎡
高崎前田市民広場 (都城市高崎町前田2815番地)	敷地面積: 9,917.00㎡ トイレ棟: 30.00㎡
高崎東霧島市民広場 (都城市高崎町東霧島960番地1)	敷地面積: 14,779.00㎡ トイレ棟: 35.88㎡
高崎示野原市民広場 (都城市高崎町大牟田4277番地)	敷地面積: 10,967.00㎡ トイレ棟: 32.24㎡

(2) 業務概要

- ①管理施設の利用許可、利用許可の取消し等、利用の制限及び原状回復に関すること
- ②利用料の徴収に関すること
- ③施設等の維持及び小規模修繕に関すること
- ④施設等の管理及び運営に関する業務のうち、市長のみの権限に属する事務を除く業務に関すること

#### 4. 事業計画の概要

##### (1) 市民の平等な利用に関すること

- ・高崎地区内集会施設及び市民広場は、地域密着型の集会及び学習施設やスポーツ施設として整備され、地区住民に活発に利用されていることから、住民自治意識の向上、地域協働の推進等を基本方針として管理運営を行う。
- ・市民広場については利用調整会議を毎月開催し、利用者間の調整を図る。
- ・利用者から施設に係る相談や苦情等を受け付ける体制を整え、重要な案件については内部協議を行い、市（高崎地域生活課）と連絡を取りながらその解決に当たる。
- ・環境配慮への取組として、不要な電気は消すことを徹底するなど、消費電力の節約に取り組む。

##### (2) 施設効用の発揮に関すること

- ・地域密着型の集会施設及びレクリエーションや健康増進のための施設として、地区の各種団体や社会教育関係団体、利用者と連携を図り、利用者主体のサービスの提供に努める。
- ・各地域に鍵管理者を設置し、いつでも鍵の受け取りや利用申請の受付ができるよう利用者のニーズに的確に応えたとともに、施設内外の清掃を確実にを行い、清潔で安全・快適な環境の場を創出することで利用者の増加を図る。
- ・休館日、開館時間、利用料金については、当面は現在と同一とする。

##### (3) 経済的な管理運営に関すること

- ・利用者に、節電、節水など施設利用に関しての協力依頼をすることにより、光熱水費や修繕費等の削減を図る。
- ・電気や水道蛇口等の点検等を確実に行うことで無駄な経費が発生しないよう努める。
- ・定期的な清掃や小規模修繕等の維持管理を各地域で選任した管理者が行うことにより、利用者の要望等に対して迅速かつ効率的な対応を行うことができる。

##### (4) 安定的な施設の管理運営に関すること

- ・管理運営に必要な人員体制を整えている。
- ・事務局と地域の施設管理者等の情報交換会及び研修会を定期的実施し、課題等の情報共有と課題解決を図る。
- ・高崎地区自治公民館連絡協議会など地元関係団体と協力して、円滑な施設利用を図る。
- ・緊急時の連絡網を整備し、緊急時には迅速に市（高崎地域生活課）と連携できる体制を整える。

- ・施設管理運営の実施によって知り得た個人情報の漏洩、滅失、損傷等の事故防止や個人情報の適切な管理を行う。

(5) 地域に貢献する取り組みの確保に関すること

- ・高崎総合支所2階に事務局を設置し、高崎地区内の各種団体及び個人で構成されている。
- ・施設管理者及び草刈業務従事者ともに地域住民から選任し、地域役員と連携を図りながら地域協働の推進に努める。

(6) その他、公の施設を管理するに当たり必要な基準に関すること

- ・各施設の管理者には、各地域役員との情報交換を随時行うよう指導をし、要望を取り入れて地域住民が満足できる施設の管理運営を行っていく。また、市民広場においては、各地域及び各種団体等の行事を確認しながら効率的に草刈等を行うよう指導をし、行事がスムーズに実施できるよう取り組む。

(7) 公の施設を管理するに当たりアピールしたいこと

- ・高崎地区まちづくり協議会は、高崎地区のまちづくりを推進することを目的とし、高崎地区内の各種団体及び個人により構成している。東霧島多目的集会所外10施設は、各地域に密着した施設として地域の交流の拠点、健康増進の施設として利用されていることから、当協議会で地域を取りまとめ、地域の人材を活用することで、効率的な管理運営を行うことができる。

また、利用者のニーズに的確に対応するとともに、地域住民自らが管理に携わることで協働のまちづくりを推進していく。

## 5. 選定結果

(1) 非公募により候補者を選定した理由

当該施設は、住民の健康増進及び地域交流の拠点となる地域密着型の施設として、地域住民に活発に利用されており、住民自治意識の向上、地域協働の推進等が期待でき、かつ、その受け皿となるべき団体がこの地域に当該団体しか存在しないため。

(2) 申請書類の審査結果

- ・市民の平等な利用の確保について

市民からの相談や調整を行う事により、施設の適切利用の推進・指導等、利用者の意識向上を図れるとともに、市民への平等な利用推進が期待できる。

- ・施設の効用の最大限の発揮について

市民の健康活動や学習活動等、利用者主体の迅速なサービスの提供が期待で



きる。

- ・経済的な管理運営と適正な経費配分について

地元の様々な業種の人材力が発揮され、より効率的かつ経済的に適切な管理が期待できる。

- ・地域に貢献する取組の確保について

高崎地区内の各種団体及び個人で構成され、施設管理者及び草刈業務従事者ともに地域住民から選任し、地域役員と連携を図りながら地域協働が期待できる。

- ・管理運営能力について

公の施設を管理するに当たり、地元から適切な人材が確保されており、情報交換会や研修会を実施される事により、さらに充実した管理運営が期待できる。

## 1-1 (主要業務実績)

申請団体名 都城市高崎地区まちづくり協議会  
希望する施設名 都城市東霧島多目的集会所外 10 施設

### 主 要 業 務 実 績

年 度	業 務 名 (施設名称等)	業 務 内 容 (業務概要・発注者等)	受注額(円)
令和 元年度	前田市民広場外 2 市民広 場管理業務委託	業務概要：市民広場 3 箇 所草刈り等の管理 発注者：都城市	1,167,907 円
	旧町営住宅用地(駅西側) 草刈業務委託	業務概要：新田駅前広場の草 刈り等の管理 発注者：都城市土地開発公社	77,176 円
令和 2 年度	都城市東霧島多目的集会所外 10 施設の管理運營業務	業務概要：清掃、保守点 検、管理(施設貸出業務 全般) 発注者：都城市	13,263,000 円
	旧町営住宅用地(駅西側) 草刈業務委託	業務概要：新田駅前広場の草 刈り等の管理 発注者：都城市土地開発公社	79,156 円
令和 3 年度	都城市東霧島多目的集会所外 10 施設の管理運營業務	業務概要：清掃、保守点 検、管理(施設貸出業務 全般) 発注者：都城市	13,263,000 円
	旧町営住宅用地(駅西側) 草刈業務委託	業務概要：新田駅前広場の草 刈り等の管理 発注者：都城市土地開発公社	79,156 円

(備考)

※ 過去3年間の主要実績業務について記入してください。

(同様の施設管理実績がある場合は、これを優先して記入してください。)

※ 業務内容欄には、業務の概要、発注者等について可能な限り詳細に記入してください。

※ その他、申請団体の概要がわかる資料がある場合は、添付してください。

令和3年度 都城市高崎地区まちづくり協議会(指定管理)収支決算書

(収入)

目	費 目	当初予算額	収入済額	予算差額	摘 要
繰越	前年度繰越金	3,307,568	3,307,568	0	
今年度	指定管理料	13,263,000	13,263,000	0	
	利用料金	190,000	82,300	-107,700	
	受取利息	1,000	40	-960	
	預り金	10,000	6,223	-3,777	
	小計	13,464,000	13,351,563	-112,437	
計		16,771,568	16,659,131	-112,437	

(支出)

目	費目	当初予算額	支出済額	予算差額	摘 要
共済費	雇用保険料	50,000	40,371	9,629	
	社会保険料	0	0	0	
	労災保険料	6,000	0	6,000	
	小計	56,000	40,371	15,629	
人件費	給料(職員分)	7,154,000	6,986,100	167,900	
	賃金(臨時・パート分)				
	清掃費				
	草刈除草費				
	小計	7,154,000	6,986,100	167,900	
報償費	報酬費	600,000	369,300	230,700	
	小計	600,000	369,300	230,700	
需用費	消耗品費	280,000	279,357	643	
	燃料費	127,000	90,523	36,477	
	光熱水費	2,000,000	1,718,291	281,709	
	修繕費	385,000	244,424	140,576	
	小計	2,792,000	2,332,595	459,405	
役務費	通信運搬費	210,000	200,233	9,767	
	手数料	100,000	96,344	3,656	
	保険料	500,000	404,660	95,340	
	小計	810,000	701,237	108,763	
委託料	委託料	1,500,000	1,349,722	150,278	
	小計	1,500,000	1,349,722	150,278	
使用料	使用料及び賃借料	90,000	77,500	12,500	
	備品購入費	1,000,000	729,900	270,100	
	小計	1,090,000	807,400	282,600	
その他	租税公課費	450,000	10,200	439,800	
	雑費	50,000	0	50,000	
	研修費	150,000	59,000	91,000	
	自主事業費(作業用)	600,000	302,500	297,500	
	自主事業費(部会用)	500,000	90,000	410,000	
	予備費 (乗用芝刈機購入予定)	1,019,568	0	1,019,568	
	小計	2,769,568	461,700	2,307,868	
計		16,771,568	13,048,425	3,723,143	



## 都城市公設地方卸売市場施設指定管理者候補者選定の概要

都城市公設地方卸売市場施設の指定管理者については、次のとおり候補となる団体を非公募により選定しました。

なお、選定された団体を指定管理者とする議案が、令和４年１２月議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営に当たることとなります。

## １．指定管理者候補者の概要

## （１）団体の名称

株式会社都城公設卸売市場

## （２）代表者名

代表取締役 松尾 浩次

## （３）所在地

都城市志比田町５５７１番地１

## （４）設立年月日

平成２１年５月２０日

## （５）従業員数

３名

## （６）業務内容

市場施設の管理運営

## ２．指定期間

令和５年４月１日 ～ 令和１０年３月３１日（５年間）

## ３．施設及び業務の概要

## （１）施設概要

施設名及び所在地	施設規模等
都城市公設地方卸売市場 （都城市志比田町５５７１番地１）	都城市公設地方卸売市場施設一式 敷地面積：９１，８８１㎡ 延床面積：１７，３０７．６９㎡ 鉄筋コンクリート 鉄骨構造

## （２）業務概要

市場施設の管理運営

#### 4. 事業計画の概要

事業計画書概要版のとおり

#### 5. 選定結果

##### (1) 非公募により候補者を選定した理由

公設市場の管理運営に関し専門的かつ高度な技術、ノウハウ等を有していること及び関係団体との連携を図りながら利用しやすい環境づくりに努めることが可能であるため。

##### (2) 申請書類の審査結果

###### ・市民の平等な利用の確保について

公設市場の管理運営方針及び設置目的を認識し、施設を常に善良な状態に保ち、出荷者、卸売業者、仲卸業者、買受人等の市場施設利用者が等しく施設を利用するための中立中正な体制づくりを図ることができる。

###### ・施設の効用の発揮について

出荷者や食品小売業者の利用を促進するための流通の仕組みを熟知しており、市場内の関係団体との連携を図りながら利用しやすい環境づくりに努めることができる。また、都城圏域の生鮮食料品を取り扱う施設として市場を常に良好に保ちながら管理運営業務のコスト縮減に努め、施設利用者の状況に応じた利用料の引き下げに取り組むことができる。

###### ・経済的な管理運営について

日常的な施設の点検による修繕箇所の早期発見や大規模修繕に至らないように設備維持や保守作業、光熱水費等の日常的な節約に努めるなど、経済的な管理運営ができる。

###### ・安定的な施設の管理運営について

公設市場の業務を熟知し、卸売業者、仲卸業者、買受人、関連事業者等との連携を図る十分な能力があり、市場業務及び市民サービス業務に精通した者を雇用し、就業規則・勤務体制・責任体制の確立も図られている。

###### ・地域への貢献について

地元の小中高生や幼児等の市場見学を積極的に受け入れており、地域に貢献する取組をしている。また、市場まつり（令和2年及び令和3年は中止）等により、市場を一般開放することで、市場で取扱う生鮮食料品等を知ってもらうなど、地域の方に市場の理解を深める取組をしている。

###### ・公の施設を管理するに当たり必要な基準について

平成22年度から現在までの指定管理業務実績があり、非常に良好な管理運営がなされ、経営状況も良好である。また、一般開放している市場の駅の利用者増に繋げるため、ホームページやSNS等での情報発信を行い市場の活性化対策にも努めている。

## 事業計画書

申請団体名 株式会社都城公設卸売市場

希望する施設名 都城市公設地方卸売市場

### (1) 市民の平等な利用に関すること

- ・生鮮食料品等の取引の適正化及び流通の円滑化を図り、もって地域住民の生活安定に資するという施設の設置目的をしっかりと自覚するとともに公共性の高い施設であることを常に念頭に置きながら使命感をもって管理運営に当たります。
- ・市場は、様々な利害関係者が多数の取引や業務を行っておりますので、それらの利害関係者の一方にくみすることなく関係法規を順守し、中立中正な管理運営を行います。
- ・苦情は、発生しないよう十分な気配りをして管理運営に当たりますが、もし苦情や相談が発生した場合は、迅速に対応するとともに苦情処理報告書を作成して、情報を水平展開し共有することで平等公正かつ確実な対応を行います。
- ・環境への配慮については、ごみの分別、節電、節水に努めるとともに既存設備の省エネ型への更新、照明の LED 化等を検討し、二酸化炭素の削減を図ります。

### (2) 施設効用の発揮に関すること

- ・定期的に施設の点検を行い不備の早期発見に努め、適正な市場機能を維持することにより利用者へのサービス・利便性を図ります。
- ・関係者団体の代表で構成する組織を利用して意見や要望を聞き適切な対応をします。また、施設利用者のアンケートを実施します。
- ・ホームページ等により出荷者、買受業者等の市場利用を検討している人達への適切な情報提供を行います。
- ・一般開放している「市場の駅セボン・チ・マルシェ」により、ホームページ、SNS 等を活用し、一般消費者への公設市場の周知を図ります。
- ・市場施設利用料金については、市場施設利用者の負担軽減を図るため、売上高利用料金及び施設利用料金の減額を継続します。

### (3) 経済的な管理運営に関すること

- ・施設管理費の主なものは水道光熱費、施設管理委託料（警備、清掃、樹木管理等）、人件費、施設修繕費です。特に施設修繕費においては、定期的な施設の点検を確実に行之、不具合個所の早期発見に努め、早めの対応を実施することにより、補修費用の縮減と使用期間の延長を図ります。
- ・市場まつり等の開催に要する経費においても経費縮減を図り、最大限の目的達成に努めます。
- ・市場内の警備・清掃・電気保安管理・樹木管理など専門的な技術を要するものについては、競争入札により委託します。令和4年度の警備は(株)セキュリティロード、清掃は(有)アート美装、樹木管理は(有)吉川造園等に委託しています。

### (4) 安定的な施設の管理運営に関すること

- ・長期的な施設改修年次計画を作成し、安定的な管理運営に努めます。
- ・職員および委託業者により、24時間勤務体制を構築し、それぞれの勤務体制時の対応マニュアルを作成して、管理運営に当たります。
- ・毎日の業務の確認、定期的な研修、先進地視察研修の実施により、継続的な改善を図りながら職員の管理運営の実行能力を高めます。
- ・取引業務の立ち会いや場内巡回を実施し、関係法規に基づき市と連携しながら適正な指導を行います。
- ・災害などの緊急事態に対処するため緊急時対応マニュアル及び職員緊急連絡網を作成し、周知徹底に努めます。
- ・個人情報保護および労働法令等については確実に順守します。また市民の知る権利を尊重し、管理運営状況の情報については積極的な公開に努めます。

## 事業計画書

申請団体名 株式会社都城公設卸売市場

希望する施設名 都城市公設地方卸売市場

### (5) 地域への貢献に関すること

- ・当社の本店は、都城市志比田町です。
- ・地元採用を基本としており、地元からの雇用を通じて地域社会へ貢献します。現在、地元雇用率は100%です。また、年度毎に健康診断を都城市内の医療機関にて実施しております。
- ・民間のノウハウを提供し、公共団体の財政負担を軽減することで、地域貢献につなげます。
- ・市場まつりを毎年秋に開催いたします。これまでも、毎年11月の第1日曜日に、市場を一般開放し、地域住民に市場を経由する生鮮食料品等に対する理解を深めていただくとともに、食生活の向上や食育・花育の普及などを目的として開催しています。
- ・小中高生や幼児等への市場見学を積極的に行い、市場や流通等についての理解を深めます。
- ・専門的な技術を要する委託業務については、市内業者に競争入札により委託します。

### (6) その他、公の施設を管理するにあたり必要な基準に関すること

- ・当社は、都城市公設地方卸売市場開設以前から長年市場業務に携わってきた卸売業者が指定管理者の指定を受けるために設立した会社であり、この長年の業務で市場運営のノウハウを蓄積しております。
- ・過去13年間の指定管理者としての運営実績も良好な成果を上げています。
- ・一般開放している「市場の駅セボン・チ・マルシェ」へのさらなる利用者の増加を図るため、ホームページ、SNS 等を活用し一般消費者への周知を図ります。

### (7) 公の施設を管理するにあたりアピールしたいこと

- ・都城市公設地方卸売市場は、本来の設置目的の外、災害発生時には防災拠点としての活用も想定される施設です。これら公共性の高い施設であることを十分に自覚して使命感を持って管理運営に当たるとともに関係業者の経営基盤強化を図り安定的な管理運営を目指します。
- ・株主配当や役員報酬は無く、利益は指定管理業務に要する経費に充てます。
- ・卸売業者と一体となった積極的な管理運営及び活性化対策に努めます。



申請団体名 株式会社都城公設卸売市場  
 希望する施設名 都城市公設地方卸売市場

### 主 要 業 務 実 績

年 度	業 務 名 (施設名称等)	業 務 内 容 (業務概要・発注者等)	受注額(円)
元年度	都城市公設地方卸売市場の 管理運営 【第3期】 指定期間:5年	<b>【業務内容】</b> ①承認等事務の補助に関する業務 ②施設の維持管理に関する業務 ③市場施設の利用指定, 利用許可等に関する業務 ④市場利用料等の収納事務に関する業務 ⑤その他市場に関する業務	0 円
2年度			0 円
3年度			0 円

(備考)

- ※ 過去3年間の主要実績業務について記入してください。  
 (同様の施設管理実績がある場合は、これを優先して記入してください。)
- ※ 業務内容欄には、業務の概要、発注者等について可能な限り詳細に記入してください。
- ※ その他、申請団体の概要がわかる資料がある場合は、添付してください。

# 決 算 報 告 書

---

(第 13 期)

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

株式会社都城公設卸売市場

都城市志比田町 5 5 7 1 - 1

# 貸 借 対 照 表

令和 4年 3月31日 現在

株式会社都城公設卸売市場

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	94,141,112	【流動負債】	3,507,634
現 金 及 び 預 金	88,517,677	未 払 費 用	2,021,851
貯 蔵 品	154,080	未 払 法 人 税 等	507,300
立 替 金	110	未 払 消 費 税 等	808,100
前 払 費 用	5,238	預 り 金	170,383
未 収 入 金	5,464,007	【固定負債】	2,640,700
【固定資産】	167,895	退 職 給 付 引 当 金	1,640,700
【無形固定資産】	167,895	ま っ り 費 用 引 当 金	1,000,000
水 道 施 設 利 用 権	167,895	負 債 の 部 合 計	6,148,334
		純 資 産 の 部	
		【株主資本】	88,160,673
		資 本 金	9,000,000
		利 益 剰 余 金	79,160,673
		そ の 他 利 益 剰 余 金	79,160,673
		繰 越 利 益 剰 余 金	79,160,673
		純 資 産 の 部 合 計	88,160,673
資 産 の 部 合 計	94,309,007	負 債 及 び 純 資 産 合 計	94,309,007

# 損 益 計 算 書

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月31日

株式会社都城公設卸売市場

(単位： 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
売 上 高 利 用 料	9,921,668	
施 設 利 用 料	36,055,365	
電 気 使 用 料	14,069,385	
下 水 道 使 用 料	1,192,821	
自 動 販 売 機 設 置 利 用 料	258,417	
売 上 高 合 計		61,497,656
売 上 総 利 益 金 額		61,497,656
【販売費及び一般管理費】		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 合 計		60,062,178
営 業 利 益 金 額		1,435,478
【営業外収益】		
受 取 利 息	14,887	
雑 収 入	713,898	
営 業 外 収 益 合 計		728,785
経 常 利 益 金 額		2,164,263
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		2,164,263
法 人 税 等		509,575
当 期 純 利 益 金 額		1,654,688

## 販売費及び一般管理費内訳書

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月31日

株式会社都城公設卸売市場

(単位： 円)

科 目	金 額
役 員 報 酬	160,000
給 料 手 当	11,908,022
退 職 給 付 費 用	171,720
法 定 福 利 費	1,900,808
福 利 厚 生 費	942,309
施 設 修 繕 費	1,421,035
車 両 維 持 費	80,500
施 設 管 理 委 託 料	8,862,280
警 備 料	6,423,000
水 道 光 熱 費	15,741,193
消 耗 品 費	3,779,176
事 務 用 品 費	82,358
新 聞 図 書 費	50,748
広 告 宣 伝 費	957,744
支 払 手 数 料	405,060
通 信 費	325,644
接 待 交 際 費	37,431
減 価 償 却 費	176,130
賃 借 料	383,626
保 険 料	431,740
租 税 公 課	61,024
諸 会 費	8,000
寄 付 金	5,605,364
雑 費	147,266
販売費及び一般管理費合計	60,062,178

# 株主資本等変動計算書

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月31日

株式会社都城公設卸売市場

(単位： 円)

## 【株主資本】

資 本 金	当期首残高		9,000,000
	当期末残高		9,000,000
利 益 剰 余 金			
そ の 他 利 益 剰 余 金			
繰 越 利 益 剰 余 金	当期首残高		77,505,985
	当期変動額	当期純利益金額	1,654,688
	当期末残高		79,160,673
利 益 剰 余 金 合 計	当期首残高		77,505,985
	当期変動額		1,654,688
	当期末残高		79,160,673
株 主 資 本 合 計	当期首残高		86,505,985
	当期変動額		1,654,688
	当期末残高		88,160,673
純 資 産 の 部 合 計	当期首残高		86,505,985
	当期変動額		1,654,688
	当期末残高		88,160,673

## 注 記 表

株式会社都城公設卸売市場

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 【資産の評価基準及び評価方法】

棚卸資産の評価基準及び評価方法 最終仕入原価法によっております。

#### 【固定資産の減価償却の方法】

有形固定資産 定率法によっております。

無形固定資産 定額法によっております。

#### 【引当金の計上基準】

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるために当期末において下記の計算に基づいて計上しております。

$$\text{給料} \times 0.03 \times 12 \text{ヵ月}$$

#### 【消費税等の処理方法】

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

### 株主資本等変動計算書に関する注記

#### 【発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項】

発行済株式の数（普通株式）

前期末株式数	900株
当期末株式数	900株





## 都城市早水公園体育文化センター指定管理者候補者選定の概要

都城市早水公園体育文化センターの指定管理者については、次のとおり候補となる団体を公募により選定しました。

なお、選定された団体を指定管理者とする議案が、令和4年12月議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営に当たることとなります。

### 1. 指定管理者候補者の概要

#### (1) 団体の名称

NPO法人都城ぼんちスポーツクラブ

#### (2) 代表者名

理事長 星原 透

#### (3) 所在地

都城市高城町穂満坊2492番地

#### (4) 設立年月日

平成19年2月28日（平成22年10月29日NPO法人格取得）

#### (5) 従業員数

42名

#### (6) 業務内容

- ①各種スポーツ教室、スポーツサークルに関する事業
- ②各種スポーツ大会、スポーツイベントに関する事業
- ③各種スポーツ研修会、講習会に関する事業
- ④スポーツ指導者の育成、派遣事業
- ⑤スポーツ及び健康増進活動の企画、運営受託事業
- ⑥主にスポーツに関する情報収集及び提供
- ⑦公共スポーツ施設の管理委託業務
- ⑧学術、文化、芸術の振興を図るための事業
- ⑨その他、本法人の目的達成のために必要な事業

### 2. 指定期間

令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日（3年間）

### 3. 施設及び業務の概要

#### (1) 施設概要

施設名及び所在地	施設規模等
都城市早水公園体育文化センター	①アリーナ文化棟

(都城市早水町 3 8 6 7 番地)	<p>○床面積：6 6 5 1. 3 3 m<sup>2</sup></p> <p>○規模：バレーコート 3 面、バスケットコート 2 面</p> <p>②サブアリーナ</p> <p>○床面積：1 6 1 6. 8 2 m<sup>2</sup></p> <p>○規模：バレーコート 3 面、バスケットコート 2 面</p> <p>③武道場</p> <p>○床面積：1 0 0 9. 1 6 m<sup>2</sup></p> <p>○規模：柔道 6 面、剣道・空手 4 面</p> <p>④弓道場</p> <p>○床面積：2 1 9 9. 7 7 m<sup>2</sup></p> <p>○規模：近的 1 2 人立 遠的 9 人立</p> <p>⑤多目的室</p> <p>○床面積：3 2 6. 7 3 m<sup>2</sup></p> <p>○規模：空手 1 面、レスリング 1 面</p>
---------------------	---

## (2) 業務概要

- ①施設の運営に関すること
- ②施設の維持管理に関すること
- ③施設の安全管理に関すること
- ④報告業務

## 4. 事業計画の概要

### (1) 市民の平等な利用が確保されること

#### ①管理運営方針等

- ・利用者目線に立ったサービス向上を図る。
- ・安全安心で快適な施設環境を提供する。
- ・条例、法令等を遵守し、公平、適切な管理運営に努める。
- ・公の施設として、公平・平等な管理運営を行う。
- ・効果的かつ効率的な管理運営による経費節減に努める。
- ・市民及びスポーツ団体等との連携を図る。
- ・利用促進のための魅力的な事業を実施する。
- ・利用者等の個人情報 は 厳重に管理する。

#### ②平等利用

- ・職員の接遇研修を実施し、分け隔てのない対応を行う。
- ・職員および施設間において情報共有し、サービスの均一性を図る。
- ・HP、広報、チラシ等を活用して利用者募集等を発信する。

(2) 事業計画の内容が施設の効用を最大限に発揮するものであること

①利用の促進

- ・利用者満足度に関するアンケートを実施し、集計分析を行い利用者増に向けた対策を講じる。
- ・1130運動を推進するため、健康づくりがテーマの「ニュースポーツ体験」を実施する。
- ・人を引き付ける事業（キッズスポーツ教室、チャレンジスポーツ教室、親子ビクス教室）を実施する。
- ・各種競技団体と連携した大会を主催し、競技力向上と競技人口の拡大を図る。

②サービス・利便性の維持向上

- ・大会やイベントにより、開館時間外の利用申請があった場合は、利用者優先で柔軟に対応する。
- ・初めて利用する方には、施設設備や利用方法等について丁寧に説明する。特にトレーニングルーム機器の使用方法については安全な使用のために丁寧に説明する。
- ・施設・設備管理業務は、仕様書に定められた業務を確実に実施するため、必要な知識及び技能を有するものを配置して実施する。有資格者の配置や業務委託でも対応する。
- ・本施設一括管理の相乗効果が発揮できる、施設連携の大会、合宿及びキャンプ等のイベントを誘致する。
- ・施設の特性を活かしたスポーツ教室（キッズスポーツ教室、親子ビクス教室）、サークル活動（貯筋トレーニング）、イベント活動（キッズ大運動会、ミニバレー大会、ニュースポーツ体験会、新春バドミントン大会）等の自主事業を実施する。

(3) 経済的な管理運営が図られ、経費配分が適正であること

①経費節減

- ・光熱水費は類似施設との比較によるエネルギーコストの分析評価を行い経費削減策を講じる。
- ・修繕技能のある職員による軽微な修繕や部品交換を実施する。
- ・ごみ回収や電話契約などを一括長期契約する。

(4) 事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有していること

①物的能力

- ・類似施設管理実績として、都城ぼんちスポーツクラブは、高城運動公園（体育館、野球場、多目的広場、テニスコート、屋内競技場等）や高城勤労青少年ホーム、石山体育センター、高城農村環境改善センター及び山之口運動公

園の管理実績がある。

## ②人的能力

- ・施設管理専門員の配置について、有資格者として、公認上級スポーツ施設管理士、公認スポーツ施設管理士、公認スポーツ施設運営士が在籍している。
- ・体育指導専門員の配置について、有資格者として、中学校教諭1種・高等学校教諭1種1名、健康運動指導士1名、ジュニアスポーツ指導員1名、公認クラブマネージャー1名、陸上競技コーチ1名等多様な有資格者が在籍している。

## (5) 地域に貢献する取組が確保されていること

### ①地域貢献

- ・NP0 法人都城ぼんちスポーツクラブは市内を拠点に活動している総合型地域スポーツクラブで、現在は高城町に事務所を置き、高城・山之口を拠点に事業を実施している。
- ・ほとんどの職員を地元雇用している。
- ・これまで築いてきたネットワークを活かし事業展開し地域に貢献している。
- ・スポーツキャンプ誘致を通じ、肉と焼酎のまち都城を全国にアピールする。

## (6) その他、公の施設を管理させるに当たり必要な基準

### ①地域活性化の企画・提案

- ・各世代（子ども、働き世代、高齢者）向けイベント、プログラムを充実する。
- ・市民交流の大会、イベントを充実する。
- ・F C東京にクラブアドバイザーに就任していただいたことをきっかけとして、今後もトップアスリートによるスクール等の開催を実施する。
- ・ツエーゲン金沢や栃木S CのJ 2チーム、ラグビートップリーグの神戸製鋼スティーラズ、シオノギ製薬女子ソフトボールチームとの交流をさらに深め、指導者派遣事業等を行うことにより地域活性化に寄与する。

## 5. 選定結果の概要

### (1) 公募の状況

#### ①申請団体数

2団体

#### ②指定管理者候補者選定までの経過

令和4年6月17日

第1回選定委員会開催

令和4年7月27日～令和4年8月8日

募集（広報都城6月号、市ホームページへの掲載）

令和4年7月22日

現地説明会

令和4年8月8日

申請書類受付

令和4年9月14日

第2回選定委員会開催、書類審

令和4年9月30日

査・面接審査  
選定結果報告

(2) 都城市指定管理者候補者選定委員会委員構成

委員構成		人数
有識者	学識経験者	1人
	税理士	1人
	司法書士	1人
	市スポーツ推進委員	1人
施設利用者代表		1人
市課長職		2人

(3) 選定理由

令和4年9月14日に都城市指定管理者候補者選定委員会において、書類審査・面接審査をもとに、選定基準に基づいて総合的に審査・選考（総合得点方式）を行った結果、以下の理由でNPO法人都城ぼんちスポーツクラブが指定管理者として適正であると判断しました。

「選定基準1 市民の平等な利用が確保されること」

- ・運営実績に基づくクレーム対応等の接遇マニュアルが整備されており、定期的に職員研修を実施していること。
- ・情報共有を行い、業務改善等に努める体制が構築されていること。
- ・年間、毎月の利用調整をおこなっており、高齢者にも利用しやすいこと。

「選定基準2 事業計画の内容が施設の効用を最大限に発揮するものであること」

- ・今までに築いてきた関係機関とのネットワークに加えて、新設された都城スポーツコミッションとも連携が図られているなど、ネットワークを有効に活用した管理運営が期待できること。

「選定基準3 経済的な管理運営が図られ、経費配分が適正であること」

- ・施設の実態に基づいた提案がされているとともに、複数施設を管理していることで共同利用や消耗品の一括購入による経費削減が期待できること。

「選定基準4 事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有していること」

- ・複数の体育施設を管理するなどスポーツ施設の管理・運営の実績が豊富にあり、幅広い人材がいるため、利用者への充実した指導・育成が期待でき、地域団体との連携も具体的な提案がされていること。

「選定基準5 地域に貢献する取り組みが確保されていること」

- ・地域雇用の創出が示されていることや、スポーツを通じて子どもたちの人間

形成を支援する取組が具体的に提案されていること。

「選定基準6 その他、公の施設を管理させるに当たり必要な基準」

- ・健康長寿のまちを目指す取組が子どもから高齢者まで具体的に提案されており、トップアスリートによるスクール等の開催による、スポーツ振興及び地域活性化の提案がされていること。

(4) 選定委員会における主な意見

〈選定基準に関する事項〉

- ・選定基準については、屋内外の拠点的体育施設として、体育施設における専門的な知識・経験・実務・責任を備えているか、また、市民のスポーツ活動の中心的役割を担う施設として、市内の各競技団体の競技力向上に資する取組や、市民の意見を取り入れた施設管理、スポーツの普及・振興を推進する積極的な自主事業の開催などが可能であるかという項目に重点的に配点を行った。

〈指定申請書記載事項について〉

- ・他施設の管理実績に基づき、体育施設管理に必要な専門知識やノウハウを十分備えており、安定的な管理が期待できる。
- ・既に、体育施設管理に必要な資格だけでなく、それ以外にも多種多様な資格を持つ職員を有しており、その他、接遇・救命・防災等、研修計画が具体的に提示されており、今後益々質の高い事業の展開が見込まれる。
- ・業務内容及び担当や、業務の分担、シフト案も具体的に提案されており、トラブル時の対応や市との連携等もスムーズかつ迅速な運営が期待できる。
- ・施設の規模等を活用して、これまで連携をしてきたトップアスリートによる合宿やイベント等を実施することで都城市をPRする提案がされている。また、連携実績のある実業団からの指導者派遣事業等の自主事業における提案は、施設の利用者の増加等が見込まれ、地域活性化も期待できる。

(5) 選定結果

別紙のとおり

## 55

選定基準	配点	採点結果		審査項目	一人当たり配点	審査内容
		団体A	NPO 法人都城ぼんちスポーツクラブ			
1. 市民の平等な利用が確保されること	168	114.2	127.2	管理運営方針等	18	市の管理方針を認識しているか。
						公の施設の設置目的を理解しているか。
						申請団体の経営モラルは適切か。
						環境に配慮した取り組みをしているか。
				平等利用	10	利用申込等について平等な利用を確保する提案がされているか。
						相談や苦情等の対応が提案されているか。
2. 事業計画の内容が施設の効用を最大限に発揮するものであること	252	162.4	188.8	利用の促進	25	住民ニーズに基づく利用者増の提案がされているか。
						利用者増のための広報・PR対策を提案しているか。
						市内の競技団体や学校、企業、行政との連携の提案がなされているか。
						関係団体や地域住民との連携、協働の取り組みについての提案がなされているか。
				サービス・利便性の維持向上	17	利用者サービスの向上について提案がされているか。
						施設の維持管理、安全管理を的確に行えるか。
						施設の設備、機能等の有効活用について、提案がされているか。
						適切な利用料金が提案されているか。
						災害時・避難所開設等の対応について

3. 経済的な管理運営が図られ、経費配分が適正であること	90	58	61.4	経費節減	15	指定管理料はどれくらい節減が図られているか。
						具体的な管理業務の効率化が提案されているか。
						経費節減の考え方、提案がされているか。
4. 事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有していること	402	263.4	303.6	物的能力	14	安定した運営が可能な申請団体の財務状況か。
						類似施設を良好に運営した実績があるか。
						収支計画の積算根拠が明確で、実現可能なものか。
						収支計画と事業計画の整合性は図られているか。
				人的能力	53	組織体制、勤務体制、責任体制が確立されているか。
						利用団体の指導及び育成支援の提案がされているか。
						拠点体育施設として、市民・体育関係団体・企業・行政との連絡調整能力があるか。
						施設管理専門の職員の配置がされているか。
						体育指導専門の職員の配置がされているか。
						職員の指導育成、研修体制が提案されているか。
						個人情報保護、情報公開及び労働法令等について十分認識しているか。
						まちづくりへの熱意、申請団体（新規）の将来性、地域団体や地域住民等との融合性、高齢者、障がい者雇用への配慮、利用状況の把握
						地域体育団体、地域企業、住民等との融合性はあるか。



5. 地域に貢献 する取り組み が確保されて いるか	90	72	72	地域貢献	15	都城市内に本店等を有しているか。
						地域雇用の考え方
						地域に貢献する取り組みの提案
6. その他、公 の施設を管理 させるに当た り必要な基準	78	54.6	65	地域活性化の企 画・提案	13	施設を活用することにより、地域を活性化する企画・提案が されているか。
合計	1080	724.6	818		180	
〈参考〉：提案金額 (単位：千円)		57,139	57,000	(令和5年度)		

※提案金額をそのまま指定管理料として決定するものではなく、予算査定等を経て市議会の議決により決定するものです。

## 貸借対照表

NPO法人都城ぼんちスポーツクラブ

令和4年3月31日現在

単位:円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>【流動資産】</b>	<b>【 36,684,201 】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 15,558,045 】</b>
現金	1,321,414	未払費用	8,931,160
預金	15,510,020	未払法人税等	1,866,100
前払費用	558,000	未払消費税等	3,503,300
未収入金	19,251,398	前受金	11,150
事業未収入金	43,369	預り金	1,246,335
<b>【固定資産】</b>	<b>【 4,381,455 】</b>	<b>【固定負債】</b>	<b>【 5,755,522 】</b>
(有形固定資産)	( 3,715,865 )	長期借入金	2,968,000
車両運搬具	3,377,764	長期未払金	2,787,522
工具器具備品	338,101	<b>負債合計</b>	<b>21,313,567</b>
(無形固定資産)	( 403,334 )		
ソフトフェア	403,334	<b>純資産の部</b>	
(投資その他の資産)	( 262,256 )	<b>【株主資本】</b>	<b>【 19,752,089 】</b>
出資金	5,000	資本金	0
リサイクル預託金	61,720	(資本剰余金)	( 1,354,029 )
長期前払費用	195,536	本会計	1,354,029
		(利益剰余金)	( 18,398,060 )
		その他利益剰余金	18,398,060
		繰越利益剰余金	18,398,060
		<b>純資産合計</b>	<b>19,752,089</b>
<b>資産合計</b>	<b>41,065,656</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>41,065,656</b>

# 損益計算書

NPO法人都城ぼんちスポーツクラブ

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

単位:円

科 目	金 額	
<b>【売上高】</b>		
委 託 料	132,576,127	
高城運動公園等利用料	9,648,005	
山之口運動公園利用料	1,231,666	
早水利用料	4,495,244	
都城運動公園利用料	7,587,806	
山之口運動公園芝生利用料	1,100	
事業収入	4,378,506	
会費収入	1,260,070	
補助金	190,740	
学校開放事業	278,889	
派遣指導	364,500	162,012,653
<b>【事業】</b>		
当期製品製造原価	11,460,663	11,460,663
売上総利益金額		150,551,990
<b>【施設】</b>		161,565,342
営業損失金額		△ 11,013,352
<b>【営業外収益】</b>		
受取利息	500	
受取配当金	100	
雑収入	19,814,232	19,814,832
<b>【営業外費用】</b>		
支払利息		59,772
経常利益金額		8,741,708
<b>【特別利益】</b>		
前期修正益		103
<b>【特別損失】</b>		
前期修正損		10,000
税引前当期純利益金額		8,731,811
法人税、住民税及び事業税		1,866,100
当期純利益金額		6,865,711

令和3年度 活動計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

NPO法人都城ぼんちスポーツクラブ

単位:円

科目	金額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会費受取会費	1,260,070	1,260,070	
2 受取助成金等			
指定管理料	132,576,127		
学校開放	278,889		
他	190,740	133,045,756	
3 事業収益			
施設利用料	22,963,821		
事業収入	4,378,506		
その他	364,500	27,706,827	
経常収益計			162,012,653
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	75,274,897		
法定福利費	9,653,150		
福利厚生費	1,210,289		
人件費計	86,138,336		
(2)その他経費			
減価償却費	3,921,346		
賃借料	1,421,148		
租税公課費	9,783,407		
需用費	34,368,223		
役務費	3,120,749		
委託料	21,527,495		
備品購入費	633,011		
体育施設整備費	1,026,533		
その他の管理費	2,900		
事業費	2,864,852		
その他経費計	78,669,664		
事業費計		164,808,000	
2 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	1,440,000		
給料手当	1,415,690		
福利厚生費	387,570		
人件費計	3,243,260		
(2)その他経費			
報償費	3,000		
需用費	19,441		
役務費	623,142		
旅費交通費	245,234		
負担金・交付金	175,700		
慶弔費	71,500		
委託料	1,579,930		
備品購入費	480,000		
交際費	798,243		
使用料及び賃借料	0		
退職金掛金	889,080		
公課費	11,215		
その他管理費	78,260		
その他経費計	4,974,745		
管理費計		8,218,005	
経常経費計			173,026,005
III 経常外収益			
1 受取利息		500	
2 受取配当金		100	
3 雑収入		19,814,232	
4 支払利息		-59,772	
5 前期修正益		103	
6 前期修正損		-10,000	
経常外収益計			19,745,163
税引前当期正味財産増減額			8,731,811
法人税、住民税及び事業税			1,866,100
当期正味財産増減額			6,865,711
前期繰越正味財産額			12,886,378
次期繰越正味財産額			19,752,089

# 令和3年度 財産目録

(令和4年3月31日現在)

NPO法人都城ぼんちスポーツクラブ

単位:円

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	1,321,414		
都城信用金庫	8,388,060		
宮崎銀行普通預金	5,240,160		
都城農協	81,800		
積立預金	1,800,000		
前払費用			
施設賠償保険など	558,000		
未収入金			
都城市	15,881,127		
厚生労働省	1,296,035		
自動販売機電気料	1,234,129		
体育施設利用料	351,440		
オーバーシード工事水道料	281,439		
事業未収入金	43,369		
その他	207,228		
流動資産合計		36,684,201	
2 固定資産			
有形固定資産			
車両運搬具	3,377,764		
工具器具備品	338,101		
有形固定資産計	3,715,865		
無形固定資産			
ソフトウェア	403,334		
投資その他の資産			
出資金	5,000		
リサイクル預託金	61,720		
長期前払費用	195,536		
投資その他の資産計	262,256		
固定資産計	4,381,455	4,381,455	
資産合計			41,065,656
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
指定管理	8,931,160		
未払法人税	1,866,100		
未払消費税	3,503,300		
前受金			
事業	11,150		
預り金			
社内積立等	1,246,335		
流動負債計		15,558,045	
2 固定負債			
長期借入金	2,968,000		
長期未払金	2,787,522		
固定負債計		5,755,522	
負債合計			21,313,567
正味財産			19,752,089

申請団体名 NPO法人都城ぼんちスポーツクラブ

希望する施設名 早水公園体育文化センター

### 主 要 業 務 実 績

年 度	業 務 名 (施設名称等)	業 務 内 容 (業務概要・発注者等)	受注額 (円)
1	指定管理 (高城運動公園等施設)	施設管理 (都城市高城地域振興課)	33,742,847
1	指定管理 (高城運動公園屋内競技場)	施設管理 (都城市スポーツ振興課)	5,139,148
1	指定管理 (山之口運動公園他 1 施設)	施設管理 (都城市スポーツ振興課)	13,625,000
2	指定管理 (高城運動公園等施設)	施設管理 (都城市高城地域振興課)	34,100,000
2	指定管理 (高城運動公園屋内競技場)	施設管理 (都城市スポーツ振興課)	5,455,754
2	指定管理 (山之口運動公園及び佐土原市民広場)	施設管理 (都城市スポーツ振興課)	9,400,000
2	指定管理 (早水公園体育文化センター及び都城運動公園)	施設管理 (都城市スポーツ振興課)	94,900,000
3	指定管理 (高城運動公園外 3 施設)	施設管理 (都城市スポーツ振興課)	39,561,127
3	指定管理 (山之口運動公園及び佐土原市民広場)	施設管理 (都城市スポーツ振興課)	9,400,000
3	指定管理 (早水公園体育文化センター及び都城運動公園)	施設管理 (都城市スポーツ振興課)	91,800,000
3	指定管理 (山之口運動公園芝生広場)	施設管理 (都城市スポーツ振興課)	1,815,000

(備考)

※ 過去 3 年間の主要実績業務について記入してください。

(同様の施設管理実績がある場合は、これを優先して記入してください。)

※ 業務内容欄には、業務の概要、発注者等について可能な限り詳細に記入してください。

※ その他、申請団体の概要がわかる資料がある場合は、添付してください。

## 都城市山之口運動公園及び都城運動公園施設指定管理者候補者選定の概要

都城市山之口運動公園及び都城運動公園施設の指定管理者については、次のとおり候補となる団体を非公募により選定しました。

なお、選定された団体を指定管理者とする議案が、令和4年12月議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営に当たることとなります。

### 1. 指定管理者候補者の概要

#### (1) 団体の名称

一般社団法人都城市スポーツコミッション

#### (2) 代表者名

理事長 池田 宜永

#### (3) 所在地

宮崎県都城市姫城町6街区21号

#### (4) 設立年月日

令和4年4月1日

#### (5) 従業員数

6名

#### (6) 業務内容

- ①スポーツ関連団体等の連携強化に関する事業
- ②スポーツイベント等の実施に関する事業
- ③スポーツイベント等の運営支援に関する事業
- ④スポーツキャンプ等の誘致に関する事業
- ⑤スポーツビジネスの創出に関する事業
- ⑥市民のスポーツ参画誘導に関する事業
- ⑦スポーツ拠点施設等の管理運営に関する事業
- ⑧その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### 2. 指定期間

令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日（3年間）

### 3. 施設及び業務の概要

#### (1) 施設概要

施設名及び所在地	施設規模等
都城市山之口運動公園 (都城市山之口町花木238)	①体育館 ○面積：1625.2㎡

1 番地 4)	○規模：バレーボール 2 面、ミニバレー 6 面 ②芝生広場 ○面積：6 4 0 0 m <sup>2</sup> ○規模：駐車場、トイレ、東屋等 ③公園区域及び公園予定区域 ○面積：2 4 0 0 0 0 m <sup>2</sup>
都城市都城運動公園 (都城市妻ヶ丘町 4 1 街区及 び 4 2 街区)	①野球場 ○面積：1 9 7 1 8 . 9 m <sup>2</sup> ○規模：両翼 9 9 m センター 1 2 2 m ②陸上競技場 ○面積：2 1 4 9 0 . 9 m <sup>2</sup> ○規模：公認 4 種競技場 4 0 0 m 8 レーン ③庭球場 ○面積：8 8 0 0 m <sup>2</sup> ○規模：クレイコート 4 面、砂入り人工芝 6 面 ④多目的広場 (健康広場) ○規模：ゲートボール 4 面

## (2) 業務概要

- ①施設の運営に関すること
- ②施設の維持管理に関すること
- ③施設の安全管理に関すること
- ④報告業務

## 4. 事業計画の概要

### (1) 市民の平等な利用が確保されること

#### ①管理運営方針等

- ・市民スポーツ団体のみならず、合宿団体等利用の機会を創出する。
- ・良好な施設運営を行い、競技力向上に寄与する。
- ・誰もが健康であるために、スポーツによる健康増進を推進する。
- ・「ハブ機能」を活かした事業を実施し、スポーツによる地域活性化を図る。
- ・デジタル技術を活用した新たなスポーツ振興にチャレンジする。
- ・本市のあらゆるスポーツ施設との連携、スポーツ人材の育成を図る。

#### ②平等利用

- ・高齢者や障がい者、妊婦や子どもなど配慮を必要とする利用者が、利用しやすいサービスの提供に努める。



- ・利用者に気持ちよく利用いただけるよう、接遇など職員の質の向上を図る。
- ・利用調整会議を実施し、公平な施設予約の機会を設けるとともに、施設情報をWebサイト等で発信し、利用機会の均等化を図る。

(2) 事業計画の内容が施設の効用を最大限に発揮するものであること

①利用の促進

- ・各種スポーツ大会、自主事業、プロ等キャンプ情報など、SNS等を活用した広報を行う。
- ・市外の合宿団体等の利用を促進するため、合宿等の誘致活動を行い、各強豪校等への施設案内や補助金紹介など、新しい顧客や利用の創出を促進する。
- ・一般財団法人都市スポーツ協会等との連携を図り、ハブ機能を活かした事業の展開を行う。
- ・各競技団体が実施するスポーツイベント等の支援を実施する。
- ・本市の重要施策である事業に取り組み、地域の活性化に寄与する。
- ・施設の更なる活用を見据え、スポーツツーリズムの事業を展開する。

②サービス・利便性の維持向上

- ・「また来たいと思える接遇」「施設の効果的な活用」「安心安全な空間提供」の3つの活動を通して、サービスの向上に努める。
- ・本施設でしか実施できないスポーツイベント等の際に、一般の利用者の方々への代替施設提案を行うなど、市全体のスポーツ振興の観点から、優良のサービス提供を行う。

(3) 経済的な管理運営が図られ、経費配分が適正であること

①経費節減

- ・業務の効率化、適正な人員配置、経費削減、自主事業等に努め、指定管理料の節減に努める。
- ・既存拠点施設に加え、今後整備予定の屋内競技場、陸上競技場等を含めた複合施設を一体的に管理し、さらに本市の他のスポーツ拠点施設との連携により、業務の効率化を図る。
- ・WebサイトやSNS、ラジオ、テレビ等を活用した情報発信や合宿キャンプ誘致活動等を実施することで、利用料金の増を図る。

(4) 事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有していること

①物的能力

- ・令和4年4月設立のため実績はありませんが、適正な管理運営をすべく、緻密に積算し、明確かつ実現可能性の高い収支計画を策定

## ②人的能力

- ・ ベッドクォーター機能により円滑かつ適正な管理運営を実施する体制の確立
- ・ 施設管理専門員の配置について、公認スポーツ施設管理士等の資格を有する職員を配置する。
- ・ 野球場、テニスコート、体育館、陸上競技場の管理に実務経験ある人材を配置し、グラウンドキーパーとしての役割はもちろん、大会運営等のサポートや助言ができる体制を整える。

## (5) 地域に貢献する取組が確保されていること

### ①地域貢献

- ・ 管理業務を遂行するだけでなく、地域の皆様に対しても親しみのある、癒しのある施設にするため、日常業務における徹底した清掃活動や、適正な緑地管理といった環境整備に取り組む。
- ・ 安定した雇用の受け皿となる社会として「都城市に貢献したい」「スポーツに携わりたい」などの希望を持った人材が、やりがいを持ち、安心して働ける雇用の場を創出することで、スポーツによる地域活性化を図る。

## (6) その他、公の施設を管理させるに当たり必要な基準

- ・ 本施設のポテンシャルを活かし、これまで本市や関連団体が培ってきたインナースポーツ戦略のブラッシュアップを図りつつ、アウトター戦略を展開するなど「関係団体や市民の皆様と手を取りあい、掛け算で生まれる相乗効果」をモットーに、これまでにないスポーツによる地域活性化事業を行う。

## 5. 選定結果

### (1) 非公募により候補者を選定した理由

本市は、地域のスポーツ関連組織・人材・取組をつなぐ役割（ハブ機能）を果たしスポーツツーリズムの推進等だけでなく幅広く「スポーツによる地域振興」を推進し、また、スポーツ拠点施設や特色ある観光資源を最大限活用し、競技大会等のスポーツイベントの開催、キャンプ・合宿等の誘致等の事業を通じてスポーツ機会を創出するために、スポーツ関連団体等の連携強化をマネジメントすることにより、スポーツの振興及び交流人口の拡大を図ることとしており、これらを担うことを目的に令和4年に設立された都城市スポーツコミッションを、非公募により候補者とすることで、スポーツ拠点施設を、市の施策に反映することができると思う。

### (2) 申請書類の審査結果

#### ①市民の平等な利用の確保について

- ・ 法令の遵守と運用規定を基に、利用ルールやマニュアルを整備し、適正な管

理運営が期待される。

- ・高齢者や障がい者、妊婦や子どもなど配慮を必要とする利用者が、利用しやすいサービス提供、また、接遇など職員の質の向上、利用しやすい施設内の表示等、平等な利用の確保が期待される。
- ・月1回の利用調整会議にて平等性を確保し、施設情報のWeb発信等で利用機会の均等化が図られる。

#### ②施設の効用の最大限の発揮について

- ・御意見箱の設置、電話や窓口、メールでの受付、アンケートを実施することで利用者の意見を幅広く徴取し、分析、検討、協議を行い業務改善として反映する。
- ・SNSやチラシ等を用いた広報活動に努め、市外の合宿団体等の利用を促進するため施設案内や補助金紹介など、新しい顧客や利用の創出を促進する。
- ・魅力的な事業を実施し、他スポーツ拠点施設と連携し、スポーツに様々な要素を掛け合わせる「ハブ機能」としての役割を活かし、施設の魅力を最大限に引き出すことに期待できる。

#### ③経済的な管理運営と適正な経費配分について

- ・業務の効率化、適正な人員配置、経費削減、自主事業等に努め、指定管理料の節減を図る。
- ・水道光熱費、修繕費及び備品購入費の削減、点検コストの削減、消耗品の一括購入と一元管理等を実施することで経費削減を行う。

#### ④地域に貢献する取組の確保について

- ・日常業務における徹底した清掃活動や、適正な緑地管理を実施し、まちなかの癒しの空間としても機能するような環境整備に取り組む。
- ・一般財団法人都城市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブなどと連携を図り、ハブ機能を活かした事業展開を行う事で、スポーツによる健康増進、競技力向上を目的とし、誰もがスポーツの機会を享受できるような取組を行う。

#### ⑤管理運営能力について

- ・類似施設の運営実績はないが、本施設の設置目的を達成するために管理運営に努めるとしている。
- ・収支計画及び事業計画に関しては、明確かつ実現可能性の高い収支計画を策定し、事業計画との整合性を確保している。事業実施においては、経費削減等を実施し、より整合性の精度を高めることに努めるとしている。

# 山之口運動公園及び都城運動公園 指定管理者事業計画書



「宣誓！ 私たちはスポーツに  
あらゆる可能性を  
かけて、行きます」

スポーツ   
かける、



**MSC**  
一般社団法人 MIYAKONOJO SPORTS COMMISSION  
都城市スポーツコミッション

## 目次

はじめに	1
(1) 都城市第2期総合戦略の重点プロジェクトの実現に向けて	
(2) 都城市における一般社団法人スポーツコミッション(MSC)の役割	
<b>I 市民の平等な利用に関すること</b>	<b>3</b>
1. 施設の管理方針の考え方	3
(1) 施設運営の基本的な方針	
2. 公の施設の設置目的の考え方	4
(1) 施設の設置目的の考え方と、目的を達成するために	
(2) 具体的な取組	
3. 申請団体の経営モラル	6
(1) 基本的な考え方	
4. 環境に配慮した取組	7
(1) 基本的な考え方	
(2) 具体的な取組	
5. 市民の平等利用の確保	8
(1) 基本的な考え方	
(2) 具体的な取組	
6. 相談や苦情等への対応	11
(1) 基本的な考え方	
(2) 具体的な取組	
(3) 再発防止・業務改善	
<b>II 施設効用の発揮に関すること</b>	<b>13</b>
1. 住民ニーズに基づく利用者増についての提案	13
(1) 基本的な考え方	
(2) 具体的な取組	
2. 利用者増のための広報・PR対策についての提案	15
(1) 基本的な考え方	
(2) 具体的な取組	
3. 産学官民連携及び協働の取組	18
(1) 基本的な考え方	
4. 利用者サービスの向上に関する提案	19
(1) 一体的な管理運営	
(2) サービスの向上	

(3) 施設を有効活用するための魅力ある事業展開について	
(4) 効果的な広報について	
(5) スポーツ拠点施設等との連携	
5. 施設の維持管理、安全管理の的確な実施及び施設の設備、機能等の有効活用	24
(1) 施設の維持管理、安全管理の的確な実施	
(2) 施設の設備、機能等の有効活用	
6. 適切な利用料金の提案	25
(1) 基本的な考え方	
(2) 利用料金案	
7. 災害時の対応	26
(1) 基本的な考え方	
(2) 事前の災害対策	
(3) 緊急時対応	
(4) 二次災害被害の防止と被害調査	
<b>Ⅲ 経済的な管理運営に関すること</b>	29
1. 指定管理料の節減及び業務の効率化についての提案	29
(1) 指定管理料の節減提案	
(2) 具体的な管理業務の効率化についての提案	
2. 経費節減の基本的な考え方、提案	30
(1) 基本的な考え方	
(2) 具体的な取組	
(3) 法令遵守・保守点検業務の実施	
3. 明確な収支管理方法の提案	34
(1) 基本的な考え方	
(2) 具体的な取組	
<b>Ⅳ 安定的な施設の管理運営に関すること</b>	35
1. 物的能力	
(1) 申請団体の財務状況	
(2) 類似施設の運営実績	
(3) 収支計画の積算根拠の明確性、実現可能性	
(4) 収支計画と事業計画との整合性	
2. 組織体制、勤務体制、責任体制	36
(1) 基本的な考え方	
(2) 組織体制	

(3) 勤務体制、責任体制	
3. 利用団体の指導、育成及び連絡調整並びに施設管理専門員等の配置	41
(1) 利用団体の指導及び育成支援の提案	
(2) 拠点体育施設として関係団体等との連絡調整能力	
(3) 施設管理専門員及び体育指導専門員の配置	
4. 職員の指導育成、研修体制の提案	42
(1) 基本的な考え方	
(2) 具体的な取組	
5. 個人情報保護、情報公開及び労働法令等についての認識	44
(1) コンプライアンスの徹底遵守	
(2) 具体的な取組	
6. まちづくりへの熱意、地域団体等との融合性、将来性及び高齢者・障がい者雇用への配慮	45
(1) まちづくりへの熱意、地域団体等との融合性、将来性	
(2) 高齢者・障がい者雇用への配慮	
7. 地域団体、地域企業、住民等との融合性	46
(1) 基本的な考え方	
(2) 具体的な取組	
<b>V 地域貢献に関すること</b>	<b>47</b>
1. 地域雇用、具体的な取組	47
(1) 地域雇用の考え方	
(2) 環境の整備	
(3) 令和9年度開催国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会への貢献	
(4) スポーツによる健康増進・競技力向上	
(5) スポーツイベント等の支援	
<b>VI その他、公の施設を管理するに当たり必要な基準に関すること</b>	<b>49</b>
1. 施設活用による地域活性化の提案	49
(1) 基本的な考え方	
(2) スポーツ合宿・キャンプ誘致	
(3) スポーツツーリズム	



## はじめに

### (1) 都城市第2期総合戦略の重点プロジェクトの実現に向けて

都城市では、令和9年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会宮崎大会の開催に向けて、宮崎県と連携した新陸上競技場の整備と併せ、山之口運動公園第3種陸上競技場、都城運動公園テニスコート等が整備されています。

山之口運動公園及び都城運動公園には、市民のスポーツ活動において中心的役割を担う施設として、市内各競技団体の競技力向上に資する取組や、市民の意見を取り入れた施設管理、スポーツの普及・振興を推進する積極的な自主事業の開催など、市民や市内各競技団体と連携した管理運営が求められると考えます。

そのような中、本市が持つ魅力・資源を最大限活用し、スポーツによる地域活性化を牽引する組織として、「一般社団法人 都城市スポーツコミッション（MSC）」を本年4月に設立しました。

当法人が、将来的に、スポーツに様々な要素を掛け合わせる「ハブ機能」としての役割を果たしていくことで、総合戦略の重点プロジェクトの一つである「国スポへの対応とスポーツによる地域活性化」の実現につながるものと考えます。

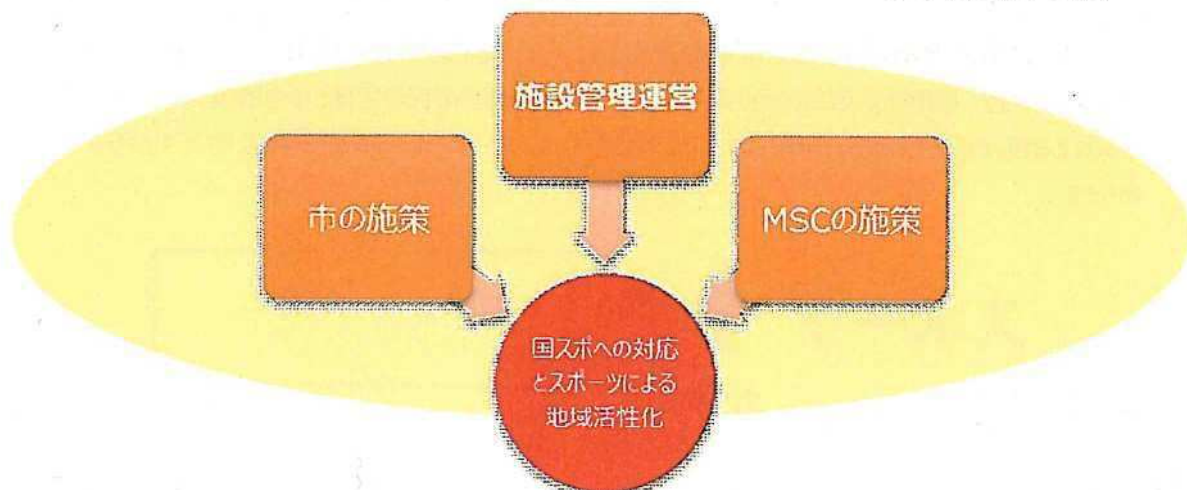
山之口運動公園及び都城運動公園をはじめとするスポーツ拠点施設の魅力と資源を最大限に引き出し、地域及び経済の活性化を図る事業計画を御提案申し上げます。



設立発起人会



第1回社員総会・理事会





## (2) 都城市における一般社団法人スポーツコミッション（MSC）の役割

当法人は、都城市のスポーツ拠点施設や特色のある観光資源を最大限活用し、競技大会等のスポーツイベントの開催、キャンプ・合宿の誘致等の事業を通じてスポーツ機会を創出するとともに、スポーツ関連団体等の連携強化をマネジメントすることにより、スポーツの振興及び交流人口の拡大を図り、もって地域・経済の活性化に資することを目的に設立されました。

このような背景を踏まえ、当法人には、スポーツに様々な要素を掛け合わせる「ハブ機能」を備えるため、設立時より一般財団法人都市スポーツ協会及び一般社団法人都城観光協会の会長を参画させることで、本市におけるスポーツによる地域活性化の核となる組織基盤を磐石といたしました。また、現在はスポーツ関連及び地域経済関連の団体の長も参画しており、今回、新たに当法人が当該施設の指定管理業務を担うことで、スポーツ拠点施設のポテンシャルを活かした事業の展開を図ることが可能となります。

このような事業の展開が、「国スポへの対応とスポーツによる地域活性化」の実現のみならず、将来的な「国スポ・障スポ大会のスポーツ・レガシー継承」に資するものと考えます。



今回、本施設を拠点に、これまで市や関連団体が培ってきたインナースポーツ戦略のブラッシュアップを図りつつ、アウター戦略を新たに企画立案するなど、「関係団体や市民の皆様と手を取りあい、掛け算で生まれる相乗効果」を目標に掲げ、これまでにない本市のスポーツによる地域活性化に寄与する所存であります。

スポーツ



かける、



## I 市民の平等な利用に関すること

### 1. 施設の管理方針の考え方

#### (1) 施設運営の基本的な方針

本施設は、現在着手されている施設改修により、将来的には、従来開催されているスポーツ大会の規模拡大や更なるプロスポーツキャンプへの対応が可能な環境を備えた施設になると考えます。

当法人は、そのようなポテンシャルを持った本施設だけでなく、他のスポーツ拠点施設を活かすため、当法人の持つ「ハブ機能」を十二分に発揮し、事業を推進します。

### 6つの施設運営の基本的方針

#### 「多様な主体におけるスポーツ機会の創出」の拠点

- 市民スポーツ団体のみならず、合宿団体等利用の機会も創出します。

#### 「スポーツの競技力向上」の拠点

- 良好な施設運営を行い、競技力向上に寄与します。

#### 「スポーツによる健康増進」の拠点

- 誰もが健康であるために、スポーツによる健康増進を推進します。

#### 「スポーツによるまちづくり」の拠点

- 「ハブ機能」を活かした事業を実施し、スポーツによる地域活性化を図ります。

#### 「スポーツにおけるDXの推進」の拠点

- デジタル技術を活用した新たなスポーツ振興にチャレンジします。

#### 「スポーツの推進に不可欠な【ハード】【ソフト】【人材】の活用」の拠点

- 本市のあらゆるスポーツ施設との連携、スポーツ人材の育成を図ります。



## I 市民の平等な利用に関すること

### 2. 公の施設の設置目的の考え方

#### (1) 施設の設置目的の考え方と、目的を達成するために

本施設は、スポーツ拠点施設として、常に利用者が快適に、平等に利用できるような施設でなければならないと考えます。そのために、当法人は、適切な管理運営、施設の有効活用を図ってまいりたいと考えます。

以下の5つの視点に着眼し、管理運営業務を遂行することで、本施設の設置目的達成に寄与する所存であります。



## I 市民の平等な利用に関すること

### 2. 公の施設の設置目的の考え方

#### (2) 具体的な取組

##### 1) 施設利用者の満足度向上

当法人は、利用者の目線に立った運営を図り、利用者の御意見を管理運営に反映します。

- 一体的な管理運営
- サービスの向上
- 魅力的な事業の実施
- 効果的な広報 等

##### 2) 安心安全な環境の整備

利用者の皆様が安心・安全に利用できるよう、設備等の適切な維持管理に努めます。また、万一の事故等にも対応できるような体制も併せて整備することに努めます。

また、本施設は、令和9年度開催が予定されている国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の会場地として、現在整備が行われているところですが、利用者の施設利用に当たって、行政と連携することで、利用者に分かりやすい注意喚起等の表示や導線の確保、利用に当たっての助言を行い、安全な施設利用ができるよう努めます。

##### 3) 効率的・効果的な管理運営

施設の有効活用に努めるとともに、経費削減も実施し、経営の安定化を図ります。

- 一体的に管理運営
- 統括的・専門的な組織管理体制
- 広報・営業による取組

##### 4) 公の施設としての適正な運営

当法人は、誰もが快適に利用できるよう、平等な施設利用の確保に努め、仕様に定められた各法令等を遵守し、管理運営に努めます。

##### 5) 拠点型スポーツ施設等と連携し、施設運営を好転

当法人の強みである、スポーツによる地域活性化における関係機関の「ハブ機能」を最大限活用し、本施設のみならず、市全体のスポーツ拠点施設と連携することで、円滑な利用調整及びサービスの向上を図ります。また、スポーツ関連及び地域経済関連団体とも連携を図り、施設の魅力を最大限に引き出すことに努めます。

## I 市民の平等な利用に関すること

### 3. 申請団体の経営モラル

#### (1) 基本的な考え方

当法人は、都城市のスポーツ拠点施設や特色のある観光資源を最大限活用し、競技大会等のスポーツイベントの開催、キャンプ・合宿の誘致等の事業を通じてスポーツ機会を創出するとともに、スポーツ関連団体等の連携強化をマネジメントすることにより、スポーツの振興及び交流人口の拡大を図り、もって地域・経済の活性化に資することを目的に設立されました。

このような設立背景を踏まえ、当法人は一般社団法人として、利益追求の形態ではなく、事業で得た利益については、「スポーツによる地域活性化」を念頭とした各種事業の実施により、市民の皆様に還元することに努めてまいります。



## I 市民の平等な利用に関すること

### 4. 環境に配慮した取組

#### (1) 基本的な考え方

経済や社会活動の発展に伴い、世界的に資源の需要が増えるとともに、気候変動や地球温暖化などの環境問題が深刻化しています。このような環境問題に対し、市民が豊かに生活できる持続可能な社会を実現していくために、環境への負荷をできる限り低減し、環境に配慮した施設運営に取り組みます。

#### (2) 具体的な取組

##### 1) 消費資源の節減

日常業務で発生する書類のペーパーレス化をはじめ、消費資源の節約等、環境にやさしい施設運営に努めます。

##### 2) 樹木等の適正な管理

環境に配慮した取組の一つとして、公園内の樹木や花木の適正な管理を行い、景観に配慮することに努めます。



##### 3) 廃棄物の軽減

4つの「Re」活動を実施し、運営業務から生じる廃棄物の排出量軽減に努めます。

- リフューズ ……不要なものは購入しない。
- リデュース ……廃棄物になるものは極力軽減。
- リユース ……すぐに廃棄せず、再利用を心掛ける。
- リサイクル ……不要になったものは、リサイクル。

##### 4) 地球温暖化防止の取組

地球温暖化防止のための活動を推進するために、適正な施設内空調温度の保持、照明利用の管理、クールビズの実施等に努めます。

また、空調や照明については、環境に配慮した行動を社内のみならず、利用者にも周知することに努めます。

## I 市民の平等な利用に関すること

### 5. 市民の平等利用の確保

#### (1) 基本的な考え方

利用者の平等利用を確保し、市民等に愛されるスポーツ拠点施設であるために、以下の基本方針に則り管理運営します。

- 正当な理由なく、利用者が施設等を利用することを拒みません。
- どのような利用者に対しても、公平なサービスを行います。
- 分かりやすい表示、利用のルールを定め、使いやすい施設とします。

#### (2) 具体的な取組

##### 1) 法令の遵守と各種規定・規則を整備

都城市都市公園条例等、施設の管理運営に関する法令等を遵守します。また指定管理者制度に基づく基本協定等についても遂行し、誰もが利用しやすい施設となるよう、必要な運用規程を整備し、適正な管理運営に努めます。

- 地方自治法第 244 条第 3 項※他関係法令を遵守し、不当な差別的取扱いを行いません。  
※地方自治法第 244 条第 3 項「地方公共団体は、住民が公の施設を利用することについて、不当な差別的取扱いをしてはならない。」
- 条例等を基に運用規程を定め、公の施設としての責務を果たします。
- 運用規程を基に、利用ルールやマニュアルを整備し、適正な管理運営を行います。





## I 市民の平等な利用に関すること

### 5. 市民の平等利用の確保

#### 2) 利用機会の均等化

利用調整会議を実施することで、公平な施設予約の機会を設けるとともに、施設情報をWebサイト等で発信し、利用機会の均等化を図ります。

- 月 1 回の利用調整会議にて申請機会の平等性を確保しながら、窓口等の混雑解消、円滑な予約を可能とします。
- 窓口やFAXでの予約受付で丁寧に対応いたします。
- 本法人のWebサイトや施設内掲示を活用した施設情報を発信します。
- 外国人の方が利用しやすいインフォメーションに努めます。
- 予約状況において、HP等での「見える化」を実施し、利用者が随時、予約状況を確認できる仕組みの構築に努めます。このようなスポーツにおけるDXの検討を都城市と連携し、検討してまいります。



HPでの問い合わせ対応



当法人 HP イメージ



## I 市民の平等な利用に関すること

### 5. 市民の平等利用の確保

#### 3) 施設・設備の適切な活用と柔軟な対応

超高齢社会が到来し、市民の多様な健康状態やニーズに応じて、市や関係機関、各種団体等が連携しつつ、スポーツを通じた健康増進により健康長寿社会の実現が求められています。

また、スポーツ拠点施設において、プロスポーツキャンプやスポーツ合宿、各種スポーツ大会等での活用による地域活性化も必要とされてきています。

これらのことを踏まえ、当法人ではあらゆる多様な利用者が気持ちよく施設を利用いただくために、ユニバーサルデザインの下、施設の適切な維持・補修や備品等の維持・更新、さらには柔軟な対応に努めます。

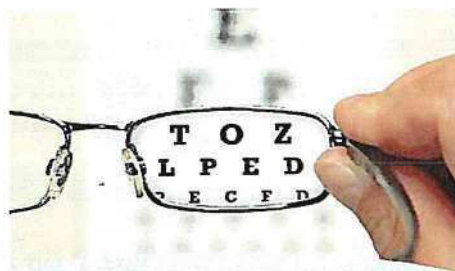
- 高齢者や障がい者、妊婦や子どもなど配慮を必要とする利用者が、利用しやすいサービスの提供に努めます。
- 利用者に気持ちよく利用いただけるよう、接遇など職員の質の向上を図ります。
- 誰もが理解し利用しやすい施設内の表示としたり、利用ルールにしたりするなど、柔軟な対応に努めます。



具体例：車椅子の設置



具体例：適切なサイン館内表示



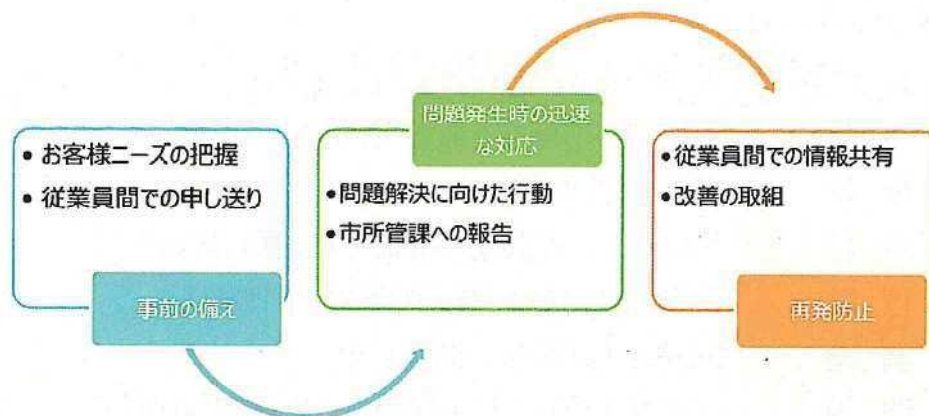
具体例：受付に老眼鏡の設置

## I 市民の平等な利用に関すること

### 6. 相談や苦情等への対応

#### (1) 基本的な考え方

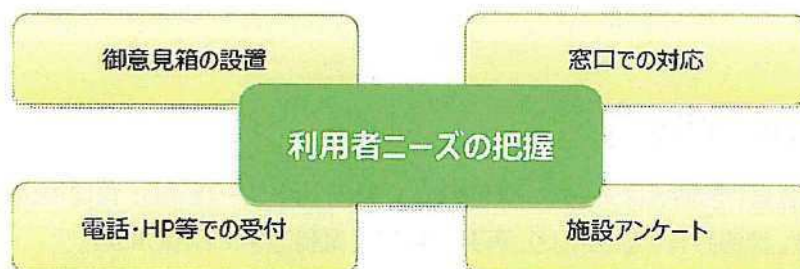
利用環境を向上させるためには、まずお客様の声を逃さず聞き取ることが大切だと考えます。当法人は、お客様の声に耳を傾け、その声をデータベース化し、より質の高いサービスの提供、施設管理の改善に取り組んでいきます。



#### (2) 具体的な取組

##### 1) 利用者のニーズの把握

利用者の皆様のニーズを把握するために、多様な方法で意見を集約します。



##### 2) 定期的なミーティング及び申し送りの徹底

毎週1回のミーティングを職員間で実施します。また、朝礼時やシフト勤務交代時など、申し送り事項の共有を徹底し、サービスの向上に努めます。

また、施設研修時の際に、各職員持ち寄りの課題や利用者対応事例の振り返りを実施し、職員間でのフィードバックに努めます。

## I 市民の平等な利用に関すること

### 6. 相談や苦情等への対応

#### 3) 問題発生時の迅速な行動

利用者からの相談・苦情等が発生した時には、情報共有を図るとともに、迅速かつ的確に対応し、適正に記録・行動をとった上で、更なる問題に発展しないよう努めます。

#### ●問題解決に向けた行動

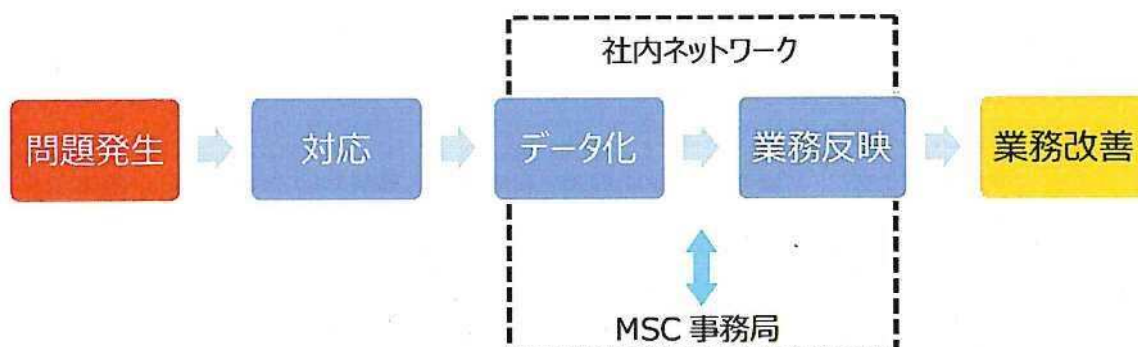
取るべき行動	
初 動	利用者の御意見を最後まで聞き取る。
確 認	原因を確認する。
対 応	事情を聞き取り、必要に応じて誠実に対応する。
行 動	問題解決のため、詳細な事情を聞き取る。
調 査	問題発生の原因を調査する。
改 善	改善案の作成、再発防止への具体的行動実施。

#### 4) 関係機関と市所管課への報告

問題が発生した場合、速やかに市所管課へ連絡し、情報共有を図るとともに、問題解決に向けた行動に努めます。

### (3) 再発防止・業務改善

いただいた御意見や苦情等はデータベース化を行い、社内ネットワークを通じ、管理する施設全体での共有に努めます。情報共有することにより、再発を防止し、業務改善に活用します。





## Ⅱ 施設効用の発揮に関すること

### 1. 住民ニーズに基づく利用者増についての提案

#### (1) 基本的な考え方

施設の管理運営において、利用者の方々の声を把握し、反映させることは、重要な点であると考えます。そのためには、多様な意見徴収機会を創出し、ニーズの分析と検討を実施し、公平・公正な観点に立って、積極的にニーズを取り入れることを実施します。

また、

#### (2) 具体的な取組

##### 1) 意見徴収の方法

以下の3つの手段を用い、利用者の皆様の御意見を幅広く聴取することに努めます。

#### 御意見箱の設置

- 御意見箱を設置し、その場で感想等をいただけるようにします。

#### 電話、窓口、メールでの受付

- 御意見いただいた内容に対しては、職員一丸となって真摯に対応し、施設運営に反映します。

#### アンケートの実施

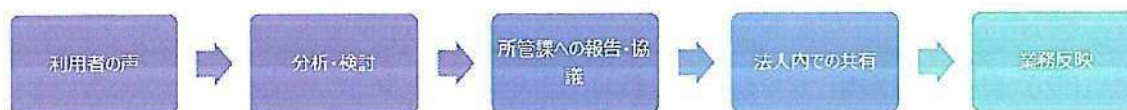
- 事業等を通じてアンケートを実施し、潜在的なニーズを把握します。

## Ⅱ 施設効用の発揮に関すること

### 1. 住民ニーズに基づく利用者増についての提案

#### 2) 意見の分析と検討、業務への反映

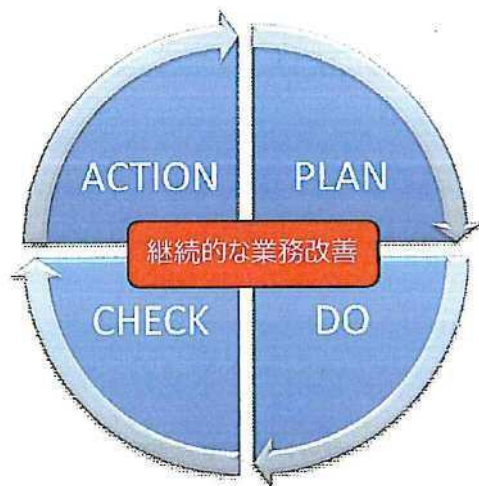
いただいた御意見は、ニーズでもある反面、既に問題として表面化している可能性が高いと考えられます。得られた情報を基に、迅速に分析、検討、協議を行い、業務改善として反映します。



至急改善すべき点は、迅速に所管課へ報告

#### 3) 継続的な改善へ向けた取組

ニーズから得られた業務改善策を継続するとともに、より良い施設運営を目指し、PDCA サイクルマネジメントを取り入れ、日頃からの業務改善に努めます。



- PLAN  
御意見から生まれた業務改善計画
- DO  
計画の実施
- CHECK  
実施結果の効果測定
- ACTION  
改善活動





## Ⅱ 施設効用の発揮に関すること

### 2. 利用者増のための広報・PR 対策についての提案

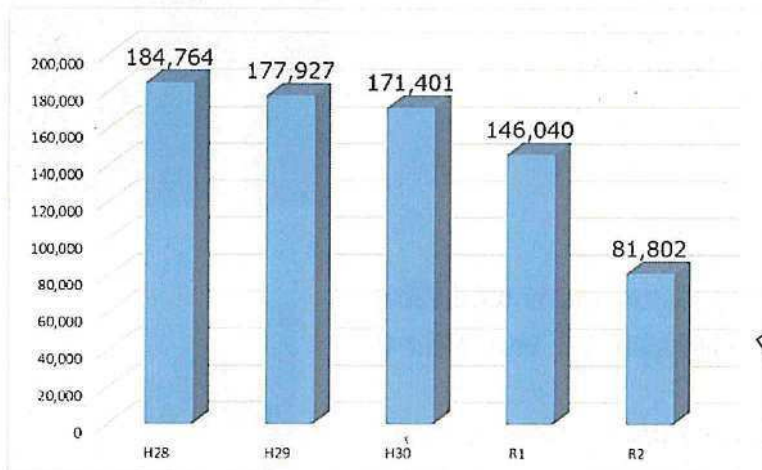
#### (1) 基本的な考え方

本施設は、令和9年度の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会宮崎大会の開催に向けた整備が着手されており、今後更なる利用者の増加が見込まれます。

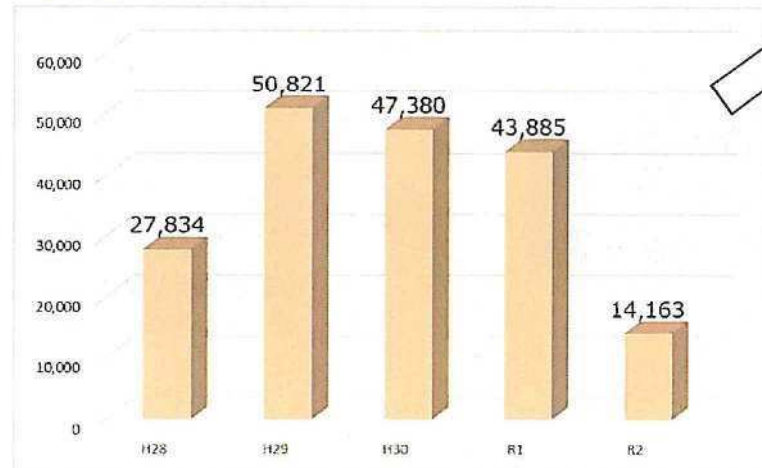
当法人は、スポーツ施設のポテンシャルを最大限発揮させ、地域及び経済の活性化とスポーツの振興に取り組みます。

広報・PR戦略を強化し、スポーツ合宿団体やスポーツイベントの積極的な誘致を進めるとともに、市民の皆様が生涯を通じてスポーツに親しみ、健康や体力増進を図る場を提供し、魅力ある事業展開、サービスの向上に努めます。

【参考】都城運動公園利用者数推移（市政のあゆみより数値引用）



【参考】山之口運動公園利用者数推移（市政のあゆみより数値引用）



R7に拠点スポーツ施設の合計利用者数

**600,000人／年**

を目標！

供用開始と同時に、当法人の管理運営による利用者増を図る！

※都市第2期総合戦略（3.10.1 国スポへの対応とスポーツによる地域活性化）の目標値を抜粋

※都城運動公園及び山之口運動公園利用者数のR2年度は新型コロナウイルス感染症による施設休館等の影響により利用者減

## Ⅱ 施設効用の発揮に関すること

### 2. 利用者増のための広報・PR 対策についての提案

#### (2) 具体的な取組

##### 1) 効果的な広報活動

本施設の利用を促進するために、下記手段を用いた広報活動に努めます。

- ・SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）による広報



⇒各種スポーツ大会、自主事業、プロ等キャンプ情報など集客に資する広報に努めます。

- ・チラシ等の PR ツール作成

⇒様々な方の目に留まるようなチラシ作成、設置に努めます。

- ・プレスリリース等の活用

- ・当法人 HP（ホームページ）での広報

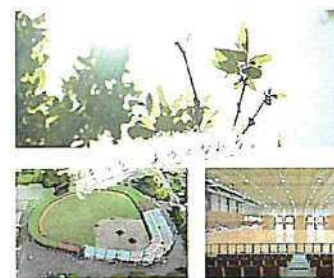


##### 2) 積極的な営業活動

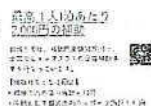
市外の合宿団体等の利用を促進するため、合宿等の誘致活動を行い、各強豪校等へ施設案内や補助金紹介など、新しい顧客や利用の創出を促進します。

- ・県内、九州各県、関東、関西及び中部圏を中心とした、プロスポーツ団体、社会人（実業団）、高等教育機関、その他各種団体等へのスポーツキャンプ等の誘致活動

- ・県等が主催するスポーツ合宿誘致セミナー、合同セールス等への参加



宮崎県都市  
スポーツ合宿補助金



地の利、食の利を活かし、  
チラシ等の広報媒体を用いた  
誘致活動の実施



## Ⅱ 施設効用の発揮に関すること

### 2. 利用者増のための広報・PR 対策についての提案

#### 3) 広報・PR 対策として取り組む項目

利用者増のために、効果的な広報活動及び積極的な営業活動を実施に努めます。そのために、以下の事業に取り組み、その内容を広報・営業活動に反映してまいります。

##### ① 魅力的な事業実施

当法人は、スポーツによる地域活性化を図るために、本施設を活かした魅力的な事業展開を図ります。具体的には、競技力向上や健康増進の事業はもちろん、合宿誘致等のアウトター戦略事業の展開にも努めてまいります。

##### ●スポーツによる健康増進・競技力向上

一般財団法人都市スポーツ協会等との連携を図り、ハブ機能を活かした事業を展開します。

##### ●スポーツイベント等の支援

各競技団体が実施するスポーツイベント等の支援を実施します。

##### ●スポーツ合宿・キャンプ誘致

都市の重要施策である当該事業に取り組み、地域活性化に寄与します。

##### ●スポーツツーリズム

施設の更なる活用を見据え、スポーツツーリズムの事業を展開します。



##### ② 他スポーツ拠点施設等との連携

本施設のみならず、他スポーツ拠点施設と連携することで、利用者に最良のサービス提案をさせていただくと同時に、都市全体のスポーツ推進に寄与します。

また、当法人の強みであるスポーツに様々な要素を掛け合わせる「ハブ機能」としての役割を活かし、スポーツ関連及び地域経済関連団体とも連携を図り、施設の魅力を最大限に引き出すことに努めます。

##### ③ 安心安全・快適な環境整備

本施設は、スポーツ施設の拠点であるとともに、憩いの空間も創出していると考えます。そのため、安心安全にスポーツ施設を利用できるよう整備することはもちろんのこと、日々の清掃等に尽力し、快適な環境を提供してまいります。





## Ⅱ 施設効用の発揮に関すること

### 3. 産学官民連携及び協働の取組

#### (1) 基本的な考え方

当法人は、スポーツに様々な要素を掛け合わせる「ハブ機能」を活かしながら、都城市のスポーツ拠点施設や特色ある観光資源を最大限活用し、競技大会等のスポーツイベントの開催、キャンプ・合宿の誘致等の事業を通じてスポーツ機会を創出するとともに、スポーツ関連団体等の連携強化をマネジメントする組織として設立しました。

そのような背景を踏まえ、当法人の理事として、都城市をはじめ、地元経済団体、中体連、高体連の関係者に参加いただいております。本市におけるスポーツ関連団体との連携強化を円滑に図れる体制も整ったところであるため、当法人の強みである「ハブ機能」を活かし、管理運営に努めてまいります。

また、都城運動公園は、野球とテニス競技の拠点、山之口運動公園は陸上競技の拠点として位置付けられていることから、まずはこれらの競技団体との連携及び協働が必要となります。

加えて、施設申請による競技者利用に加え、公園敷地内のウォーキング利用など、多種多様な世代、分野の地域住民の方々が引き続き利用してもらえるよう努めます。

施設整備に配慮しつつ、全ての利用者が快適に利用できるように運営管理を基本的な考え方とし、スポーツの普及・振興を推進する競技団体と連携し、協働による自主事業の開催を実施してまいります。



## Ⅱ 施設効用の発揮に関すること

### 4. 利用者サービスの向上に関する提案

#### (1) 一体的な管理運営

当法人は、両公園内の各施設を一体的に管理し、さらに今後整備予定の屋内競技場等や市の他のスポーツ拠点施設との連携による相乗効果により各施設の機能を相互に補完することで利用者サービスの向上に努めます。

また、当法人は、スポーツに様々な要素を掛け合わせる「ハブ機能」を活かしながら、都城市のスポーツ拠点施設や特色ある観光資源を最大限活用し、競技大会等のスポーツイベントの開催、キャンプ・合宿の誘致等の事業を通じてスポーツ機会を創出するとともに、スポーツ関連団体等の連携強化をマネジメントする組織であることから、単なる管理運営に留まらず、各種団体の合宿・キャンプの誘致やスポーツイベント誘致も実施し、施設の更なる活性化に努めます。

このような取組により、市民、合宿団体など、あらゆる方々のサービス向上を図っていきます。





## Ⅱ 施設効用の発揮に関すること

### 4. 利用者サービスの向上に関する提案

#### (2) サービスの向上

##### 1) サービス向上の基本的な考え方

当法人は、「また来たいと思える接遇」、「施設の効果的な活用」、「安心安全な空間提供」の3つの活動を通して、サービスの向上に努めます。

また来たいと思  
える接遇

施設の効果的な  
活用

安心安全な空間  
提供

##### 2) 具体的な取組

###### ① また来たいと思える接遇の実施

また来たい、利用したいと思っていただける接遇は、サービスの基本となります。特に本施設は、市民の方々のみならず、市外の方々の利用も多く見込まれるため、おもてなしの精神を常に心掛けることに努めます。

- ・ 誰に対しても、気持ちの良い挨拶を実施します！
- ・ 最大級のおもてなしの精神で、利用される方々の期待に限りなく応えます！
- ・ 次の利用につながるよう、親身な対応を心掛けます！



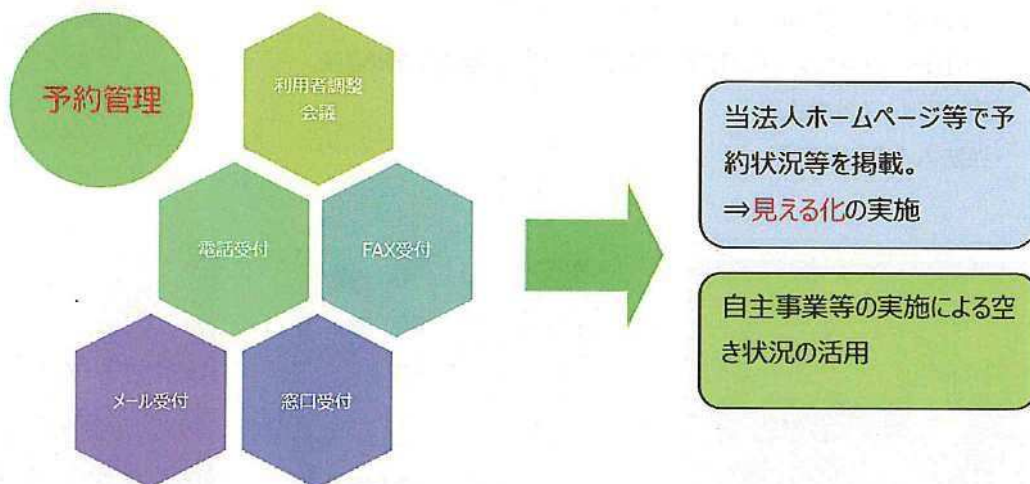
## Ⅱ 施設効用の発揮に関すること

### 4. 利用者サービスの向上に関する提案

#### ② 施設の効果的な活用

施設予約について、一体的な受付を実施するとともに、施設の空き状況にも配慮しつつ、独自の自主事業企画やスポーツキャンプ合宿の誘致による効果を発揮できるよう努めます。

また、予約状況について、HP 等での「見える化」を実施し、利用者が随時、予約状況を確認できる仕組みの構築に努めます。（＝スポーツにおける DX の検討）



#### ③ 施設の維持管理、安全管理の的確な実施

利用者の皆様に快適な空間を提供するためには、様々な工夫が必要と考えます。そのために、施設の適切な維持補修や備品等の更新を行います。

### （3）施設を有効活用するための魅力ある事業展開について

施設の設置目的を実現し、都城市のスポーツによる地域活性化に寄与するために、拠点機能を最大限に活かした事業を実施します。





## Ⅱ 施設効用の発揮に関すること

### 4. 利用者サービスの向上に関する提案

#### (4) 効果的な広報について

本施設の利用を促進するために、下記手段を用いた広報活動に努めます。

##### ・SNS による広報

⇒各種スポーツ大会、自主事業、プロ等キャンプ情報など集客に資する広報に努めます。

##### ・チラシ等の PR ツール作成

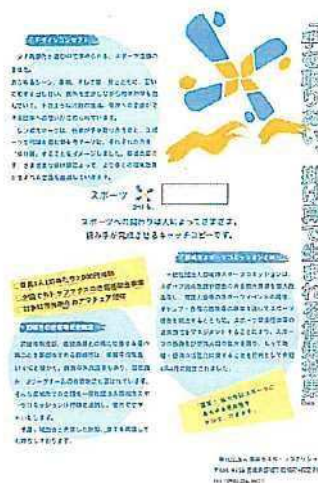
⇒市外の方々にも目に留まるようなチラシ作成、設置に努めます。

##### ・プレスリリース等の活用

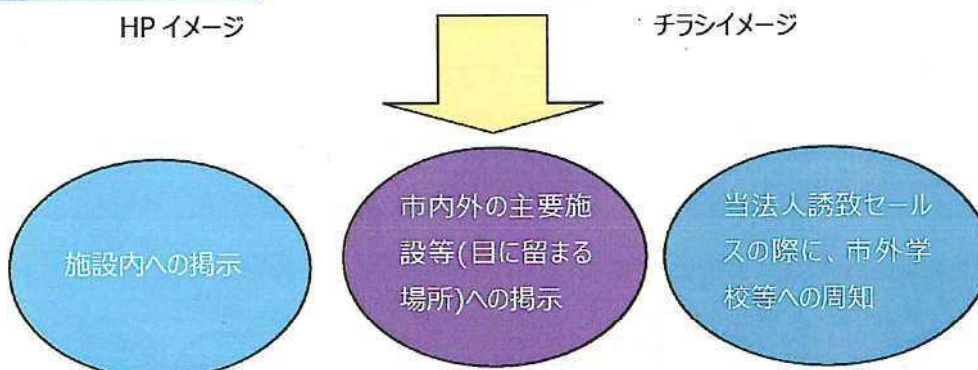
##### ・当法人 HP での広報



HP イメージ



チラシイメージ



## Ⅱ 施設効用の発揮に関すること

### 4. 利用者サービスの向上に関する提案

#### (5) スポーツ拠点施設等との連携

##### 1) 基本的な考え方

当法人の強みである、スポーツによる地域活性化における関係機関の「ハブ機能」を最大限活用し、本施設のみならず、市全体のスポーツ拠点施設と連携することで、円滑な利用調整及びサービスの向上を図ります。また、スポーツ関連及び地域経済関連団体とも連携を図り、施設の魅力を最大限に引き出すことに努めます。

##### 2) 具体的な取組

合宿・キャンプ利用者にとって、一つの施設利用だけでは完結しないケースも少なくありません。そのような場合に、当法人が「ハブ機能」として機能することで、合宿・キャンプ利用者に対して、最良のサービスを提供できるように努めます。



また、本施設でしか実施できないスポーツイベント等の際に、一般の利用者の方々への代替施設提案を行うなど、市全体のスポーツ振興の観点から、最良のサービス提供を行います。



## Ⅱ 施設効用の発揮に関すること

### 5. 施設の維持管理、安全管理の的確な実施及び施設の設備、機能等の有効活用

#### (1) 施設の維持管理、安全管理の的確な実施

仕様書に定められた業務を確実に遂行するために、当法人の業務体制を磐石に整備することはもちろんのこと、利用者の皆様に安心・安全に御利用いただき、提供するサービスの質を低下させないためにも、施設の適切な維持管理、安全管理の的確な実施に努めます。

##### 1) 施設整備に伴う工事を配慮した利用者への安全対策

施設整備に伴う危険箇所の立ち入り禁止や運動公園を出入りする工事関係車両と利用者の方々の事故を防ぐなど、利用者に安全に施設を利用してもらえよう、行政が実施する工事を正確に理解し、未然に事故を防ぐよう管理運営に努めます。

##### 2) 保守点検業務の計画・実施

安心・安全な利用確保を目指し、年間実施計画を策定し、計画に沿った保守点検業務を実施します。保守点検において、不具合が発見された場合は、緊急性や危険性を検討した上で改善に努めます。

##### 3) 日常点検の実施

専門業者による保守点検業務と併せて、職員による日常業務内において、異常の有無を確認します。

##### 4) 効果的な清掃

施設の第一印象は、施設の清潔さが重要であると考えます。清潔で気持ちの良い環境は、利用者の方々の満足度やリピート利用に直結することから、利用頻度等を考慮した清掃計画を策定、実施します。

##### 5) 施設特性に応じた業務

野球場内野や陸上競技場トラックなど、専門的な知識を有する管理業務については、各競技団体が利用しやすい環境を整備するために、専門業者による維持管理を実施します。

#### (2) 施設の設備、機能等の有効活用

施設が持つポテンシャルを最大限に活用するために、日常利用の適正な管理運営はもちろんのこと、スポーツイベントや合宿キャンプ誘致等を図り、空き状況の有効活用に努めます。

また、スポーツ拠点施設やスポーツ関連及び地域経済関連団体とも連携を図り、施設の魅力を最大限に引き出すことに努めます。

## Ⅱ 施設効用の発揮に関すること

### 6. 適切な利用料金の提案

#### (1) 基本的な考え方

利用料金に関しては、基本的に現在の設定を引き継ぐこととし、利用者の方が分かりやすい料金表示等を目指します。

#### (2) 利用料金案

##### 【都城運動公園】

庭球場	高校生以下	クレーコート1面	¥110	1時間	テニス用具	¥330	1回
	大 人		¥220		放送設備	¥1,650	
	高校生以下	人工芝コート1面	¥220				
	大 人		¥440				
	照明設備	1面当たり	¥440				
野球場	高校生以下		¥440	1時間	会議室室料	¥550	1回
	大 人		¥880		会議室冷暖房	¥270	
	入場料徴収	高校生以下	¥1,320		野球用具	¥330	1回
		一般	¥2,640		スコアボード	¥330	1試合
	アマチュア以外	入場料なし	¥8,800		ピッチングマシン	¥2,200	1台
		入場料徴収	¥17,600		更衣室・シャワー室	¥550	1団体
		興行	入場料の100分の3		放送設備	¥2,200	1回
陸上	高校生以下		¥440	1時間	陸上競技用具	¥110	1種目1回
	大 人		¥880		放送設備	¥2,200	1回
	入場料徴収	高校生以下	¥1,320				
		一般	¥2,640				
	アマチュア以外	入場料なし	¥8,800				
		入場料徴収	¥17,600				

##### 【山之口運動公園】

		全面	2/3面	1/2面	1/3面		
体育館	高校生以下	¥330	¥220	¥160	¥110	1時間	
	大 人	¥660	¥440	¥330	¥220		
	入場料徴収	高校生以下	¥990	¥660	¥490		¥330
		一般	¥1,980	¥1,320	¥990		¥660
	アマチュア以外	入場料なし	¥3,630	¥2,420	¥1,810		¥1,210
		入場料徴収	¥10,890	¥7,260	¥5,440		¥3,630
	照明	¥220					
芝生広場	高校生以下	¥110				1時間	
	大 人	¥220					
	入場料徴収	高校生以下					¥330
		一般					¥660
	アマチュア以外	入場料なし					¥1,760
		入場料徴収					¥5,280



## Ⅱ 施設効用の発揮に関すること

### 7. 災害時の対応

#### (1) 基本的な考え方

当法人は、お客様の安全・安心の確保と市の財産であるスポーツ施設・設備の保全を根幹として、事故災害等の未然に防止するための環境（人的・動的）を整備します。具体的には、以下の項目で災害等マニュアルを作成し、予めの危険の把握と予防に基づく「事前の災害対策」、いざ危険な状況に際した場合の「緊急時対応」、事後にとるべき活動の「二次災害被害の防止対応」、最後に災害等の収束後の「施設・設備の被害調査と報告」を事務局及び管理施設の全体で取り組んでいきます。

また、山之口運動公園体育館は都城市の二次避難所に指定されており、危機発生時の避難所開設等に全面的に協力します。

#### 事前の災害対策

- ・通常点検
- ・避難訓練
- ・危険箇所の特定と対策

#### 緊急時対応

- ・災害等発生時における組織体制構築
- ・緊急連絡
- ・情報の収集と提供
- ・応急救護・初期対応・避難等

#### 二次災害被害の防止と被害調査

- ・復旧対策
- ・施設・設備の被害調査とスポーツ政策課の報告

## Ⅱ 施設効用の発揮に関すること

### 7. 災害時の対応

#### (2) 事前の災害対策

安心・安全に施設利用ができる環境を整備するため、自主通常点検や、避難訓練、救急救命講習に基づき、以下の取組を実施します。

取り組み	内容
通常点検	毎日、施設の見回りを実施 自主通常点検を、週1回程度実施
利用者からの情報収集	お客様の声やアンケートからの情報収集
救急救命講習	年に1回受講
避難訓練	年に2回開催
防災・防犯用具の準備	防災グッズ
緊急連絡訓練	緊急時に備えた連絡訓練を不定期で実施
施設・設備等の補修	危険箇所の優先的な補修計画

#### (3) 緊急時対応

災害等による緊急時は以下を想定します。

種類	事例
自然現象による災害	暴風、豪雨、洪水、地震、噴火 など
人為災害	犯罪（放火）、公害、交通事故 など
特殊災害	テロ、新型コロナウイルスなどの感染症、工場等の爆発事故 など

このような災害により危険等が発生した際、社員が円滑かつ適格な対応を図ることが大変重要であると考えます。緊急時に備え体制を整備し、もしもの場面では迅速かつ適切に対応します。

##### 1) 災害等発生時における組織体制構築

勤務時の災害発生時においては、勤務している社員を中心とした組織体制の構築をします。また、時間外や休日等においては、事前に組織の体制を決め、緊急時に対応します。

##### 2) 緊急連絡

事務局は、社員・スタッフの安否確認とともに、それぞれの施設において組織体制構築の支援を行います。

## Ⅱ 施設効用の発揮に関すること

### 7. 災害時の対応

#### 3) 情報の収集と提供

- ①組織体制構築後、安全を確保した上で、運動公園内または付近での被害状況の把握をします。
- ②行政（危機管理課や消防局）やラジオ・テレビ等ニュースによる情報収集に努めます。
- ③施設利用者は被災者であるため、情報の提供等を随時行います。

#### 4) 応急救護・初期対応・避難等

- ①初期対応として、まず利用者（被災者）がパニック等に陥らないよう対処し、特に子どもや高齢者の方には率先して手助けをします。
- ②被災者には、安全な場所や近くの避難所への避難を誘導します。
- ③応急救護が必要な方がいれば、適切に処置します。

### (4) 二次災害被害の防止と被害調査

災害発生時は、リスク拡大・二次災害の防止処置を行います。災害等発生後、通常の運営状況に安全かつ迅速に復帰できるように所管課と連携を図ります。

措置	内容
リスク拡大の防止措置	施設・設備や公園内の樹木などの被害状況の把握と記録、危険な箇所については立入を禁止するなどの応急処置を行います。
二次災害の防止措置	損害による二次災害が発生しないように、所管課や関係機関と協議を行った上で、適切な修繕や復旧処置を実施します。
安心安全な原状復帰	被害状況に合わせた復旧計画を所管課と協議しながら策定し、施設・設備等の原状復帰を行い、利用者を安全に受け入れられる体制を速やかに構築します。



### Ⅲ 経済的な管理運営に関すること

#### 1. 指定管理料の節減及び業務の効率化についての提案

##### (1) 指定管理料の節減提案

本施設の管理運営に要する経費は、施設の利用料金と指定管理料及びその他の収入をもって充当します。当法人は、定められた指定管理料の範囲内で、利用者の皆様が安心・安全・快適に利用いただけるようサービスの向上、適正な管理運営に努めます。

一方で、当法人は、業務の効率化、適正な人員配置、経費削減、自主事業等に努め、指定管理料の節減を図ってまいりたいと考えます。

##### (2) 具体的な管理業務の効率化についての提案

###### ① 一体的に管理運営

当法人は、都城運動公園の野球場及び陸上競技場、庭球場、山之口運動公園の体育館に加え、今後整備予定の屋内競技場、陸上競技場等を含めた複合施設を一体的に管理し、さらに市の他のスポーツ拠点施設との連携により、業務の効率化に努めます。

###### ② 統括的・専門的な組織管理体制

職員は、担当施設の運営に縛られず、複数の施設の運営に携われるようスキルアップに努めます。

また、催事の繁忙時期等に応じて、他の担当施設において、業務に当たるなど、最小の人員で事業成果を生み出す体制を整えます。

競技利用者の目線に立ち、最も効率の良い管理方法を常に行えるよう、専門員を配置し、利用者満足度の向上に努めます。

###### ③ 広報・営業による取組

Web サイトや SNS、ラジオ、テレビ等を活用した情報発信や合宿キャンプ誘致活動等を実施することで、利用料金収入の増を図ります。

### Ⅲ 経済的な管理運営に関すること

#### 2. 経費節減の基本的な考え方、提案

##### (1) 基本的な考え方

利用者の皆様に安心・安全に御利用いただき、提供するサービスの質を低下させないためにも、施設の適切な維持管理は重要であると考えます。

そのため、関係者全員がコスト意識を持ち、日々の業務改善に取り組み、気軽に意見が言える、直ぐに実行する職場環境づくりを積極的に行います。

また、物品調達や委託業務は地元業者を優先し、地域経済へ配慮します。

##### (2) 具体的な取組

###### 1) 水道光熱費の削減

公園全体でのエネルギーマネジメントを実施し、エネルギーの使用実績分析やコスト比較、評価から経費削減策の検討・実践に努めます。

###### 2) 修繕費・備品購入費の削減

軽微な修繕や部品の交換、市民に分かりやすい表示類の作成など、当法人で実施できるものは自ら行い、費用を抑制します。また、計画的な修繕等の実施により、経費削減及び業務の効率化を図ります。

###### 3) 点検コストの削減

他施設と同等の設備点検がある場合は、同日に行うことで人件費及びメーカー点検コストの削減を図ります。

###### 4) 消耗品の一括購入と一元管理

必要な消耗品は一括購入するなど、経費削減を図ります。

また、在庫等の一元管理により業務の効率化を図ります。

###### 5) 市内外の他施設での経費削減策を導入

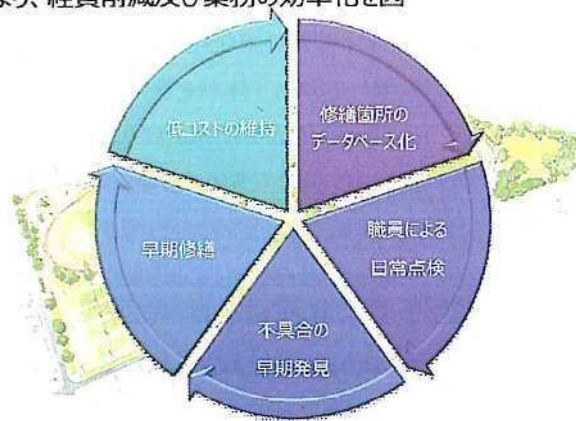
市内外の他施設で効果のある経費節減策は、積極的に導入します。

###### 6) 備品・レンタル品の共同利用

複数の施設で共同利用することで、レンタル費の削減と有効活用を図ります。

###### 7) ごみ回収費用や電話料金などの公共料金の削減

一般廃棄物や産業廃棄物処理契約、携帯電話契約などを一括契約することにより、経費削減に努めます。



### Ⅲ 経済的な管理運営に関すること

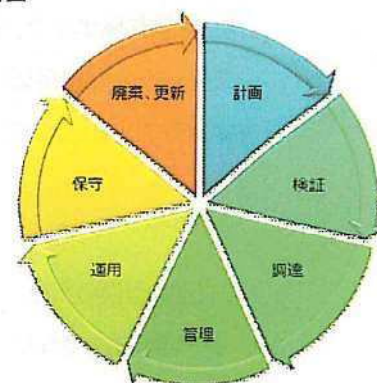
#### 2. 経費節減の基本的な考え方、提案

##### 8) 施設の長寿命化と維持管理コストの削減

施設・設備等の機能及び性能を維持しつつ、利用者の皆様の安全管理と衛生管理を行います。そのために、「ライフサイクル・マネジメント」と「アセット・マネジメント」の2つの視点から中長期的な修繕計画を立案し、効率的な施設管理を行います。

##### ●ライフサイクル・マネジメント

ライフサイクル（耐用年数）を把握した上で、施設・設備等の機能、性能を維持し、安心・安全に繋がる管理計画を策定します。



##### ●アセット・マネジメント

施設・設備を資産と捉え、その損傷・劣化等を将来にわたり予測することで、効率的かつ効果的な維持管理計画を策定します。策定に当たっては、市所管課との連携を密にとりながら実施します。

- ・適正な維持管理水準の確保
- ・計画的な施設の維持管理・更新
- ・効率的な投資計画と予算配分
- ・説明責任の確保





### Ⅲ 経済的な管理運営に関すること

#### 2. 経費節減の基本的な考え方、提案

#### (3) 法令遵守・保守点検業務の実施

建築基準法、消防法等、関係法令に基づき、維持管理業務を行います。

##### ① 保守点検業務の計画・実施

安心・安全な利用確保を目指し、年間実施計画を策定し、計画に沿った保守点検業務を実施します。保守点検において、不具合が発見された場合は、緊急性や危険性を検討した上で改善に努めます。

##### ② 日常点検の実施

専門業者による保守点検業務と併せて、職員による日常業務内において、異常の有無を確認します。

##### ③ 効果的な清掃

施設の第一印象は、施設の清潔さが重要であると考えます。清潔で気持ちの良い環境は、利用者の方々の満足度やリピート利用に直結することから、利用頻度等を考慮した清掃計画を策定、実施します。

##### ●日常清掃

- ・日常清掃によって、定期清掃での作業工程を軽減するとともに、費用縮減に努めます。
- ・ゴミ拾い等を積極的に実施し、清潔な環境を保持します。

##### ④ 施設特性に応じた業務

野球場内野や陸上競技場トラックなど、専門的な知識を有する管理業務については、各競技団体が利用しやすい環境を整備するために、専門業者による維持管理を実施します。

### Ⅲ 経済的な管理運営に関すること

#### 2. 経費節減の基本的な考え方、提案

##### 参考：再委託業務の内容と選定方法

再委託する業務は、下記の通りとなります。委託するに当たり、「都城市スポーツコミッション財務規則」に基づき、公正な契約を行うとともに、指定管理期間に応じた契約期間を通じた計画的・効率的な管理業務を遂行することで、管理経費の節減を図ります。

業務区分	業務内容	再委託理由
設備保守点検等	消防設備保守点検	専門的な知識を要する業務のため
	防火対象物点検	専門的な知識を要する業務のため
	自家発電保守点検	専門的な知識を要する業務のため
	自家用電気工作物保守点検	免許及び専門的な知識を要する業務のため
	空調設備保守点検	免許及び専門的な知識を要する業務のため
	事業系一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬処理業務	免許及び専門的な知識を要する業務のため
	機械警備業務	専門的な知識を要する業務のため
	夜間保安警備	専門的な知識を要する業務のため
植栽等管理	緑地植栽等管理業務	専門的な知識を要する業務のため
競技特性に応じた管理	野球場内野グラウンド維持管理業務	専門的な知識を要する業務のため
	陸上競技場トラック維持管理業務	専門的な知識を要する業務のため
	バスケットゴール保守点検	専門的な知識を要する業務のため



### Ⅲ 経済的な管理運営に関すること

#### 3. 明確な収支管理方法の提案

##### (1) 基本的な考え方

毎月、売上と経費の収支管理を施設ごとに実施します。また、適切な指定管理料分配を施設毎に行い、収支バランスや費用削減に努めながら、経営安定化を図ります。

##### (2) 具体的な取組

###### 1) 収入データ管理

収入データの管理は、施設毎、利用区分単位ごとに、日及び月別に把握できるようにいたします。また、収入データは、日常業務の改善や事業実施の意思決定に活用します。加えて、利用料金収入とその他収入は、明確に区分し管理します。

###### 2) 支出データ管理

各勘定科目において、経費節減を念頭に適正な支出に努め、経営安定化を図ります。また、支出データは収入データと同様、日常業務の改善や事業実施の意思決定に活用します。

###### 3) 収支管理方法

施設毎に収支計画を策定し、月次実績を作成します。収支計画や実績を基に、事業の分析・事業進捗の把握を図り、問題・課題の改善に努めます。

## Ⅳ 安定的な施設の管理運営に関すること

### 1. 物的能力

#### (1) 申請団体の財務状況

当法人は、令和4年4月に設立したため、第1期決算（令和4年4月～令和5年3月）を迎えていないところであります。

そのため、現時点では、お示しできる財務状況の資料はございませんが、健全な財務状況の維持に努めております。

#### (2) 類似施設の運営実績

当法人は、類似施設の運営実績はございませんが、当法人定款第4条第7号に「スポーツ拠点施設等の管理運営に関する事業」に取り組むことを定めておりますので、本施設の設置目的を達成するために、管理運営に努める所存であります。

#### (3) 収支計画の積算根拠の明確性、実現可能性

当法人は、適正な管理運営をすべく、緻密に積算し、明確かつ実現可能性の高い収支計画を策定しております。

収入につきましては、募集要綱の「運営に際する目安」を基に、施設利用料金を見込み、計上しております。一方、支出につきましては、当法人が想定する適正な管理運営を見据え、類似施設管理運営等を参考に見込み、計上しております。

#### (4) 収支計画と事業計画との整合性

当法人は、先述したとおり、明確かつ実現可能性の高い収支計画を策定し、事業計画との整合性を確保しております。また、事業実施においては、経費削減等を実施し、より整合性の精度を高めることに努めます。

## IV 安定的な施設の管理運営に関すること

### 2. 組織体制、勤務体制、責任体制

#### (1) 基本的な考え方

本施設は、屋内競技場の新設や令和9年度国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会宮崎大会の開催を見据えた整備も着手されており、今後更なる利用者の増加が見込まれます。

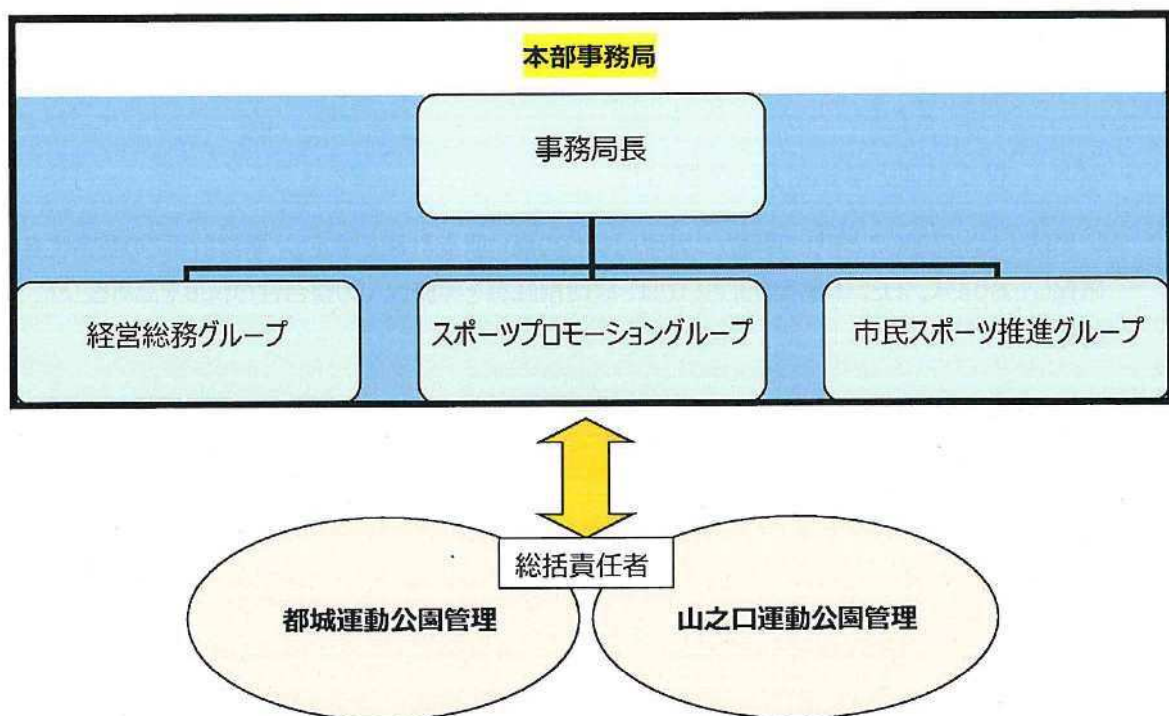
当法人は、スポーツ施設のポテンシャルを最大限発揮させ、スポーツの振興と地域及び経済の活性化に取り組む組織として設立したことから、市民の活動・生涯を通じてスポーツに親しみ、健康や体力増進を図る場を提供するとともに、スポーツ合宿団体やスポーツイベントの積極的な誘致を進め、当法人の理念でもある「スポーツによる地域活性化」を着眼点とした取り組みを推進する施設としての役割が期待されます。

施設の設置目的と当法人の理念を追求するためには、組織体制の強化を図る必要があるため、適正な人員配置を行い、円滑な管理運営業務が実施できるような組織体制を整備します。

#### (2) 組織体制

##### 1) ヘッドクォーター（オフィス）機能による円滑な運営

複数施設の管理運営状況を統括的に管理するため、総務経営グループ、スポーツプロモーショングループ、市民スポーツ推進グループから構成される本部事務局を設置します。ヘッドクォーター機能により、円滑かつ適正な管理運営を実施する体制を確立します。





## IV 安定的な施設の管理運営に関すること

### 2. 組織体制、勤務体制、責任体制

#### ● 具体的な業務体制

業務内容
<p>■ 総括責任者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山之口運動公園及び都城運動公園の総括責任者</li> <li>・山之口運動公園及び都城運動公園並びに本部との連絡調整に関すること</li> <li>・施設利活用に関すること</li> <li>・キャンプ誘致等の企画推進に関すること</li> </ul>
<p>■ 企画責任者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山之口運動公園及び都城運動公園の既存施設及び新規施設を活用するための企画、推進に関すること。</li> <li>・キャンプ誘致及び受け入れに関すること。</li> <li>・キャンプ誘致等に伴う施設整備に関すること。</li> </ul>
<p>■ 施設管理責任者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の防火管理に関すること</li> <li>・災害時の施設管理に関すること</li> <li>・職員の配置及び労務管理に関すること</li> <li>・施設内修繕、業務委託の執行に関すること及び実施に伴う行政との連絡調整</li> <li>・備品の点検、修繕、購入に関すること</li> <li>・施設内の法定点検及び定期点検並びに点検結果における改善対応に関すること</li> <li>・施設利用調整に関すること（年間利用調整会議に関すること）</li> <li>・施設利用者数集計、統計資料の作成に関すること</li> </ul>
<p>■ 経理担当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給与管理</li> <li>・施設利用調整に関すること（年間利用調整会議に関すること）</li> <li>・利用料徴収、現金管理、帳簿整理の総括に関すること</li> <li>・自販機設置及び売店等出店に関する許可、料金徴収に関すること</li> <li>・施設管理の支出に関すること</li> </ul>
<p>■ 施設管理総括</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用許可に関すること</li> <li>・利用料の計算及び徴収に関すること</li> <li>・利用者対応に関すること</li> <li>・施設内の巡回、各種設備の自主点検に関すること</li> </ul>

<p>■施設管理担当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ誘致・受入に関する事</li> <li>・野球場及び屋内競技場、体育館、テニスコートの利活用に関する事</li> <li>・施設の利用許可に関する事</li> <li>・利用料の計算及び徴収に関する事</li> <li>・利用者対応に関する事</li> <li>・施設内の巡回、各種設備の自主点検に関する事</li> <li>・施設の利用許可に関する事</li> <li>・利用料の計算及び徴収に関する事</li> <li>・利用者対応に関する事</li> <li>・施設内の巡回、各種設備の自主点検に関する事</li> </ul>
<p>■施設管理補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用許可に関する事</li> <li>・利用料徴収の計算に関する事</li> <li>・利用者対応に関する事</li> <li>・施設内の自主点検に関する事</li> <li>・夜間勤務がメイン</li> </ul>
<p>■施設清掃員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内の清掃に関する事</li> </ul>
<p>■園内管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園内の清掃に関する事</li> <li>・樹木管理、低木剪定に関する事</li> <li>・園路、駐車場巡回点検に関する事</li> </ul>

## IV 安定的な施設の管理運営に関すること

### 2. 組織体制、勤務体制、責任体制

#### 2) 定期的な会議の実施

##### ○ 業務検討会議

定期開催の業務検討会議では、日常業務中に発生した問題課題への対策検討と、対応に向けた具体的な案を策定します。

##### ○ 施設研修会議

職員のスキルアップやサービスの向上、施設管理を適切に行うため、施設の管理運営状況や業務上の案件などを協議する場となります。

##### ○ 安全管理会議

事故はもちろん、ヒヤリハット案件が発生した場合、各施設を統括する担当(施設長)と事務局により緊急に召集される会議を開催します。また、災害時の対応、連絡体制等についてもこの会議で議論します。

#### 3) 確実な情報の伝達定期的な会議の実施

##### ○ オンライン会議の随時開催体制

各施設と事務局を Zoom 等の Web 会議システムを活用し、随時オンライン会議を実施できる体制とします。

##### ○ 朝礼・申し送り会の実施

当日出勤しているスタッフ間での情報を共有する手段として、施設開館前の「朝礼」と、シフト勤務交代時における「申し送り会」を実施します。

##### ○ 社内情報共有システム

社内情報共有システムを活用し、申し送り事項やプロジェクトの進捗状況等を共有します。

#### 4) 専門スタッフの配置

野球場（硬式野球・軟式野球・ソフトボール）、テニスコート（テニス・ソフトテニス）、体育館（バレー、バスケットボール）、陸上競技場（陸上）の管理に実務経験のある人材を配置し、グラウンドキーパーとしての役割（競技場整備に関する手伝いやアドバイス、備品使用方法のレクチャー）はもちろん、大会運営等のサポートや助言ができる体制を整えます。



## IV 安定的な施設の管理運営に関すること

### 2. 組織体制、勤務体制、責任体制

#### (2) 勤務体制、責任体制

全施設で、的確かつ迅速な対応が可能となるよう、社員を各施設・各時間に配置し、責任ある勤務体制を確保していきます。そして、利用状況に合わせた勤務体制を中長期的視点から準備し、いつでもお客様へ安心・安全に利用できるサービスの提供を確保し、効率的・効果的な業務体制の維持に努めます。

また、運営体制はシフト勤務(2～3交替制)を予定しておりますが、社内情報共有システムでの共有化や朝礼・引継ぎ、スタッフミーティング等での情報共有を徹底するとともに、受付業務や事務実施などを全社員で対応できる協力体制を整えていきます。

#### ●責任のある勤務体制の確保

以下の勤務体制を基本とし、いずれの勤務時間帯にも責任者となる社員を配置することで、責任ある勤務・連絡体制といたします。

(都城運動公園)

- 1 勤務 7:45～16:45
- 2 勤務 9:30～18:30
- 3 勤務 17:00～22:15

(山之口運動公園)

- 1 勤務 7:45～16:45
- 2 勤務 16:30～22:15



#### Ⅳ 安定的な施設の管理運営に関すること

##### 3. 利用団体の指導、育成及び連絡調整並びに施設管理専門員等の配置

###### (1) 利用団体の指導及び育成支援の提案

当法人は、スポーツに様々な要素を掛け合わせる「ハブ機能」を活かしながら、都城市のスポーツ拠点施設や特色ある観光資源を最大限活用し、競技大会等のスポーツイベントの開催、キャンプ・合宿の誘致等の事業を通じてスポーツ機会を創出するとともに、スポーツ関連団体等の連携強化をマネジメントする組織として設立しました。

また、本指定管理を担うことを見据え、類似施設の管理運営実績のある職員も配置する予定としております。

今回の本指定管理業務においては、様々な利用団体との関わりを持ち、良好な関係性構築を図る必要があると考えており、当法人は、強みである関係団体との「ハブ機能」を活かし、また実績のある職員も配置することから、利用団体へ適切な指導を行ってまいります。

具体的な取組としては、「スポーツによる健康増進・競技力向上」の観点から、一般財団法人都城市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブなどと連携を図り、ハブ機能を活かした事業を展開してまいります。

###### (2) 拠点体育施設として関係団体等との連絡調整能力

当法人は、先述したとおり、スポーツに様々な要素を掛け合わせる「ハブ機能」を活かし、スポーツ関連団体等との連携強化をマネジメントする組織であります。

既に構築されているネットワークも活用しつつ、本指定管理業務を担うことで、新たなネットワークも築き、拠点体育施設として連絡調整を密に図ってまいります。

###### (3) 施設管理専門員及び体育指導専門員の配置

当法人は、施設管理専門員として公認スポーツ施設管理士等の資格を有する職員を配置します。また、体育指導専門員として、健康運動指導士等の資格を有する職員を配置します。



## IV 安定的な施設の管理運営に関すること

### 4. 職員の指導育成、研修体制の提案

#### (1) 基本的な考え方

安定したサービスを提供できるよう、スタッフのスキルの質を全管理施設において均一化できるようOJT機能を生かしながら、年間を通じて計画的な社員研修・人材育成に努めてまいります。

また、サービス向上のためには、社員研修は必要不可欠です。配置予定のグラウンドキーパーなど専門スタッフについては、きめ細やかな気配りと質の高いサービスを提供するため、当法人でつながりのあるプロ等団体が求めるクオリティを確保するため、定期的に研修に行くなどし、最終的にはプロ等団体から信頼されるよう人材の育成に努めます。

#### (2) 具体的な取組

##### 1) 定期的なスタッフの研修の実施

施設運営に係る研修を定期的の実施し、スタッフ全体の持つスキルの維持と向上に努めてまいります。

研修で実施する項目	研修内容
新任者研修	施設の管理運営方針や設置目的 指定管理者制度 各種規定等
指定管理者講習	指定管理者としての心構え 業務実施体制の把握・改善 緊急時対応（AED・担架等）訓練 コンプライアンス（法令順守）研修 個人情報保護法等の研修
顧客満足度向上	接客（接遇）研修 顧客ニーズに対応するための研修
消防（避難誘導）訓練	消火器操作・緊急連絡訓練 危機管理行動マニュアル
個人情報保護及び情報公開	個人情報保護法及び市条例等の理解
コンプライアンス	法令及び規則等の確認 コンプライアンス教育の徹底
評価者研修	人事評価研修 人権研修 ハラスメント研修

#### IV 安定的な施設の管理運営に関すること

#### 4. 職員の指導育成、研修体制の提案

## 2) 専門研修への参加促進

外部専門機関が主催する研修へ積極的に参加します。施設管理運営上の資格取得や研修、備品使用方法のレクチャーや芝の管理など、メーカーや自治体が主催する研修への参加を奨励し、スタッフのスキルアップを目指します。

また、野球（硬式野球・軟式野球・ソフトボール）、テニス（テニス・ソフトテニス）、陸上競技等に精通する人材を配置し、グラウンドキーパーとしてのスキルアップのため、当法人でつながりのあるプロ等団体やグラウンド整備を専門に行う業者に対して、指導を仰ぎます。

### 3) 資格取得奨励制度

社員・スタッフが資格を取得しやすい環境にするため、資格取得者のシフトの配慮、向上心を後押しする評価制度を取り入れます。

#### 4) スポーツによる地域活性化をテーマとする研修

当法人では、設立後すぐに、スタッフの研修を兼ねた「スポーツによる地域活性化」を目的とした研修を実施しています。観光協会などの地域経済団体や行政にも参加いただき、市民一丸となってスポーツの魅力の発見や地域の資源発掘に努めています。施設管理の社員・スタッフにも積極的な参加を推奨し、都城市のスポーツによる地域活性化の実現に取り組みます。



令和４年度の研修（抜粋）	
（研修内容）	（参加団体）
グループワーク	一般社団法人都城市スポーツコミッション
都城市のスポーツ魅力発掘	一般社団法人都城観光協会
	企業（グリーンホテル、(株)まちづくり会社 等）
	総合型地域スポーツクラブ
	都城市
	など

## IV 安定的な施設の管理運営に関すること

### 5. 個人情報保護、情報公開及び労働法令等についての認識

#### (1) コンプライアンスの徹底遵守

体育施設の管理運営を含め、スポーツに関わる当法人事業活動すべてにおいて、徹底した法令順守をします。法令順守に当たっては、社内規定・規則を設けた上で、道徳・モラルを持った社会規範に基づいて行動します。

#### (2) 具体的な取組

##### 1) 個人情報保護

個人情報保護法に沿った事業運営を展開するとともに、適正な管理を行うため「一般社団法人都市スポーツコミッション特定個人情報取扱規則」を定め、適切に対応します。

##### 2) 情報公開管理

公の施設を管理する上で、公平かつ公正、透明性の高い管理運営を行うため「一般社団法人都市スポーツコミッション文書取扱等規則」において、法人の保有する情報の公開について、都城市の運用を準拠することとし、適正に情報の管理をします。

##### 3) 労働環境の保全

全ての社員・スタッフの就業に関して、労働基準法やその他関係法令を遵守した労働環境の整備に努めます。



#### Ⅳ 安定的な施設の管理運営に関すること

##### 6. まちづくりへの熱意、地域団体等との融合性、将来性及び高齢者・障がい者雇用への配慮

###### (1) まちづくりへの熱意、地域団体等との融合性、将来性

当法人は、都城市のスポーツ拠点施設や特色ある観光資源を最大限活用し、競技大会等のスポーツイベントの開催、キャンプ・合宿の誘致等の事業を通じてスポーツ機会を創出するとともに、スポーツ関連団体等の連携強化をマネジメントすることにより、スポーツの振興及び交流人口の拡大を図り、もって地域・経済の活性化に資することを目的に設立されました。

当法人の設立背景のとおり、スポーツによる地域活性化を図る側面から、まちづくりへの貢献に努めてまいります。更には、本施設の管理運営を担うことで、更なる地域への貢献を目指してまいります。

加えて、当法人の強みである「ハブ機能」を活かした管理運営に努め、地域団体等との融合性も図ってまいります。

将来的には、管理運営の継続、当法人としての事業展開が、「国スポへの対応とスポーツによる地域活性化」の実現のみならず、「国スポ・障スポ大会のスポーツ・レガシー継承」に資するものと考えます。



## 国スポ障スポのレガシー継承へ

###### (2) 高齢者・障がい者雇用への配慮

高齢者や障がい者の雇用についても、職務スキルや健康状態等を考慮しながら、雇用の配慮に努めてまいります。

## IV 安定的な施設の管理運営に関すること

### 7. 地域団体、地域企業、住民等との融合性

#### (1) 基本的な考え方

本施設は、令和9年度開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の会場地として現在施設整備が行われているため、整備に配慮した運用に工夫が必要となります。

都城運動公園は、野球とテニス競技の拠点として、山之口運動公園は陸上競技の拠点として位置付けており、まずはこの競技団体との連携及び協働が必要となります

また、施設申請による競技者利用に加え、公園敷地内のウォーキング利用など、多種多様な世代、分野の方々が利用されます。

施設整備に配慮しつつ、全ての利用者が快適に利用できるような運営管理を基本的な考え方とし、スポーツの普及・振興を推進する競技団体と連携し、協働による自主事業の開催を実施してまいります。



#### (2) 具体的な取組

##### 1) 専門スタッフによる協働・提案

野球やテニス、陸上等を熟知したスタッフによる、備品の利用方法や大会運営の提案・指導など、競技普及や競技力向上につながる活動を協働するなど、総合的かつ多角的な利用環境を提供します。

##### 2) 競技団体等との競技力向上に向けた提案

当法人では、「競技スポーツ強化促進事業」を実施しており、国民スポーツ大会に向けた競技力向上はもとより、より一層のスポーツキャンプ、合宿等の誘致を促進し、一般財団法人都市スポーツ協会、各競技団体及び学校等と連携して、当法人主催による「合同練習会」「競技会」を開催することとしています。



## V 地域貢献に関すること

### 1. 地域雇用、具体的な取組

#### (1) 地域雇用の考え方

安定した雇用の受け皿となる会社として、「都城市に貢献したい。」「スポーツに携わりたい。」などの希望を持った人材が、やりがいを持ち、安心して働ける雇用の場を創出します。

当法人が主催する各種研修等を通じた職員自身のキャリアアップや、ライフスタイルに応じた福利厚生の充実など、働きやすい環境を整備することで、一人一人が熱意を持って業務に励み、結果的にスポーツによる地域活性化を図れるよう努めます。

●【令和4年度採用実績】 地元雇用者4名、Uターン雇用者1名



#### (2) 環境の整備

本施設は、地域住民の皆様にとって身近な施設となります。管理業務を遂行するだけでなく、地域の皆様に対しても、親しみのある、癒しのある施設にしていくことは重要と考えます。

そのために、日常業務における徹底した清掃活動や、適正な緑地管理を実施し、まちなかの癒しの空間としても機能するような環境整備に取り組みます。



#### (3) 令和9年度開催国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会への貢献

現在、都城市は、令和9年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、各種競技施設の整備に着手しています。

本施設においても、テニスコート、陸上競技場が整備される予定であり、当法人の「スポーツによる地域活性化」を念頭においた各種事業で、上記大会に貢献することはもちろんのこと、管理運営面においても、「適正な管理」を遂行し、国スポ・障スポのレガシー継承に寄与することを見据え、努めてまいります。

紡ぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会 2027 第26回全国障害者スポーツ大会

## Ⅴ 地域貢献に関すること

### 1. 地域雇用、具体的な取組

#### (4) スポーツによる健康増進・競技力向上

##### 1) 基本的な考え方

スポーツは、あらゆる世代の方々に馴染みがあり、健康増進のために必要な役割を果たします。また、各種競技において、競技力向上を図ることにより、市全体の地域活性化にも寄与することが期待されます。当法人の管理運営業務においても、スポーツによる健康増進・競技力向上を目的と、誰もがスポーツの機会を享受できるような取組を行ってまいります。

##### 2) 具体的な取組み

「スポーツによる健康増進・競技力向上」の観点から、一般財団法人都市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブなどと連携を図り、ハブ機能を活かした事業を展開してまいります。

#### (5) スポーツイベント等の支援

##### 1) 基本的な考え方

本施設においては、拠点施設ならではの大規模大会やイベント等が開催されています。このようなスポーツイベント等は、地域への経済効果が大きいだけでなく、子どもをはじめ市民の皆様の、スポーツ契機の創出に繋がるものと考えます。当法人の管理運営業務においても、各競技団体が実施するスポーツイベント等について、「ハブ機能」としての役割を十分に活かした支援を行ってまいります。

##### 2) 具体的な取組

各競技団体等が主催するスポーツイベント等について、当法人が持つ「ハブ機能」としての役割を十分に活かし、運営支援、イベント等の誘致活動を実施します。



みやざきフェニックス・リーグ開催



イベント等の支援（運営、広報 等）



## Ⅵ その他、公の施設を管理するに当たり必要な基準に関すること

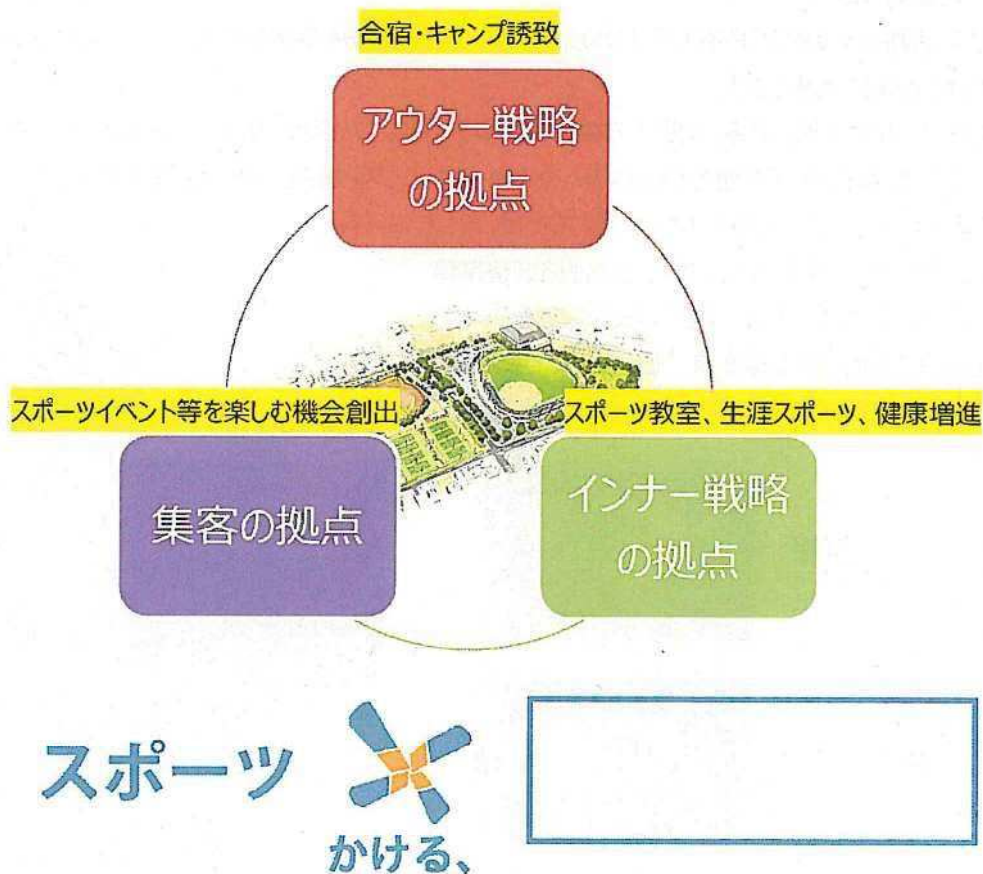
### 1. 施設活用による地域活性化の提案

#### (1) 基本的な考え方

当法人は、都城市のスポーツ拠点施設や特色ある観光資源を最大限活用し、競技大会等のスポーツイベントの開催、キャンプ・合宿の誘致等の事業を通じてスポーツ機会を創出するとともに、スポーツ関連団体等の連携強化をマネジメントすることにより、スポーツの振興及び交流人口の拡大を図り、もって地域・経済の活性化に資することを目的に設立されました。

様々なスポーツによる地域活性化事業を遂行しつつ、今後は、その事業の核となる本施設の管理運営を担うことで、より一層の充実を図りたいと考えます。

今後、本施設のポテンシャルに着眼し、これまで都城市や関連団体が培ってきたインナースポーツ戦略のブラッシュアップを図りつつ、アウター戦略を新たに展開するなど「関係団体や市民の皆様と手を取りあい、掛け算で生まれる相乗効果」をモットーに、これまでにないスポーツによる地域活性化事業を行ってまいります。



## VI その他、公の施設を管理するに当たり必要な基準に関すること

## 1. 施設活用による地域活性化の提案

## (2) スポーツ合宿・キャンプ誘致

### 1) 基本的な考え方

当法人の主要事業である、スポーツ合宿・キャンプの誘致は、都城市の重要な政策でもあります。市外団体が都城市で合宿を行うことにより、地域への経済効果は多大な影響をもたらします。またプロ等団体のキャンプが実施されれば、市民の皆様に夢や感動をもたらします。このことがスポーツ人口の拡大につながるものと考えます。



当法人としましては、合宿団体が快適に利用できるような施設管理運営を図りながら、誘致活動を都城市と両輪で取り組み、地域活性化に寄与したいと考えます。

## 2) 具体的な取組

誘致活動と施設管理運営という2つの領域に关与できる強みを最大限活用し、本施設への積極的な誘致活動を実施します。

- 県内、九州各県、関東、関西及び中部圏を中心とした、プロスポーツ団体、社会人（実業団）、高等教育機関、その他各種団体等へのスポーツキャンプ等の誘致活動及び受入れ支援
- 春季キャンプ受入れ業務（キャンプ運営支援、おもてなし等）
- 受入れまでの期間におけるチームとの連絡調整業務
- 会場設営業務、グラウンド管理業務の総括
- おもてなし面での支援業務（セレモニー、レセプション）
- 施設におけるチームとの連絡調整業務



※都城市第2期総合戦略の目標値

地の利、食の利を活かした誘致活動（肉と焼酎のふるさと）

キャンプ時の支援（運営面、スポーツ教室等）



## Ⅵ その他、公の施設を管理するに当たり必要な基準に関すること

### 1. 施設活用による地域活性化の提案

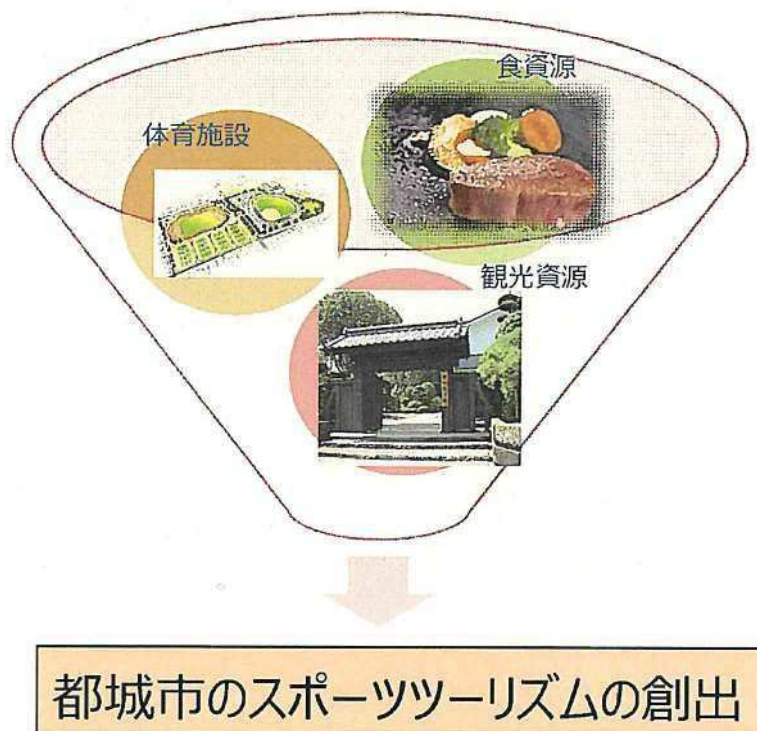
#### (3) スポーツツーリズム

##### 1) 基本的な考え方

スポーツ庁が促進を図っているスポーツツーリズムは、スポーツによる地域・経済の活性化に寄与します。スポーツを「する・みる・支える」を実現すべく、本施設を活用したスポーツツーリズムの展開も視野に事業を展開していきます。

##### 2) 具体的な取組

当法人の令和4年度事業において、将来的な「スポーツ×旅行・観光」のコンテンツ創出を見据えた調査研究を実施しております。その調査研究結果を基に、本施設の活用も視野にスポーツツーリズム事業を展開していきたいと考えます。





令和4年度 一般社団法人 都城市スポーツコミッション収支予算書

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

収入の部

(単位:円)

科目				予算額
大科目	中科目	小科目		
補助金等収入	市補助金収入	都城市スポーツコミッション運営費補助金(4月)	都城市	33,880,000
		都城市スポーツコミッション運営費補助金(7月)	都城市	11,235,000
		都城市スポーツコミッション事業費補助金	都城市	7,115,000
受託収入	キャンプ受入業務受託収入	プロスポーツチームキャンプ受入業務受託収入	都城市	5,263,000
基金	基金	基金	都城市	10,000,000
雑収入	雑収入	受取利息		1,000
合計				67,494,000

支出の部

科目				予算額
大科目	中科目	小科目	摘要	
事業費	総務費	給料	事務局長外5名	13,847,000
		手当	管理職手当・扶養手当・住居手当外	14,731,000
		社会保険料等	健康保険料・厚生年金保険料 外	4,731,000
		旅費	営業旅費	2,384,000
		交際費	営業お土産	480,000
		消耗什器備品費	机・椅子・ロッカー 外	592,000
		消耗品費	電子コピー料・文具・消耗器材費	2,243,000
		印刷製本費	P R用パンフレット	85,000
		燃料費	社用車ガソリン代	129,000
		通信運搬費	電話料・インターネット通信料 外	1,505,000
		手数料	振込手数料	120,000
		広告料	P R広告用 外	500,000
		委託費	イベント・税理士顧問料 外	1,220,000
		使用料及び賃借料	複合機・パソコン等賃借料 外	2,549,000
	小計			45,116,000
	共通事業費 (事業費補助金分)	諸謝金	研修会講師謝礼	600,000
		消耗品費	消耗品費等	50,000
		使用料及び賃借料	競技スポーツ強化促進事業会場使用料	25,000
		委託費	フルマラソン等企画検討業務	6,000,000
		助成金支出	競技スポーツ強化促進事業助成金	440,000
	小計			7,115,000
	共通事業費 (キャンプ受入業務受託分)	諸謝金	キャンプ受入れ業務補助支援者への謝礼	44,000
		消耗品費	消耗品費等	200,000
		印刷製本費	キャンプ情報発信用チラシ、パンフレット	78,000
		使用料及び賃借料	施設使用料、会場フレハブリース料 外	1,242,000
		委託費	Jキャンプ会場設営、レセプション対応業務、グラウンド管理 外	3,699,000
	小計			5,263,000
基金	基金	基金	都城市	10,000,000
合計				67,494,000



## 都城市南部ふれあい広場指定管理者候補者選定の概要

都城市南部ふれあい広場の指定管理者については、次のとおり候補となる団体を非公募により選定しました。

なお、選定された団体を指定管理者とする議案が、令和４年１２月議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営に当たることとなります。

## １．指定管理者候補者の概要

## （１）団体の名称

都城市南部ふれあい広場管理運営委員会

## （２）代表者名

会 長 瀬之口 学

## （３）所在地

都城市大岩田町５８１２番地７

## （４）設立年月日

平成３０年１０月２９日

## （５）従業員数

７名

## （６）業務内容

都城市南部ふれあい広場指定管理業務

## ２．指定期間

令和５年４月１日 ～ 令和１０年３月３１日（５年間）

## ３．施設及び業務の概要

## （１）施設概要

施設名及び所在地	施設規模等
都城市南部ふれあい広場 (都城市大岩田町５８１２番地 ７)	パークゴルフ場：１９，０３７㎡ 遊具健康広場：４，２１６㎡ 多目的芝生広場：２０，７４６㎡ サブコート：３，２９７㎡ 花畑：２８，８３７㎡ 花壇：７０㎡ 管理棟：２５４㎡ トイレ棟：３２㎡ 駐車場：１１，０２２㎡

	ビニールハウス：100 m <sup>2</sup>
	法面：2,843 m <sup>2</sup>

## (2) 業務概要

- ①管理施設の利用許可、行為の許可、利用許可の取消し等、利用禁止又は制限及び原状回復に関する業務
- ②利用料金の徴収、減免及び還付に関する業務
- ③施設等の維持及び小規模修繕に関する業務
- ④施設等の管理及び運営に関する業務のうち、市長のみの権限に属する事務を除く業務

## 4. 事業計画の概要

事業計画書概要版のとおり

## 5. 選定結果

### (1) 非公募により候補者を選定した理由

地域密着型の施設であり、地域協働の観点からその受け皿となる団体がその地域に当該団体しか存在しないため。

### (2) 申請書類の審査結果

#### ・市民の平等な利用の確保について

市の管理方針及び施設の目的を認識し、利用者からの申請を平等公平に受付し、利用者間の調整を図ることを提案されている。

#### ・施設の効用の最大限の発揮について

自治公民館や各種団体等へ広報・PRしながら利用者の増加に取り組むことを提案されている。

#### ・経済的な管理運営と適正な経費配分について

節電・節水や草刈、除草作業等の管理業務を指定管理者が最小限の人数で行うことが提案されている。また、小規模修繕を指定管理者が行うことも提案されており、いずれも経費削減が期待できる。

#### ・地域に貢献する取組の確保について

運営委員は地元住民で組織され、職員も地元住民を優先的に雇用されている。また、地域交流イベントを計画するなど、地域に対しての貢献度が高い。

- ・管理運営能力について

指定管理者が地元の三自治公民館から構成されており、跡地利用の経緯や周辺  
の環境を熟知していることから、地域一体となった地元愛に満ちた管理運営が期  
待できる。緊急時の連絡体制も整えられており、管理責任者を中心とした安定的  
な維持管理が期待できる。



## 1-5 (事業計画書)

### 事業計画書

申請団体名 都城市南部ふれあい広場管理運営委員会  
希望する施設名 都城市南部ふれあい広場

<p>(1)市民の平等な利用に関すること</p> <p>※当該施設の管理運営方針等について簡潔に提案してください。</p> <p>※市民の平等利用の確保について簡潔に提案してください。</p> <p>※当該施設に係る相談や苦情等への対応について簡潔に提案してください。</p> <p>※環境に配慮した取組みについて簡潔に提案してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供から大人まで楽しめ、地域住民の交流や健康増進・体力増強の場を提供できるよう管理運営を行う。</li> <li>・施設の利用については、原則として先着順受付として公平に利用できるようにする。</li> <li>・利用者からの相談や苦情等を受け付ける体制を整え、軽微な案件については即対応し、重要な案件については市(環境施設課)と連絡を取りながら内部で対応の協議・検討をして解決にあたる。</li> </ul>
<p>(2)施設効用の発揮に関すること</p> <p>※サービス・利便性の維持向上を図るための方法について簡潔に提案してください。</p> <p>※利用者からのニーズへの対応について具体的に提案してください。</p> <p>※利用者を増やすための工夫について簡潔に提案してください。(開館時間の延長、休日の開館、利用料金の減額等)</p> <p>※自己の収入となる事業計画・収支見込等について具体的に記入してください。</p> <p>※利用料金(案)について具体的に提案してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に施設管理をしていく中で、利用者や職員やサービス・利便性の向上に結びつくような意見やアイデアが出てきたときには、市(環境施設課)と協議して実現可能なことは積極的に導入する。</li> <li>・利用者からのニーズについて、軽費で即対応できるものは積極的に導入する。多額の費用が予想されるものや施設の改修、大幅な運用の修正が必要なニーズについては、市(環境施設課)と導入方法について協議・検討する。</li> <li>・条例に則って施設休館日を火曜として、休日に利用できるようにする。また、非公認コースであるパークゴルフ場は廉価な利用料金であることを強みにして、誰でも気軽に利用できる施設として地区の各種団体に呼びかけをして利用者の増加に取り組む。</li> <li>・有料利用となるパークゴルフ場や多目的広場の利用について積極的な利用を呼びかける。また、地元で作った野菜などを販売する行商の許可を行い、収益を得ることも計画している。</li> <li>・利用料金については、パークゴルフ場は志和池中央ふれあい広場と同額、多目的芝生広場は市民広場と同額に設定する。</li> </ul>
<p>(3)経済的な管理運営に関すること</p> <p>※経費節減等の具体的な内容について簡潔に提案してください。＜初回～2回目の選定時＞</p> <p>※清掃・維持補修等に関する考え方を簡潔に提案してください。(委託する場合は、その委託先等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理棟での冷暖房の温度設定を夏は27℃、冬は20℃にするなどの節電、節水に取り組んで光熱水費の軽減を図る。芝生や花畑については、週間天気予報などで直近の降雨見込みを把握し、無用な灌水を行わないようにする。</li> <li>・草刈、除草作業などの指定管理業務は、再委託せずに指定管理者が行って経費節減に努める。</li> <li>・雨天時など外での作業を要さないときには、最小限の人員で対応して人件費を節減する。</li> <li>・小規模な修繕等は、業者発注せずに指定管理者が行うことで経費の節減を図る。</li> </ul>
<p>(4)安定的な施設の管理運営に関すること</p>

## 事業計画書

申請団体名 都城市南部ふれあい広場管理運営委員会  
 希望する施設名 都城市南部ふれあい広場

※施設管理運営のための人員体制、連絡体制、勤務体制及び責任体制等について簡潔に提案してください。  
 ※職員の指導育成、研修体制について簡潔に提案してください。  
 ※利用団体への指導及び育成支援について簡潔に提案してください。  
 ※災害時の対応、連絡体制等について簡潔に提案してください。  
 ※個人情報保護、情報公開及び労働法令等の考え方について簡潔に提案してください。  
 ・現場は管理責任者が指示して業務にあたり、現場で事故等が発生したときには管理責任者から委員会本部や市（環境施設課）に速やかに報告して対応にあたる。  
 ・芝生管理や花畑管理などの専門的なノウハウが必要な業務については、管理マニュアルを作成して業務の遂行に当たる。特に肥料のタイミングや農薬の取扱いについてはマニュアル厳守を徹底する。  
 ・利用団体に対しては事前に施設利用のルールを説明し、利用後は現地確認をする。ルール違反が度重なる団体から施設利用の予約・申込があったときには、責任者に対してルール遵守の徹底を説明した後に利用手続きを行う。  
 ・緊急時に備えて連絡網を整備し、災害等が発生したときは速やかに市（環境施設課）や内部責任者に連絡できる体制にする。  
 ・施設管理運営上で知り得た個人情報については、絶対に漏洩、滅失、損傷等が発生しないよう努める。情報公開請求があったときには、速やかに必要な情報が公開できるよう常日頃から適切な書類作成に努める。労務管理については、法令順守を常として作業従事者が不利益を被ることが無いよう現場作業にあたる。

### (5) 地域への貢献に関すること

※本店、支店等の開設状況、所在地等について簡潔に記入してください。  
 ※地域雇用についての考え方を簡潔に提案してください。  
 ※地域貢献に関する具体的な取り組み内容について簡潔に提案してください。  
 ・本委員会は都城市南部ふれあい広場の管理棟に設置しており事務所が唯一であり、支店等はない。  
 ・管理運営委員、作業従事者のいずれも地元住民から構成されており、今後も地元からの雇用を継続する。  
 ・管理運営委員会の母体にもなる八反、麓、横尾原公民館の3館合同によるパークゴルフ大会の企画を検討している。また、中郷地区まちづくり協議会とも連携して、地域住民が参加して交流できるようなイベントを催していく計画もある。

### (6) その他、公の施設を管理するにあたり必要な基準に関すること

※施設の維持管理について簡潔に提案してください。  
 ・遊具については2名で開園前点検を行い、安全確保に努める。  
 ・多目的芝生広場の利用者には、使用後の削られた箇所を目土を施すよう呼びかけをするだけでなく、作業員も常に目視点検して目土などの必要な処置をする。  
 ・パークゴルフ場については、グリーンが目立った雑草の除去作業を中心に、全体の除草を行う。また、バンカーの状況を見て、砂の補充や敷き均しも行う。  
 ・花畑については、排水対策や土壌の状況を見て施肥を行い、耕耘を繰り返すことにより、今後も土づくりに努めていく。

### (7) 公の施設を管理するにあたりアピールしたいこと

・本運営委員会は八反、横尾原、麓の3自治公民館で構成されており、6名の管理運営委員や作業人員、受付事務員は全て地元住民からなっている。  
 ・処分場の跡地利用については、3自治公民館や中郷、五十市、姫城の3連協と行政との協議で決定した経緯があり、施設の概要についてはもっとも熟知している団体と言える。  
 ・処分場跡地利用に関しては地域住民の悲願であり、施設に対する地元の期待は甚だ大きい。地元住民へ積極的に施設を利用するよう呼びかけ、地域交流や地域の一体感の醸成に寄与できるような施設運営を目指す。  
 ・前指定期間中にパークゴルフ場、多目的広場の芝養生や花畑の土づくりに取り組み、利用者の満足度が高まってきている。メディア、SNSなどでも広く取り上げられ、新たな観光スポットとして注目されている。今後も施設の維持管理に努

## 事業計画書

申請団体名 都城市南部ふれあい広場管理運営委員会  
希望する施設名 都城市南部ふれあい広場

めるとともに、広報活動を行って、さらに知名度を上げ、都城市内外からの利用者数の増加に努める。 ✓

# 1-9 (主要業務実績)

申請団体名 都城市南部ふれあい広場管理運営委員会  
希望する施設名 都城市南部ふれあい広場

## 主 要 業 務 実 績

年 度	業 務 名 (施設名称等)	業 務 内 容 (業務概要・発注者等)	受注額(円)
令和元年度 (5～9月)	都城市南部ふれあい広場 管理業務委託	都城市南部ふれあい広場の管理業務 (清掃、芝刈り、草刈り、土づくり等)	5,315,760 円
令和元年度 (10～3月) ～ 令和4年度	都城市南部ふれあい広場 指定管理業務	都城市南部ふれあい広場の指定管理業 務(受付、清掃、芝刈り、草刈り、土づくり 等)	令和元年度 3,776,777 円 令和2～4年度 各12,079,603 円

(備考)

- ※ 過去3年間の主要実績業務について記入してください。  
(同様の施設管理実績がある場合は、これを優先して記入してください。)
- ※ 業務内容欄には、業務の概要、発注者等について可能な限り詳細に記入してください。
- ※ その他、申請団体の概要がわかる資料がある場合は、添付してください。

## R3年度都城市南部ふれあい広場 決算書

単位:円

	決算額	備考
指定管理料	12,079,603	指定管理料R2年度3月～R3年度3月
パークゴルフ	1,905,000	大人10,000人 小人200人
多目的芝生広場	94,515	多目的広場利用料
行商	104,551	物品販売 4件
預金利息	28	利息
自販機収益	147,186	
預り金		
	14,330,883	

単位:円

	決算額	備考
人件費	11,820,825	従事者日当
報償費	273,000	会議日当10名 258千 ・ 監査手当3名 15千
共済費(雇用、労災)	122,837	雇用保険料 労働保険
消耗品費	939,974	肥料 除草剤 事務用品 消毒液 トイレ用品 他
燃料費	311,657	ガソリン代 軽油 混合油
印刷製本費	1,253	印刷代 写真現像代
備品費	0	
修繕費	75,793	作業車 作業工具修理代
損害賠償保険料	89,300	運搬車 トラクター車両保険
手数料	154,075	廃棄物処理料 振込手数料
賃借料	254,250	トラクター 草刈り機他
租税公課	698,300	R2年度 法人税他
租税公課	1,165,400	R3年度消費税・法人税 R4年5月納付額
	15,906,664	

収入	支出	令和3年度 残額
14,330,883	15,906,664	-1,575,781



R3年4月～R3年3月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
指定管理料		1,223,314 <sup>4</sup>	1,223,314 <sup>5</sup>	1,223,314 <sup>6</sup>	1,223,314 <sup>7</sup>	1,223,314 <sup>8</sup>	1,223,314 <sup>9</sup>	789,953 <sup>10</sup>	789,953 <sup>11</sup>	789,953 <sup>12</sup>	789,953 <sup>1</sup>	1,579,907 <sup>2.3</sup>	12,079,603
パーク ゴルフ	267,800	124,600	177,600	199,900	49,100	0	267,100	257,600	243,500	149,000	0	168,800	1,905,000
多目的 芝生広場	10,670	2,090	5,800	6,820	6,600	0	13,915	24,035	12,925	8,140	0	3,520	94,515
行商	0	4,378	80,911	4,378	1,773	0	3,231	2,814	3,627	1,042	0	2,397	104,551
貸金利息	6	0	0	0	12	0	2	0	0	0	8	0	28
自販機収益												147,186	147,186
預り金													
	278,476	1,354,382	1,487,625	1,434,412	1,280,799	1,223,314	1,507,562	1,074,402	1,050,005	948,135	789,961	1,901,810	14,330,883

令和3年度 都城市南部ふれあい広場指定管理者支出状況一覧表

R3年4月～R3年3月

支 出

単位：円

科 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
報償費					15,000							258,000	273,000
人件費		979,650	1,058,600	1,195,200	1,033,000	846,925	967,550	1,081,875	1,246,550	1,021,025	743,000	1,647,450	11,820,825
共済費 (雇用、労災)	0	0	122,837		0	0	0	0	0	0	0	0	122,837
消耗品費	161,601	45,616	97,090	15,728	319,469	17,018	65,148	32,101	55,744	33,329	35,610	61,520	939,974
燃料費	8,220	34,872	32,080	28,240	39,060	49,500	46,890	19,120	22,950	6,160	6,640	17,925	311,657
印刷製本費	0	0	0	385	868	0	0	0	0	0	0	0	1,253
備品費		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	39,802	35,991	0	0	75,793
損害賠償 保険料	0	0	0	89,300	0	0	0	0	0	0	0	0	89,300
手数料	11,825	0	0	7,700	7,700	7,700	17,950	7,700	7,700	62,700	7,700	15,400	154,075
賃借料	7,000	13,000	17,250	113,500	0	18,000	25,500	0	0	0	0	60,000	254,250
租税公課費R2									632,800		58,900	19,900	711,600
租税公課費												-13,300	-13,300
租税公課費R3												1,165,400	1,165,400
合 計	188,646	1,073,138	1,327,857	1,450,053	1,415,097	939,143	1,123,038	1,140,796	2,005,546	1,159,205	851,850	3,232,295	15,906,664

## 都城市立図書館及び都城市立高城図書館の指定管理者候補者選定の概要

都城市立図書館及び都城市立高城図書館の指定管理者については、次のとおり候補となる団体を公募により選定しました。

なお、選定された団体を指定管理者とする議案が、令和4年12月議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営に当たることとなります。

### 1. 指定管理者候補者の概要

#### (1) 団体の名称

MAL コンソーシアム

- ・代表団体 株式会社マナビノタネ
- ・構成団体 株式会社ヴィアックス
- ・構成団体 株式会社コードマーク都城

#### (2) 代表者名

- ・株式会社マナビノタネ 代表取締役 森田 秀之
- ・株式会社ヴィアックス 代表取締役 西門 直
- ・株式会社コードマーク都城 代表取締役 森田 秀之

#### (3) 所在地

- ・株式会社マナビノタネ：長野県北佐久郡御代田町御代田3903-19
- ・株式会社ヴィアックス：東京都中野区弥生町二丁目8番15号
- ・株式会社コードマーク都城：宮崎県都城市都北町5929番地  
黒島ビル103号室

#### (4) 設立年月日

- ・株式会社マナビノタネ：平成19年8月20日
- ・株式会社ヴィアックス：昭和48年8月17日
- ・株式会社コードマーク都城：令和3年11月1日

#### (5) 従業員数

- ・株式会社マナビノタネ：0名
- ・株式会社ヴィアックス：1,855名
- ・株式会社コードマーク都城：0名

#### (6) 業務内容

- ・株式会社マナビノタネ
  - 文化・学びの場プロデュース事業
  - エコミュージアム・スローなまちづくり事業
  - マナビノタネツアー業務 など
- ・株式会社ヴィアックス
  - 公立図書館の指定管理、一部委託による運営
  - 広告代理（ポスティング等）

- 印刷（DTP・デザイン、印刷物の企画・編集等） など
- ・株式会社コードマーク都城
  - 指定管理者制度による公共施設の運営受託に関する業務、またはそれらの支援・調査・コンサルティング
  - 自然と共存共生しながら、地域の自治・環境保全、そのための社会的な仕組み、また環境変化に対応して生きていくための支援・調査・コンサルティング
  - 店舗及び飲食店の企画、プロデュース、経営、またはそれらの支援・調査・コンサルティング など

## 2. 指定期間

令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日（5年間）

## 3. 施設及び業務の概要

### （1）施設概要

施設名及び所在地	施設規模等
都城市立図書館 (都城市中町16街区15号)	敷地面積 5,366㎡ 建築面積 4,815㎡ 延床面積 8,046㎡ 階数 地上2階（一部3階建て） 構造 S造 高さ 19.5m
都城市立高城図書館 (都城市高城町穂満坊105番地 高城生涯学習センター内)	延床面積 456.6㎡ 高さ 4.9m

### （2）業務概要

指定管理者が行う管理運営業務の対象は、図書館本館及び高城図書館とし、次に掲げる業務を行います。

- ア 施設の運営に関すること
- イ 施設の維持管理に関すること
- ウ 施設の安全管理に関すること
- エ 業務報告

## 4. 事業計画の概要

事業計画書概要版のとおり

## 5. 選定結果の概要

### （1）公募の状況

①申請団体数

1 団体

②指定管理者候補者選定までの経過

令和4年6月17日	第1回選定委員会開催
令和4年6月24日～令和4年7月8日	募集（広報都城7月号、市ホームページへの掲載）
令和4年7月15日	現地説明会
令和4年7月29日～令和4年8月10日	申請書類受付
令和4年9月12日	第2回選定委員会開催、書類審査・面接審査
令和4年9月30日	選定結果報告

（2）都城市指定管理者候補者選定委員会委員構成

委員構成		人数
有識者	学識経験者	1 人
	税理士	1 人
	司法書士	1 人
	図書館協議会委員	1 人
施設利用者代表		1 人
市課長職		2 人

（3）選定理由

令和4年9月12日に都城市指定管理者候補者選定委員会において、書類審査・面接審査をもとに、選定基準に基づいて総合的に審査・選考（総合得点方式）を行った結果、以下の理由でMALコンソーシアムが指定管理者として適正であると判断しました。

「選定基準1 市民の平等な利用が確保されること」

- ・施設の設置目的を理解した、団体としての明確な運営方針が示されていること。
- ・利用者に合わせた合理的な配慮を目指し、全ての人が利用しやすい図書館運営が提案されていること。

「選定基準2 事業計画の内容が施設の効用を最大限に発揮するものであること」

- ・利用者との会話等、日々の業務の中で得た情報をその後の運営に生かす取組を行うことや情報への多様なアクセス環境を整備するなど施設の利便性向上に努め、地域団体や市内施設と連携した多くの提案がされていること。

「選定基準3 経済的な管理運営が図られ、経費配分が適正であること」

- ・こまめな巡回により、修繕個所の早期発見に努めるなどの「予防保全」によ



り、起こってから対処するのに比べて、時間と経費の削減が期待されること。

「選定基準4 事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有していること」

- ・良好な経営状況が示されており、明確なビジョンと豊富な経験値に基づいた事業計画が示され、その実現には大きな期待がもてること。

「選定基準5 地域に貢献する取組が確保されていること」

- ・都城盆地博覧会（通称：ボンパク）の再開の提案があり、地域をまるごと学びあい、交流の場とする提案があること。

「選定基準7 その他、公の施設を管理させるに当たり必要な基準」

- ・中心市街地の活性化のための周辺施設との連携が多数提案されており、また、民間施設との連携も提案され、図書館からまちへの人の動きを作る取組も提案されていること。

「選定基準8 カフェのコンセプトについて」

- ・現在のカフェ運営者として実績のある地元レストランと協力し、図書館との連携・調和のとれた提案がされていること。

「選定基準9 カフェ運營業務の内容について」

- ・地元食材を利用した多彩なメニューの提案や読んだ本に応じたサービスなどが提案されていること。

#### （4）選定委員会における主な意見

〈選定基準に関する事項〉

- ・選定基準については、今年の4月にスーパーやホテルを核としたテラスタがオープンし、都城大丸跡地の再開発であるハード事業が完了したことから、今後、この周辺のエリアの賑わいを継続していくためには、周辺施設や地域との連携した魅力あるソフト事業を実施していくことが重要となるため、地域との連携に関する項目に重点的に配点を行った。

〈指定申請書記載事項について〉

- ・基本的な図書館におけるサービスに関する提案のほか、中心市街地の活性化のための周辺施設との連携に関する提案が多数されており、図書館からまちへの人の動きを作る取組も提案されていること。
- ・管理体制についても、安定的な運営が期待できる提案である。

#### （5）選定結果

別紙のとおり

選定結果

選定基準	配点	MALコン ソーシアム	審査項目	一人当たり 配点	審査内容
1. 市民の平等な利用 が確保されること	175	126	管理運営方針等	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当市の管理運営の基本的方針を認識しているか。</li> <li>・公の施設の設置目的を理解しているか。</li> <li>・応募者の経営モラルは適切か。</li> <li>・環境に配慮した取り組みをしているか。</li> </ul>
			平等利用	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用申込等の公平な利用の確保、相談や苦情等への対応ができるか。</li> </ul>
2. 施設効用の発揮に 関すること	280	205	利用の促進	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民ニーズに基づく利用者増の提案がされているか。</li> <li>・利用者増のための広報・PR対策を提案しているか。</li> <li>・関係団体や地域住民との連携、交流の提案がされているか。</li> </ul>
			基本業務の内容	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者サービスの向上に関する提案がなされているか。</li> <li>・施設の維持管理、安全管理を的確に行えるか。</li> <li>施設の設備、機能等を活用しているか。</li> </ul>
3. 管理経費の節減に 関すること	70	51	経費節減	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な管理業務の効率化が提案されているか。</li> <li>・経費節減の考え方、提案がなされているか。</li> </ul>

4. 事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有していること	385	280	物的能力	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した運営が可能な応募者の財務状況か。</li> <li>・類似施設を良好に運営した実績があるか。</li> <li>・収支計画の積算根拠が明確で、実現可能なものか。</li> <li>・収支計画と事業計画の整合性は図られているか。</li> </ul>
			人的能力	35	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織体制、勤務体制、責任体制が確立されているか。</li> <li>・職員の指導育成、研修体制が提案されているか。</li> <li>・個人情報保護、情報公開及び労働法令等について十分認識しているか。</li> <li>・地域団体や地域住民等との融合性、高齢者・障がい者雇用への配慮、利用状況を把握しているか。</li> </ul>
5. 地域に貢献する取り組みが確保されているか	105	90	地域貢献	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都城市内に本店等を有するか。</li> <li>・地域雇用、人材育成に配慮がなされているか。</li> <li>・地域貢献の取り組みが示されているか。</li> </ul>
6. 指定管理提案業務に関すること	70	54	指定管理者提案業務の内容	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者提案業務の内容</li> </ul>
7. その他、公の施設を管理させるに当たり必要な基準	140	104	中心市街地をはじめとした地域の活性化	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地に所在する公共・民間施設や地域団体や市民との連携により、中心市街地や地域を活性化するための積極的な取り組みが</li> </ul>

					提案されているか。
8. カフェのコンセプト	7 0	5 0	基本コンセプト	5	・ 事業全体のコンセプトを受け、一貫性のあるコンセプトが提案されているか。
			コンセプトの実現性	5	・ 提案コンセプトの実現性は高いか。
9. カフェ運営業務の内容	2 4 5	1 7 6	内装・デザイン計画	1 0	・ 図書館との連携性は考慮されているか ・ 利用者にとって使いやすいカフェとなっているか。
			サービス計画	2 0	・ 提供メニュー、サービスは図書館利用者や他の来街者にとって魅力的なものとなっているか。 ・ 料金や割引サービスなど、図書館利用者の利用促進を図る取組がなされているか。 ・ 地元産食材を活用したメニューの開発や、地元産品の積極活用が示されているか。
			事業収支計画	5	事業収支計画は妥当か。
合計	1, 5 4 0	1, 1 3 6		2 2 0	
〈参考〉：提案金額	2 3 4, 4 5 8 千円		(令和 5 年度)		

※提案金額をそのまま指定管理料として決定するものではなく、予算査定等を経て市議会の議決により決定するものです。

## 事業計画書概要版

### 1. 管理運営方針等

- (1) まず、【開かれた図書館】でなくてはならない
  - 多くに気を配り、それらが合わさり雰囲気醸し出す
  - 「いつでもおいで」という顔をしている入り口
  - 館内で挨拶を交わし、近況を伝え合える“まち”のような場所
  - 静かにしなさい等叱ることなく、ゆっくりと滞在していただける場所
  - どんな若者たちにとっても自由に居られる場所
  - 本を読みたいとき、気分や好みによって選べる多様な場所
  - 快適・安心・安全な館内及び建物周辺の維持管理
- (2) そして、【わたしの図書館】としてほしい
  - 地域社会の“ニーズを察知”した資料の収集・提供
  - ショーケースによる公開選書
  - 市内施設への「御用聞き」、市内施設ボックスの設置
  - 様々なイベントを開催し、反応を汲み取ってニーズを知る機会づくり
  - 本を押し付けず、館内を歩くことで目に入るように例示
  - 課題や話題など、多様な人々・地域にとって伝えていくべき重要な資料や情報に気付く仕組みづくり
  - 目が不自由な人、図書館に来館できない人への情報提供に係る取組
- (3) 「場づくり」という考え方
  - さまざまな不便を感じている人への手厚いサポート
  - すべての人にとって自立的に活動できる「場」を平等に整えていく
  - 図書館を【社会的共通資本】としていく
- (4) 地域に絶対必要な「生きるための図書館」となるために
  - 「都城の、生きるための、拡張された図書館」
  - 図書館は「生涯学習」「地域自治」「活動・協働」のための機能を有し、人びとが安心して集える場所
  - 地域を守り育むことを“自分たち事”として捉え、創造性をもって常にチャレンジする勇気を与えてくれる、生きるために必要な場としていく

### 2. 市民の平等な利用に関すること

- (1) 【開かれた図書館】であるために
  - ア 多様な条件や立場の人が情報にアクセスできる場を考えています
    - 多様な年代や立場の方が情報へアクセスするための場として図書館を利用できるよう整備
    - さまざまな事情や環境で利用に不便を感じている方が快適に使える図書館を目指す



イ 快適・安心・安全な館内及び建物周辺であり続けるために

○アプローチや案内表示をユニバーサルデザインの考え方にに基づき管理

(2) 【開かれた図書館】を実現するために

ア 積極的なお声がけを行っています

○お声がけを行いニーズを把握し、必要とされる合理的な配慮に活かす

イ わかりやすい表現を用いた案内を行います

○専門用語を廃し、平易でわかりやすい表現を用いる

ウ コミュニケーションボード等の補助器を整備しています

○コミュニケーションボードや読書補助器、ハンディ通訳機などを設置

エ 都城市点字図書館との連携を強化します

○対面朗読・録音スタジオを軸として、点字図書館との連携を強化

オ 人権研修を徹底します

○社内研修を実施し、人権侵害などの理解を深めて利用者に対する平等利用に取り組む

(3) 地域社会のニーズを察知します

ア 図書館未利用者も含めた地域の人々の声をさまざまな方法で聴いています

○利用者アンケートや意見箱、メールなどによって地域住民の要望を収集する

イ 利用者ニーズを分析して施設やサービス向上に努めています

○苦情や要望は利用者の生の声として受け止め、誠実に対応して理解と協力を得るとともに、信頼を高める機会とする

(4) 的確なリスクマネジメントを進めます

ア 量的調査では傾向を知り、今後に活かします

○事業計画の履行状況を評価し利用傾向を知り、管理運営に活かす

イ 質的調査では観点を見つけ、向上につなげます

○利用者アンケートを実施し、調査結果を基に満足度向上に繋げる

ウ 内部調査チェックシートを導入しています

○リスクの低減や不祥事の防止、業務の有効性や効率性を高めることを目的に、内部監査を実施

エ 利用者目線でセルフモニタリングを実施します

○セルフモニタリングを実施し、サービスの向上をはかる

オ PDCAサイクルとOODAサイクルを組み合わせたマネジメント

○PDCAに加え不測の事態に対し、情報収集に基づいて試行錯誤しながら意思決定するOODAサイクルを組み合わせてマネジメントしていく

(5) 省エネ・環境負荷の軽減策については優先順位を考えながら誠実に対応します

ア 都城市の環境保全条例、目標を実施します

イ 省エネ・環境負荷の軽減を具体的取組にしていきます

ウ 排出される廃棄物処理にも目を配ります

エ 周辺環境、地域住民に配慮して環境保全を行います

### 3. 施設効用の発揮に関すること

(1) 利用者の増加及びサービスの向上を図るためにさまざまな工夫を重ねています

ア デジタル技術を積極的に活用しています

○新型コロナウイルス感染症拡大にともない、インターネット環境やオンライン配信のための機材導入

○デジタル技術を積極的に学び、活用しながら利用者サービス向上の取組

○デジタル機器を活用したオンラインセミナー、ワークショップの開催

イ すべての人が自立的に活動できるさまざまな場を提供します

(i) 選書

○貸出統計を分析したり利用者ニーズを的確にとらえ、専門知識をもった司書による選書

(ii) レファレンス

○過去のレファレンス事例やデータベース、参考図書などを活用したレファレンス対応

(iii) 場づくり

○すべての利用者がさまざまな過ごし方が出来るように配慮

○学校教育課と連携し、図書館で不登校児が学べる場をつくる

(iv) BM・アウトリーチ

○学校や公民館など遠隔地への定期巡回や、イベントへのくれよん号の運行

(v) 高城図書館

○上映会やワークショップなど多様なイベントの実施

○高城地区まちづくり委員会と連携した展示の実施

(vi) 表現活動支援

○編集やデザインなどの専門知識をもった専属スタッフによる表現活動の支援

(vii) 政策支援等のサポート

○市の政策や課題に即した司書による市議会図書室の選書支援

ウ スタジオチームによる広報、PRを強化します

(i) 市広報

○市の広報誌の「図書館だより」に、お薦めの本やイベントを紹介

(ii) ラジオ

○年間16回のラジオ出演によるイベント情報の発信

(iii) 図書館ウェブサイト

○図書館ホームページにおけるイベント等の情報発信

(iv) インスタグラム、Y o u t u b e

- スタッフが図書館の情報発信動画を編集・作成
- (v) 図書館見学対応
  - 議会や行政機関、学校など各種団体のニーズに応じた見学・視察対応
- エ 関係団体や地域住民とさまざまな連携・交流を行っています
  - (i) 市内の施設や市各部署との連携
    - 国際化推進室と連携した各種イベントの実施
    - 市立美術館連携し、市美展のサブ会場としての展示
    - 文化財課の巡回企画展の共同実施
    - 総合政策課やみやこんじょPR課、ふるさと産業推進局と連携した移住セミナーや肉や焼酎に関するトークイベントの実施
    - 介護保健課と連携し、世界アルツハイマーデーに合わせた展示や認知症サポーター養成講座の共同開催
  - (ii) 地域の団体との連携
    - おかげ祭り振興会と連携した神輿や灯籠の展示
    - 山之口地区の人形浄瑠璃や弥五郎どんの時期に合わせた共同展示
  - (iii) 地域住民との連携
    - 図書館を核とし、昔の地図や写真を基に地域住民の記憶を収集し、集めた情報を編集し展示するまちなか記憶展の実施

## (2) 利用者の利便性をさらに高めます

- ア 資料整備、環境整備情報へのアクセス支援を強化していきます
  - (i) 資料整備
    - 利用者ニーズや社会情勢に合わせて資料の購入・除籍の提案
    - 新しい資料との出会いを提供するために、テーマ展示や企画展の実施
    - 認定司書を核とした資料の整理と保存
  - (ii) 環境整備
    - フリーWi-Fiの設置、閲覧席での電源供給
  - (iii) 情報アクセス支援
    - 利用者が求める資料へ辿り着くことができるよう、目的別利用案内の作成

## (3) 施設の整備、機能等の活用について

- 全体コンセプトであるくひとりひとりが『だいじなもの』をみつけていくために  
 >に基づき、図書館施設の設備、機能を最大限に活用していく
- ア 継承すべき『だいじなもの』を収集・記録・発信する場を充実させます
    - 市民へ向けて地域の魅力や個性を再発見するための創造活動の実施
    - 記録に残っていない伝統芸能やお祭り、思い出や知恵、記憶などを積極的に収集・資料化し、後世へと継承していく活動
    - 本、イベント、インデックス〔さくいん〕で紹介されているワードなどを登録することが可能な「だいじなもののメモリー」の運用

イ 感性をはぐくみ、自己表現をする場を充実します

○『知る』を支える図書館に『表現する』ことを支援する取組

ウ 市民参画を促進する場をつくります

○地域のことを自分事として捉え、まちの価値を上げるような活動、明日の地域をよくする提案が生まれる拠点を目指す

○「ショーケース」での『みはからいぼん展覧会』の開催

○いつでも誰でも自由に意見や知恵を持ち寄って参加できる「都城の記憶と未来をつなぐ実践活動」の拠点づくり

エ より多様性に応えられる居場所としての図書館を目指します

○誰もがさまざまな過ごし方に合わせて居場所を選べる、滞在型の環境づくり

オ 「歩いて楽しいストリート、見つけて選ぶマーケット」をより充実させます

○かつてのショッピングモールの特徴を活かし、歩き回ることによって新しい何かを見つける楽しさを表現

(i) 店先のような展示『例示』

○通路に「つみ木ばこ」を組み上げ、本の表紙が見えるように例示を行う

(ii) 『だいじなもの』を知らせる企画展示

○関係団体や地域住民とともに企画を立て、取り上げるテーマを多様化

(iii) まちや市内各所へつながる「市内施設ボックス」

○市内の各施設と連携・協力をもらい、ホールの木箱で各施設を紹介

(4) 快適・安心・安全な館内及び建物周辺を維持・管理します

ア 清掃業務で清潔感を維持します

イ 専門技術を有した清掃従事者を配置します

ウ 定期清掃では建物・使われ方の特性に合わせた計画を立てます

エ 年間計画表によって管理していきます

オ 維持管理業務を信頼と実績のある地元企業に委託し、共に専門性を高めていきます

カ 不具合の早期発見、適時の修繕、予防保全に努めます

キ 5～10年先を見据えた長期修繕計画を策定していきます

ク 図書館職員としての技能を向上されるための安全教育、各種訓練

ケ 都城市の特性に応じた防災対策を行い、非常時の備品を備えていきます

コ 安全衛生委員会を開催して専門的意見を取り入れていきます

#### 4. 管理経費の節減に関する事項

○危険箇所や要修繕箇所を早期に発見し、速やかに対処する予防保全に努める

○外部委託は複数の業者と共同・連携することにより、作業の効率化やノウハウ共有化に繋げる

○経費はPDCAサイクルに基づくマネジメントにより、計画的かつ適切な予算の執行管理を行う

- 消耗品、備品等はムダ・ムラを排除した購入を行う
- 光熱水費は、図書館の「使用電力量管理システム」及び「空調制御管理システム」を適切に確認・操作する
- 修繕業務の効率化を図るとともに、労務費の節減を図る

## 5. 事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力

○昨年度実施された都城市監査委員事務局が行う財政援助団体等監査において、指摘事項がゼロであった

### (1) 堅実な図書館運営を可能にする物的能力について

#### ア 株式会社マナビノタネ

○社外の多数の専門家、パートナーと信頼関係をつくり、協働による事業の実施

#### イ 株式会社コードマーク都城

○地域に密着した企画力、図書館における判断スピードの強化のためにアの会社の代表取締役が新たに立ち上げた会社

#### ウ 株式会社ヴィアックス

○図書館事業のほかダイレクトマーケティング事業、関連事業の3事業を行う

○創業以来、継続した黒字経営を続ける

### (2) 事業収支、指定管理料の使途の考え方

人件費：適正で効率のよい人員配置を積算。今後の最低賃金の上昇も考慮した積算

消耗品：年間利用者数や図書の予想購入冊数を考慮した積算

水光熱費：過去4年間の実績を基に、酷暑時期や原油価格の高騰も考慮した積算

通信費：過去の実績を基に積算

修繕費：過去の実績を基に積算

委託料：最低賃金の上昇に伴う再委託料の上昇や点検業務の増などを考慮した積算

備品購入費：図書の登録に必要な年間のマーク（日々発売される図書の各種データ）の購入費がほとんどを占める

その他：過去の実績を基に積算。移動図書館車や回送車の燃料費高騰を考慮した計算

### (3) 類似施設の運営、管理運営実績

#### ア 株式会社マナビノタネの運営及び関連する実績

○株式会社マナビノタネの代表取締役森田秀之氏は、四半世紀に亘って図書館やミュージアムを含む公共・文化学習施設の基本構想や設計・施工・各種調達支援などの関連業務に携わってきた



○武蔵野プレイスや瀬戸内市民図書館など全国的にも有名なプロジェクトに携わってきた

イ 株式会社ヴィアックスの運営実績

○図書館の運営業務に携わるようになり、今年で20年目を迎える

○現在、94館の運営実績があり、多数の図書館で活用できる経験とノウハウを蓄積

6. 革新的かつ地域連携を強化した図書館運営を可能にする人的能力

(1) 地域で雇用されたスタッフが、ノウハウ等の移転により将来的に自律して運営を行っていくための仕組み

ア 将来的に共同事業体代表企業となる「株式会社コードマーク都城」を設立しました

○将来的に地域で自律して図書館運営を行っていくための母体組織「株式会社コードマーク都城」を令和3年11月に新たに設立

○図書館運営事業を中心に、地域の自治・環境保全、社会的な仕組みを作る

○代表取締役は森田氏だが、取締役に市内の経営者が新たに参画

イ 地域づくりの拠点としての図書館を志ある個人や企業が支える利用的な構図にします

○コードマーク都城の活動を支援することを目的とする組合「コードマーク都城支援持株会」を同時に設立

○社会的共通資本を守るための住民参加型の新しい手法

(2) 組織図について

(全スタッフ62名) 館長1名、副館長1名

ア 図書館運営 (Aグループ49名)

(i) 資料チーム (7名)

図書館員や市民の意見を聞き、購入候補リストをまとめるチーム

(ii) 相談チーム (5名)

主にレファレンスを中心に行うチーム

(iii) 場づくりチーム (5名)

みんなの居場所をつくるチーム。特に子どもと親に対して手厚いサポートを行う

(iv) BMチーム (5名)

主に移動図書館車運行を担い、学校などへのサービスを行う

(i) ~ (iv) のチームの業務をローテーションで担うスタッフ (20名)

日替わりで (i) ~ (iv) の業務を行うパートタイムスタッフ

(v) 高城チーム (7名)

高城図書館での図書館サービスを担当するチーム

イ スタジオ運営 (Bグループ5名)

プレススタジオで、利用者の表現活動支援、地域情報など各種コンテンツ、メディアの編集・制作を担当するチーム

ウ 総務チーム（Cグループ6名）

経理、研修、障害、施設維持管理などの業務を担当するチーム

### （3）人員体制について

ア 館長は地域づくりの視点をもってあたります

○地域の中で図書館が持つ意義や果たすべき役割を理解し、組織マネジメントを的確に実施できる常勤職員を選任

イ ディレクター・チーフは実務経験とチャレンジ精神をもってあたります

○専門知識と実務経験が豊富で、職員を教育・指導する能力がある人員を選任

ウ その他の職員はキャリアアップに心がけてあたる

（i）サブチーフ・リーダーについて

業務責任者の補助的な業務を担当し、スタッフの指導を主に担う

（ii）スタッフについて

柔軟なシフト制勤務により、カウンターやフロア業務を担当

エ 勤務ローテーションに余裕をもたせていきます

○効率的に作業を職員に割り当てるジョブローテーションを行う

### （4）基礎から応用までを育む研修体制

ア 図書館職員のプロを育てるテクニカルスキル研修

○J T、O f f – J T、及び自己啓発の3つを主眼に置いた研修体制

（i）O J T（個別図書館研修）

地域性に応じて求められるスキルを身につけることを目指し、研修を実施

（ii）O f f J T（集合研修）

○図書館のテクニカルスキルとビジネススキルを学ぶ研修の実施

（iii）自己研鑽

○51のコンテンツを有するeラーニングの研修環境の構築

（iv）部会活動

○児童部会、学校図書館責任者部会を設け、実践研究や情報交換などを実施

イ 法令やコンプライアンスに関する共通スキル研修で意識を高めます

（i）コンプライアンス・危機管理研修

○全職員を対象にコンプライアンス・危機管理研修を毎年実施

（ii）人権啓発研修

○多様性と共生社会を理解し、図書館運営における合理的配慮や利用者に寄り添った対応ができるよう、人権啓発研修を実施

（iii）研修や事例の共有

### （5）横断的な業務指導要領

ア 連絡・コミュニケーションの密度を上げて業務を行います

（i）明確な指揮命令系統

- (ii) 業務職員間の情報共有
- (iii) 都城市との連絡体制
- (iv) バックアップ体制
- (6) 各種法令を遵守し、かつ温かみのある労務管理
  - ア 労働環境を制度面から適正にしています
  - イ 労働環境をサポートしていける体制を構築しています

## 7. 地域貢献に関すること

### (1) 本店支店等の開設状況について

#### ア 株式会社マナビノタネ

○代表企業の株式会社マナビノタネの本店は長野県北佐久郡御代田町に所在

#### イ 株式会社ヴィアックス

○構成企業の株式会社ヴィアックスは都城市都北町に支店が所在

#### ウ 株式会社コードマーク都城

○構成企業の株式会社コードマーク都城は、都城市都北町に本店が所在

### (2) 地域住民であることが採用を判断するための重要項目です

○採用の際には、地域住民であることを判断基準のひとつとし、定着率の向上と良質なサービス提供につなげる

### (3) 地域貢献に関する具体的な取り組みについて

#### ア 地元企業へ発注し、共に切磋琢磨しています

○消耗品の調達や設備維持管理に関し、地元企業を中心に発注

#### イ 宮崎県発の「電子書籍」ポータルサイトと提携しています

○miyazaki ebooks など、地域特化型電子書籍ポータルサイトと連携

## 8. 指定管理業務に関すること

新ボンパク出展者・参加者と連携した全国初の地域づくり～地域まるごと学び合い・交流の場へ～

○2008年から2017年まで開催されていた都城盆地博覧会、通称「ボンパク」を様々な市民や組織と連携しながら再開を予定

○ボンパクは、人々が地域の特徴に気軽に触れ、学びながら交流を生み、文化、環境保全、経済活動を活性化させる大きな可能性を秘めており、デジタル技術を活用して株式会社コードマーク都城が主体となって再開させていく

## 9. その他、公の施設を管理するにあたり必要な基準に関すること

### (1) 中心市街地をはじめとした地域の活性化を図ります

○中心市街地の活性化はもちろんのこと、地域全体が元気になることを念頭に、関係団体や市民との連携をさらに強化

### (2) 中心市街地中核施設や周辺の公共・民間施設との連携が活性化の鍵

ア 「まちなか調整会議」の必要性を強化します

○周辺施設の行政、民間企業と「まちなか調整会議」を主軸に連携を強化

(3) 中核施設及び周辺の施設との連携を強化します

ア 「ホテルテラスタ」との連携を強化します

○図書館に隣接するホテルテラスタとの連携事業の第1弾として、ホテルのカードキーでの図書の貸出を全国初のサービスとして令和4年7月に開始

イ 「民間施設」と連携して商品開発を支援します

○周辺の商店と連携し、図書館からまちへと人の動きを作る取組を実施

ウ 中心市街地に本が飛び出します

○まちなか広場で行われるイベント時に移動図書館車くれよん号を運行

エ 「都城市保健センター」等でのブックスタートを支援します

○4ヶ月検診時に絵本をプレゼントするブックスタート事業やよみきかせや絵本の選び方などのアドバイスを行政、市民団体と連携して実施

オ 市内施設ボックスによる連携を強化します

○中核施設を含む8施設と連携し、1階ホールに設置してある木箱型書架での情報発信を実施

## 10. カフェのコンセプト

○この2年半、新型コロナ禍の影響を受け、カフェの運営に大きな影響あり

○カフェのコンセプトはこれまでと同じとし、コロナ禍で停滞した分を取り戻せるよう、より一層チャレンジしたカフェの運営を行っていく

(1) Market市庭（いちば）には

○1次、2次、3次産業者と連携し、都城の「いいもの」の「いい」点をきちんと伝え合っていく場としてカフェを運営

○市が推進してきた6次産業化に共鳴した魅力的な交流、実践の場となるよう、カフェを運営

(2) 地域で採れた食材を使っておいしい料理を提供します

○地元産食材を使い、市内のフレンチレストランと提携して料理やドリンクを提供

○料理やドリンクの提供のみに留まらず、地域で加工されたものもマーケット内で紹介・販売

## 11. カフェの運営業務内容

(1) 内装・デザイン計画

○「つみ木ばこ」をずらりと並べ、図書館と調和した店先を作り、図書館全体の空間コンセプト「発見と創造を支える空間」と連続性を担保

○机、椅子は来客者が好みの席を選べるよう、様々な形状やサイズを配置

(2) サービス計画

ア 味や価格帯もさまざまに多彩なメニューを提供していきます

○誰もが好きなカレーやパスタ、麺類やパンなどの多彩なメニューやドリンクを提供

○提供しているコーヒーは市内の珈琲焙煎店と連携し、焙煎度合いを伝え、店オリジナルの豆を作ってもらうなど、地元企業と連携したサービスを提供

○料理や飲み物を提供するプレートも、市内家具メーカーに特注したものを使用するなど、サービスの多岐に亘って地元企業と連携

イ 話題性や独自性がより高い食べ比べ、飲み比べメニューを加えていきます

○季節や数量限定メニューなどの魅力を高めるメニューを企画、実施

○食文化の奥深さの気付きの場、学びの場となるべく、品種や栽培・育成方法、調理方法の違いなどの観点の違いを味わえるよう、新たに食べ比べ・飲み比べメニューの開発、提供を行う

ウ 図書館の本屋トークイベントに連動したサービス提供を行います

○1次、2次産業者をゲストに迎えたトークイベントを開催し、ゲストがつくった農産物や食品をカフェで味わうといった取り組みを行う

エ 地元産食材の活用はもちろん、加工食品の製品化のサポートを行っています

○地元産食材や地元産品の数々を扱う取組を更に進めていく

○地元の野菜農家や加工食品の製品化のサポートを実施

オ まるまる会員「アクションポイント」が使えるサービスを検討しています

○図書館のまるまる会員サービスで「読んだ本」を登録して貯まるアクションポイント数に応じた、サービスの提供

### (3) 事業収支計画

○利用者数は、ピーク時で5,000人という月もあったが、コロナ禍は1~2,000人前後の月も多かった

○図書館の臨時休館に伴いカフェも臨時休業となり、月の利用者が300人前後の月もあった

○国内外の経済情勢が不安定であることやコロナ禍ということもあり、計画的な経営を行うことが非常に困難な時代

○そのような中だが、社会で何か変化が起こった場合でも素早く柔軟にメニューの変更が可能な体制を構築し、乗り切っていく

○現場スタッフによるアイデアを即、メニュー化していく

○新たな食べ比べ・飲み比べメニューなど、自由な発想によるトライアルを行っていく

○物販も含め、地元の農家さんや加工業者、ショップなどとの連携にさらに力を入れていく

○開店時に調達した什器や大型調理器具といった備品の減価償却もまもなく終わる予定



○中心市街地での憩いの場をこれからも維持していくために、利用者も巻き込み、経営していく

# 1-7 (主要業務実績)

申請団体名 MAL コンソーシアム

希望する施設名 都城市立図書館

## 主 要 業 務 実 績

年 度	業 務 名 (施設名称等)	業 務 内 容 (業務概要・発注者等)	受注額(円)
令和元年度	都城市立図書館	指定管理者 管理運営業務	235,351,000
令和2年度	都城市立図書館	指定管理者管理運営業務	235,351,000
令和3年度	都城市立図書館	指定管理者管理運営業務	235,351,000

(備考)

※ 過去3年間の主要実績業務について記入してください。

(同様の施設管理実績がある場合は、これを優先して記入してください。)

※ 業務内容欄には、業務の概要、発注者等について可能な限り詳細に記入してください。

※ その他、申請団体の概要がわかる資料がある場合は、添付してください。

第 14 期

決 算 報 告 書

〔 自 令和 2年 8月 1日  
至 令和 3年 7月 31日 〕

株 式 会 社   マ ナ ビ ノ タ ネ

北 佐 久 郡 御 代 田 町 大 字 御 代 田 3 9 0 3 番 地 1 9

# 貸 借 対 照 表

令和 3年 7月31日現在

株式会社 マナビノタネ

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	( 29,835,888 )	I 流動負債	( 858,376 )
預 金	27,438,534	未 払 金	356,896
売 掛 金	274,795	預 り 金	15,480
棚 卸 資 産	2,122,559	未 払 法 人 税 等	182,500
II 固定資産	( 7,123,784 )	未 払 消 費 税 等	303,500
車 両 運 搬 具	2,648,453	II 固 定 負 債	( 12,104,860 )
工 具 器 具 備 品	1,676,183	長 期 借 入 金	12,104,860
出 資 金	100,000	負 債 合 計	12,963,236
差 入 保 証 金	2,213,990	純 資 産 の 部	
長 期 前 払 費 用	485,158	I 株 主 資 本	( 23,996,436 )
		1. 資 本 金	( 18,400,000 )
		2. 利 益 剰 余 金	( 5,596,436 )
		(1) その他利益剰余金	( 5,596,436 )
		繰越利益剰余金	5,596,436
		純 資 産 合 計	23,996,436
資 産 合 計	36,959,672	負債及純資産合計	36,959,672

# 損 益 計 算 書

自 令和 2年 8月 1日  
至 令和 3年 7月 31日

株式会社 マナビノタネ

(単位：円)

科 目	金 額	
I 営 業 収 益		
売 上 高	229,889,851	229,889,851
II 営 業 費 用		
(1) 売 上 原 価		
期 首 棚 卸 高	2,223,604	
外 注 費	213,269,869	
仕 入 高	9,182	
合 計	215,502,655	
期 末 棚 卸 高	2,122,559	213,380,096
売上総利益		16,509,755
(2) 販売費及一般管理費	15,928,520	15,928,520
営 業 利 益		581,235
III 営 業 外 収 益		
受 取 利 息	329	
雑 収 入	24,527	24,856
経 常 利 益		606,091
IV 特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	125,502	125,502
税 引 前 当 期 純 利 益		731,593
法人税・住民税及び事業税		182,500
当 期 純 利 益		549,093



# 株主資本等変動計算書

自 令和 2年 8月 1日  
至 令和 3年 7月 31日

株式会社 マナビノタネ

(単位：円)

	資本金	利益準備金	その他利益剰余金	純資産合計
前 期 末 残 高	18,400,000		5,047,343	23,447,343
当 期 変 動 額				
新株の発行				
剰余金の配当				
当期純利益			549,093	549,093
自己株式の取得				
当期変動額の合計			549,093	549,093
当 期 末 残 高	18,400,000	0	5,596,436	23,996,436

決 算 報 告 書

(第 48 期)

自 令和 2 年 4 月 1 日  
至 令和 3 年 3 月 31 日

株式会社ヴィアックス

## 貸 借 対 照 表

令和 3 年 3 月 31 日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流 動 資 産】	【 2,403,086,010 】	【流 動 負 債 計】	【 1,231,771,523 】
現 金 及 び 預 金	1,495,870,538	買 掛 金	730,586,371
受 取 手 形	23,660,103	一年以内返済長期借入金	195,494,000
売 掛 金	730,063,624	リ ー ス 債 務	9,895,080
商 品	21,263,055	未 払 金	2,472,514
単行本在庫調整勘定	△19,225,757	未 払 費 用	41,840,956
貯 蔵 品	21,558,147	預 り 金	48,318,502
前 払 費 用	82,541,929	未 払 法 人 税 等	45,860,500
短 期 貸 付 金	2,973,116	未 払 事 業 所 税	3,239,500
立 替 金	41,677,127	未 払 消 費 税 等	117,111,100
仮 払 金	934,046	賞 与 引 当 金	36,953,000
未 収 入 金	2,468,830	【固 定 負 債 計】	【 806,904,900 】
貸 倒 引 当 金	△698,748	長 期 借 入 金	289,592,000
【固 定 資 産】	【 1,011,841,375 】	預 り 保 証 金	475,000
(有形固定資産計)	( 634,026,628 )	社 債	295,000,000
建 物	49,452,082	退 職 給 付 引 当 金	108,782,900
建 物 付 属 設 備	52,515,078	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	113,055,000
機 械 及 び 装 置	833,337		
車 両 運 搬 具	689,702		
工 具 器 具 備 品	6,357,413	負 債 の 部 合 計	2,038,676,423
リ ー ス 資 産	9,288,111	純 資 産 の 部	
土 地	514,890,905	【株 主 資 本】	【 1,376,250,962 】
(無形固定資産計)	( 28,476,059 )	(資 本 金)	( 177,742,500 )
電 話 加 入 権	1,564,000	資 本 金	177,742,500
商 標 権	101,000	(資 本 剰 余 金)	( 134,742,500 )
ソ フ ト ウ ェ ア	26,811,059	資 本 準 備 金	134,742,500
(投資その他の資産計)	( 349,338,688 )	(利 益 剰 余 金)	( 1,063,765,962 )
投 資 有 価 証 券	157,983,424	利 益 準 備 金	18,250,000
出 資 金	9,650,000	別 途 積 立 金	2,000,000
長 期 前 払 費 用	606,020	繰 越 利 益 剰 余 金	1,043,515,962
差 入 保 証 金	52,157,200		
保 証 金	33,724,684	純 資 産 の 部 合 計	1,376,250,962
積 立 保 険 料	9,573,638	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	3,414,927,385
繰 延 税 金 資 産	85,643,722		
資 産 の 部 合 計	3,414,927,385		

## 損 益 計 算 書

自 令和 2 年 4 月 1 日  
至 令和 3 年 3 月 31 日

科 目	金 額	円
【純 売 上 高】		
売 上 高	7,127,378,356	7,127,378,356
【売 上 原 価】		
期首商品棚卸高	43,501,742	
当期製品製造原価	5,935,998,993	
合 計	( 5,979,500,735 )	
期末商品棚卸高	42,821,202	5,936,679,533
売 上 総 利 益		( 1,190,698,823 )
【販売費及び一般管理費】		1,015,973,539
営 業 利 益		( 174,725,284 )
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	168,846	
受 取 配 当 金	4,848,792	
雑 収 入	4,704,216	
賃 貸 収 入	8,084,670	17,806,524
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息	7,136,723	
雑 損 失	100,507	7,237,230
経 常 利 益		( 185,294,578 )
【特 別 損 失】		
固定資産除却損	2,061,025	
役員退職慰労引当金繰入額	13,477,500	15,538,525
税引前当期純利益		( 169,756,053 )
法 人 税 等		66,934,537
法 人 税 等 調 整 額		△5,366,743
当 期 純 利 益		( 108,188,259 )





## 都城市子育て世代活動支援センター指定管理者候補者選定の概要

都城市子育て世代活動支援センターの指定管理者については、次のとおり候補となる団体を公募により選定しました。

なお、選定された団体を指定管理者とする議案が、令和４年１２月議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営に当たることとなります。

## １．指定管理者候補者の概要

- （１）団体の名称  
社会福祉法人善隣館福祉会
- （２）代表者名  
理事長 加藤 卓
- （３）所在地  
都城市前田町８街区２０号
- （４）設立年月日  
昭和５４年６月８日
- （５）従業員数  
３５名
- （６）業務内容  
第二種社会福祉事業  
ア 保育所の運営  
イ 地域子育て支援拠点事業の運営

## ２．指定期間

令和５年４月１日 ～ 令和１０年３月３１日（５年間）

## ３．施設及び業務の概要

## （１）施設概要

施設名及び所在地	施設規模等
都城市子育て世代活動支援センター (都城市中町１７街区１９号)	延床面積：９３８．１７㎡ ＲＣ造３階建ての３階

## （２）業務概要

子育て世代の多様な活動を支援し、安心して子育てができる環境の充実を図るため、子育ての支援に資する事業を総合的に実施することを目的として設置する都城市子育て世代活動支援センターの管理運営を行う。

また、次に掲げる事業を行う。

- ア 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第6条の3第6項に規定する  
地域子育て支援拠点事業
- イ 児童福祉法第6条の3第7項に規定する一時預かり事業
- ウ 子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）第59条第1号に規  
定する事業
- エ 親子に健全な遊びの場を提供する事業
- オ 上記に掲げるもののほか、子育ての支援に資する事業

#### 4. 事業計画の概要

事業計画書概要版のとおり

#### 5. 選定結果の概要

##### （1）公募の状況

##### ①申請団体数

2団体

##### ②指定管理者候補者選定までの経過

令和4年5月30日	第1回選定委員会開催
令和4年6月10日	募集（広報都城6月号、市ホームペ ージへの掲載）
～令和4年7月11日	
令和4年7月15日	現地説明会
令和4年7月19日	申請書類受付
～令和4年7月28日	
令和4年8月31日	第2回選定委員会開催、書類審査・ 面接審査
令和4年9月12日	選定結果報告

##### （2）都城市指定管理者候補者選定委員会委員構成

委員構成		人数
有識者	学識経験者	1人
	税理士	1人
	行政書士	1人
	民生委員・児童委員	1人
施設利用者代表		1人
市課長職		2人

##### （3）選定理由

令和4年8月31日に都城市指定管理者候補者選定委員会において、書類審査・面接審査をもとに、選定基準に基づいて総合的に審査・選考（総合得点方式）を行った結果、以下の理由で社会福祉法人善隣館福祉会が指定管理者とし

て適正であると判断しました。

「選定基準1 施設が適切に管理運営され市民の平等な利用が確保されること」

- ・施設を清潔に保つとともに、清掃の薬剤使用を控えることや、製作活動に使用する材料に牛乳パックなどの廃材を利用することで、ごみの削減に努めるだけでなく、身近にあるものでの新たな楽しみ方も伝えるなど環境に配慮した運営が期待できること。

「選定基準2 事業計画の内容が施設の効用を最大限に発揮するものであること」

- ・現在数多くのイベント等を実施しており、さらなる利用者ニーズへの対応にも期待し、ふれびか5周年イベントにおいては、中核施設等と連携し商店街含めて地域全体の賑わい創出の相乗効果が期待できること。
- ・一時預かり等予約システムc o h a n a（コハナ）の活用により、利便性の向上につながっていること。

「選定基準3 経済的な管理運営が図られ、経費配分が適正であること」

- ・現状を踏まえ、現実的な予算組みがなされており、職員の努力により経費削減に努めていること。

「選定基準4 事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有していること」

- ・現状の人員体制を踏まえての提案であり、勤務体制のシフト表も示されており、確実に業務の履行が見込まれ、利用者が多い日もしっかりと対応できる配置となっている。また、職員間の情報共有を密にすることにより、どの職員が対応しても同じように対応できる体制を整え、不安を抱えた利用者も利用しやすい環境であるため、安定的なサービス提供が期待できること。

「選定基準5 地域に貢献する取り組みが確保されていること」

- ・職員雇用については、できる限り地域の方を優先し、また、中央通り等の空き店舗を活用する提案があったこと。

「選定基準6 その他、公の施設を管理させるに当たり必要な基準」

- ・関係機関と協力し各種イベントの企画・実行委員会の立ち上げなど、子育て支援の充実を図った上で、中心市街地活性化への取り組みも期待できること。

#### （4）選定委員会における主な意見

〈選定基準に関する事項〉

- ・選定基準については、施設の特性を考慮し、事業計画の内容が施設の効用を最大限に発揮されること、事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有していること、に関する項目に重点的に配点を行った。

〈指定申請書記載事項について〉

- ・行事等では廃材を活用して子どもたちが楽しく過ごせる工夫や、環境負担を考えている。
- ・相談されたときに誰でも対応できるように共有されていて、不安な親も利用しやすい環境であると感じた。
- ・20年以上の実績に基づく切れ目のない支援となっている。法人設立前より託児所を運営しており長期にわたる子育て事業への自信が見られる。
- ・現状の人員体制を踏まえての提案であり、確実に業務の履行が見込まれる。

(5) 選定結果

別紙のとおり

選定結果

施設名：都城市子育て世代活動支援センター

選定基準	配点	採点結果		審査項目	一人当たり 配点	審査内容
		社会福祉法人 善隣館福祉会	団体A			
1. 施設が適切に管理運営され市民の平等な利用が確保されること	210	139	135	管理運営方針等	20	市の管理方針を認識しているか。 公の施設の設置目的を理解しているか。 申請団体の経営モラルは適切か。 環境に配慮した取り組みをしているか。
				平等利用	10	利用申込等が平等な利用を確保する提案されているか。 相談や苦情等の対応が提案されているか。
2. 事業計画の内容が施設の効用を最大限に発揮するものであること	350	223	232	利用の促進	25	利用者ニーズに基づく利用者増の提案がされているか。 利用者増のための広報・PR対策を提案しているか。 関係団体や地域住民との連携、交流の提案がされているか。 民間ノウハウを生かした、仕様書にない魅力的な提案はあるか。
				サービス・利便性の維持向上	25	利用者サービスの向上について提案がされているか。 施設の維持管理、安全管理を的確に行えるか。 施設の設備、機能等の有効活用について、提案がされているか。 適切な利用料金の提案がされているか。
3. 経済的な管理運営が図られ、経費配分が適正であること	140	90	77	経費節減	20	指定管理料はどれくらい節減が図られているか。 経費節減の考え方について提案されているか。 具体的な管理業務の効率化が提案されているか。
4. 事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有していること	385	245	228	物的能力	25	安定した運営が可能な申請団体の財務状況か。 類似施設を良好に運営した実績があるか。 収支計画の積算根拠が明確で、実現可能なものか。 収支計画と事業計画の整合性は図られているか。
				人的能力	30	組織体制、勤務体制、責任体制が確立されているか。 利用者への指導及び育成支援の提案がされているか。 業務従事者の指導育成、研修体制及び接遇向上のための提案がされているか。 個人情報保護、情報公開及び労働法令等について十分認識しているか。 地域団体や地域住民等との融合性、高齢者、障がい者雇用への配慮があるか、利用状況の把握がされているか。
5. 地域に貢献する取り組みが確保されていること	105	66	74	地域貢献	15	地域雇用の考え方が示されているか。 地域貢献の取り組みが示されているか。
6. その他、公の施設を管理させるに当たり必要な基準	210	147	147	施設管理への意欲・熱意について	15	提案された書類等から、施設管理、ひいては子育て支援への意欲、まちづくりへの熱意が感じられるか。
				事業計画	15	多様なイベント等の開催による子育て支援環境の充実及び中心市街地への賑わい創出のための提案があるか。
合 計	1400	910	893		200	
〈参考〉：提案金額（単位：千円）		46,016		（令和5年度）		

※提案金額がそのまま指定管理料として決定するものではなく、予算査定等を経て市議会の議決により決定するものです。



## 事業計画書（概要版）

申請団体名 社会福祉法人善隣館福祉会

希望する施設名 都城市子育て世代活動支援センター

### （１）市民の平等な利用に関すること

#### ◎管理運営方針および経営理念について

現代の日本は核家族化が進み世代間のつながりも弱くなっています。スマホ等で瞬時に大木の情報を得られる便利な社会となりましたが、それと同時のその情報に惑わされ進むべき道を見失ったりもしています。

子育て世代活動支援センター（以下、「ふれびか」とする）は、これからの社会を担っていく子ども達が健やかに心豊かに育っていくために、気軽に利用できる親子の居場所となることを目指します。

#### 管理運営方針

子どもたちが安心して育まれていることを実感できる場として、また保護者も子ども同士も子育てを通して多くの出会いの中で安心して子育ての輪を広げる場所づくりを目指し、以下の運営方針を提案します。

1. 「ふれびか」を子どもたちの心の居場所であり、遊び、学び、育ちあう交流の場とします。
2. 「ふれびか」を市内全域に開かれた子育て支援の場とします。
3. 「ふれびか」の運営を透明性の高いものとし、利用者の声に積極的に傾聴し、運営努力に反映する場とします。
4. 「ふれびか」の運営にあたっては、市社会福祉法人立保育園・認定こども園園長会（以下、園長会とする）の協力を得ながら、市全体の保育ニーズを捉え、的確な対応を積極的に図っていくための情報発信と実践の場とします。

#### 経営理念

「妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援」を目指して日々の子育て支援をモットーとして取り組みます。

1. 子育て・親育ちのために様々な行事や子育てに関する各種講座を通して、育ちあう場・学べる場として支援活動を行い、育児相談や情報提供のできる環境を整えます。
2. 各種関係機関との連携を図りながら、世代を超えてともに生き、ともに育ちあうことのできる環境づくりを目指し、よりよいサービスの提供を行い利用者の方々をサポートします。

#### ◎環境に配慮した取組について

季節によってはエアコンを使用せず施設の窓をあけ自然の風を取り入れて省エネに努めます。また、清掃をこまめに行い施設内を清潔に保つとともに、清掃

時には極力薬剤等の使用を控え水質を汚染しないよう心がけます。メダカやエビなどの小さな生き物たちを観察することで環境保全の大切さを知ったり、おもちゃ等の制作に使用する材料も牛乳パックなどの廃材を利用し、身近にあるものでも楽しく遊べることを伝えていきます。業務の合間を利用して子供用マスクを作成し市役所の保育課等で配布するなど、市内の子ども達の健康を守る取り組みを継続していきます。

#### ◎市民の平等利用の確保について

多くの方が利用する施設になるので、いくつかの守っていただきたいルール等があります。初めての利用の際にはふれびか全体のエリアについてパンフレットに沿って説明を行い、施設ごとの説明を必ず行い、不明な点があればいつでも対応します。その他のお知らせや注意事項は、ふれびか内の掲示板等に掲示したり、市広報や市のホームページ、Mallmallのホームページにて情報を発信し、誰もが公平によりよく利用できるよう継続していきます。

また、子育て世代の保護者や市の保育課と協議の場を設け、多様な意見を運営に活かせるように努めます。

#### ◎相談や苦情等への対応について

「ふれびか」への相談・苦情・意見についてはこれを真摯に受け止め、職員が利用者一人ひとりの心に寄り添い、すみやかに解決できるよう誠意を持って対応し、職員間でも情報を共有し今後の運営や対応の改善に活かしていきます。また、苦情処理体制も強化し、苦情について適切かつ迅速に対応し、職員間での共有とともに、市への報告も必ず行い状況を伝えていきます。

### (2) 施設効用の発揮に関すること

#### ◎利用者からのニーズへの対応について

利用者のニーズに応えられるよう普段から利用者の生の声を聞くことを心がけ、アンケートを行います。アンケートの結果、新たに事業に活かせることがあれば取り入れたり、改善を必要とすることについては積極的にこれを実施し、利用者の会話の中で感じたことや親子の状況に応じて必要性を感じたことも職員間で検討を行い、情報を共有して適切に対応します。

利便性については、利用頻度の高い遊具や遊びの把握を適宜行い、より多くの利用者が満足できるよう工夫していきます。

現代の日本においては孤立化が進み、地域におけるつながりも希薄になり子育てもしづらい社会となってきています。これからの社会を担う子ども達が健全に育っていけるよう、また、毎日子育てに奮闘中の方達も心が安らげるように寄り添いながら子育て支援活動を行っていきます。

#### ◎利用者を増やすための広報・PR対策について

子育て通信「ふれびか」に子育て中の親子や妊婦さん向けの行事案内やその他子育ての情報を掲載し、公共施設や医療機関、近隣の子育て支援センター、スー

パー等にこれを設置し、周知活動を行います。市の広報やホームページ、Mallmallのホームページにも掲載します。また、都城の子育て情報を伝えているシティFMラジオに月1回出演し施設の利用を呼びかけたり、MRTやUMK等のテレビやケーブルテレビ、MRTラジオ、新聞、県内の情報紙からの取材を受け入れ、利用を促進するアピールに努めます。

子育て支援センターの行事案内やその他の情報を掲載した子育て通信「ぷれぴか」を2ヶ月ごとに発行します。これを市役所・医療機関・近隣の子育て支援センター・図書館・保健センター・ファミリーサポートセンター・まちなか交流センター・まちなか交流プラザ・スーパー等に設置、一時預かりのチラシ等も設置しています。都城市の広報にも活動の一部を掲載したり、都城市やMallmallのホームページでも毎月の行事や子育て通信「ぷれぴか」、一時預かりについても確認できるようにします。

### ◎関係団体や地域住民との連携、交流の方法

都城市総合社会福祉センターでの相談支援包括化推進会議での専門機関との連携や南九州大学の子育て支援事業との連携、近隣の子育て支援センターとの連携、都城医療センター付属看護学校生の実習受け入れ、宮崎県子育て支援連絡協議会、都城市要保護児童対策協議会への参加や療育センターとの連携、保健センターのコーディネーターとぷれぴかの子育てコンシェルジュによる連携体制を強化し、子育て支援の質の向上を目指し共生できるよう努めます。また、都城市社会福祉法人立保育園・認定こども園園長会とも協力し合い、世代間交流や市内の保育園・認定こども園(園長会加盟園43か園)等と共同での各種イベント実施も予定しています。

### ◎民間ノウハウを生かした、仕様書にない魅力的な提案について

中核施設内の図書館・まちなか交流センター・保健センターや商工会議所等と、毎月会議を行い調和のとれた連携が続けられ、近隣の商店からの周知依頼も引き受け地域全体の賑わい創出の相乗効果を目指します。

環境に配慮した取組のひとつとして行っている子供用布マスクの作成では、ぷれぴかからのメッセージを添えて市役所の保育課で無料配布を続けていきます。

ぷれぴかオープン5周年目を迎えるにあたり、中心市街地の各施設で実行委員を立ち上げて、市の保育課や園長会の協力を頂きながら、以前にも実施して大好評でした「遊びの広場」を設置して公平かつ安全に利用してもらえる工夫をして中心市街地を盛り上げていきたいと考えています。また、「遊びの広場」に並行してパネル展示を行い、子育て情報コーナーを設置したり、相談コーナー・身長体重測定コーナー・簡単製作コーナー・絵本の読み聞かせ・おもちゃ病院・フリーマーケット等子育てに関するブースを設けて、子育て世代の方が気軽に訪れて楽しんでもらえるようにしていきたいと考えています。

### ◎サービス・利便性の維持向上を図るための方法について

来館された利用者には、明るい挨拶やその方に適した声かけ(初めての利用の方・いつも利用されている方・見学希望など)を一人ひとりを行うことを心がけ、必要な案内や説明を親切丁寧に行い安心して利用いただけるよう、職員間でも一

貫した対応に努めます。初めての利用者にはスマートフォン等にて会員登録やパンフレット等で利用説明を行い、その際には保護者一人のみ受付に残ってもらい、お子さんや祖父母等には先に施設を利用しながらお待ちいただいたり、赤ちゃんを抱かれたままの登録作業でぐずってしまったりした場合は、子育て支援センターの保育士が赤ちゃんを預かってスムーズに説明を進められるように配慮し、常に話しかけやすい雰囲気や素早く対応できるスキルを身につけて、利用者の要望や依頼などに臨機応変に接していきます。

#### ◎施設の維持管理・安全管理方法について

毎日開館前に入館システムの設置・清掃・安全点検を行い、職員全員での朝礼、各部署内(子育て支援センター・一時預かり・あそび場)での朝礼、複合施設間(まちなか交流センター・保健センター)での朝礼を済ませてから利用者の受け入れを行います。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、入館時の検温・手指消毒を職員・利用者ともに徹底し、室内のおもちゃや遊具の消毒をこまめに行い、清潔を保ち利用者が気持ちよく安心安全に過ごせるよう努めます。閉館後も清掃・安全確認・消耗品等の確認を行い、終礼にて一日の報告を行うなかで危険箇所や破損箇所等があれば確認し、改善や市への報告を行います。

委託業者による施設の保守点検を行い、警備会社との委託契約により 24 時間の警備も実施します。

#### ◎施設の設備、機能等の有効活用について

子育て支援センター(地域子育て支援拠点事業)の室内では、複数の行事を同時に開催したり、自由あそびと行事を同時に行うことが困難なため、複合施設 2 階の多目的室を利用して子育て講座などの行事を開催します。参加者が少人数のときは子育て支援センター内の多目的室を利用し、行事によって使い分けて対応します。

室内あそび場(プレイルーム)では、保護者とともに利用している子ども達以外に、団体利用の受け入れも行い、都城市内の幼稚園・保育園・認定こども園・小規模保育所・認可外保育施設(県に届出済の施設)・児童養護施設・児童発達支援センター・児童発達支援事業に通っている子ども達が、各施設の引率者とともに利用できるように対応します。

#### ◎利用料金について

利用料については、おもちゃ製作等の実費を除いて地域子育て支援拠点事業と屋内・屋外遊び場事業は無料となります。一時預かり事業は利用時間に応じた利用料が発生します。

### (3) 経済的な管理運営に関すること

#### ◎経費節減等について

施設が 3 階にあるため、風通しのよい日などはエアコンの利用を控えたり、温度設定を省エネモードにするなど、利用者が快適に過ごせる状態を保ちつつ節電に心がけます。製作の際には持ち寄った廃材や身近な素材を使って活用していきます。

### ◎具体的な管理業務の効率化について

毎日、開館時と閉館後に職員が清掃及び点検を行います。補修箇所を見つけた際には、管理者に報告し専門業者へ修理を依頼するなどすみやかに対応します。日々の清掃以外に、清掃業務(ワックス・ガラスクリーニング・害虫防除等)・空調設備点検業務・自動ドア点検業務・警備業務を専門業者へ委託します。

## (4) 安定的な施設の管理運営に関すること

### ◎施設管理運営のための人員体制等について

#### 人員配置計画

- ① 管理者(地域子育て支援拠点事業担当職員を兼務) 1名(常勤 1日8時間 週5日勤務)
- ② 地域子育て支援拠点事業担当職員 2名(常勤 1日8時間 週5日勤務)
- ③ 地域子育て支援拠点事業担当職員 3名(非常勤 1日6.5時間 週3日勤務)
- ④ 利用者支援担当職員 1名(常勤 1日8時間 週5日勤務)
- ⑤ 一時預かり事業担当職員 3名(常勤 1日8時間 週5日勤務)
- ⑥ 屋内遊び場担当職員 3名(常勤 1日8時間 週5日勤務)
- ⑦ 屋外遊び場担当職員 2名(常勤 1日8時間 週5日勤務)

#### 責任体制

理事長を最高責任者とし、次に管理者、以下は地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、遊び場事業職員から1名ずつを事業別責任者に指名します。

### ◎利用者への指導及び育成支援について

利用者の育成支援は主に利用者支援担当職員がその任に当たるとともに、子育て講座等への参加を呼びかけて支援していきます。また講座中は保護者が集中できるように必要に応じて託児を行います。各地区の育児サークルの代表者とも連絡を取り合い、サークル間の交流や支援センターとのつながりを確認し、利用者がやりがいをもって子育てできるよう支援します。

### ◎職員の指導育成、研修体制等について

職員の育成については、外部より講師を招き利用者への接遇、緊急時の対応、救急法、個人情報保護等について学びます。

接遇については、利用者への一人ひとりの職員の対応で施設全体の評価が決まってしまうこともあり、定期的な研修やミーティングが必要と考えています。

また、複合施設全体で行われる消防訓練が年2回行われており、その際にも防災について学んでいきます。常に防災・防犯の意識を持って仕事に取り組めるよう努めていきます。その他の研修も参加できる体制を整えて職員一人ひとりのスキルアップを目指します。



### ◎情報保護、情報公開及び労働法令等について

個人情報保護については、様々な悩みや家庭環境を持った利用者が訪れることが予想され、個人情報の管理は極めて重要と考え管理規程を策定し、研修等を通して職員の教育に努めます。

情報公開については、情報公開規程を策定し、個人に関する情報がみだりに公にされることのないよう最大限の配慮を行います。

労働法令についてはこれを遵守し、職員が安心して健康的に業務に邁進できるよう労働環境の向上に努めます。

### ◎災害時の対応、連絡体制等について

災害等の緊急時においては管理者を災害対策本部長とし、非常ベルを作動させ各職員が迅速にかつ安全に利用者を退避させます。一時預かり中の乳幼児は、直ちに保護者へ連絡しお迎えを依頼しますが、場合によっては職員が乳幼児を退避させます。一時預かり以外の利用者は必ず保護者同伴で、職員が的確に指示をしながら退避します。なお、退避の際は階段を使用しエレベーターは使用禁止とします。3階からの階段での退避は時間もかかり、危険も伴うため要所に職員の配置が必要と考えます。

また、不審者の侵入を防ぐため防犯カメラや警察への通報装置を設置し、職員も防犯講習や不審者対応訓練を行い、事態に備えるように心がけています。

災害等による休館や開館時間の変更などのお知らせは、ふれびかの会員登録者へはメールで伝え、都城市や Mallmall のホームページでも公開します。中心市街地中核施設の駐車場入口や複合施設の入口にもポスターを掲示し、利用者の混乱を防ぎます。

### ◎利用状況の把握、地域との融合性、障がい者雇用等の活用策について

地区社会福祉協議会が実施し、各地区公民館等で活動されている子育てサロンの団体やNPO法人で活動されている子育て支援団体・絵本の読み聞かせの団体等と協力して、子育てのイベントや行事を盛り上げる機会を設けていけたらよいと考えます。また、子育て講座等で保護者が学びの機会を持ちたいときに地域の方や高齢者に託児ボランティアとして協力していただいたり、得意な分野を保護者に話してもらう場を設けたり、伝承遊びをしていただける場を設けて世代間の交流や昔の遊びを継承していけるよう努めます。また、地域の学校等からの依頼を受け入れ、学びや体験の一環として必要な情報を提供するよう努めます。

高齢者・障がい者雇用に関しては、お互いの条件の合意の下でできる仕事や得意分野の仕事を無理なく行える状況で雇用していければ良いと考えます。

## (5) 地域の貢献に関すること

### ◎地域雇用について

できる限り地域の方を優先し、年齢や経験などにはこだわらず、お互い仕事を通して協力体制を作ったり、思いやりや助け合いの心を持って邁進していけることが望ましいと考えます。そうすることで利用者にもその心が伝わり、また地域の人が多く雇用されていることにより、都城圏域以外からの利用者にも都城の良さを伝えられ、「スマイルシティ都城」のアピールにつながると 생각합니다。



## ◎地域貢献に関する具体的な取り組み内容について

ぷれびかにおいては、ポスターやチラシで育児情報および簡単なマップを掲載し中心市街地における特典情報もこまめに知らせるような掲示ができればと考えます。

また、ぷれびかの他にも中央通り等の空き店舗を利用して親子連れで楽しめる施設や、若い人たちが中心となってアイデアを出し合い、若い人たちが地元に着着するような魅力的なまちづくりを進める必要があると思います。

## (6) その他、公の施設を管理するにあたり必要な基準に関すること

### ◎賑わい創出策について

まちなか広場等でのイベント開催により、ぷれびかの利用者増加も見込まれるので中心市街地を周遊してもらえよう、ポスターやチラシでイベントの紹介や子育て情報を手に取りやすく掲示したり、ぷれびかでの行事がわかりやすいようポスター等を掲示します。

開館周年イベントやぷれびか来館者 50 万人達成イベントなどの開催においては中心市街地中核施設や市の保育課等と協力して都城市内のみならず県内外からの利用者対応できるよう実行委員会を立ち上げて周知運営していきます。その際には新規の利用者の登録を促す等の努力をしていきます。

## (7) 公の施設を管理するにあたりアピールしたいこと

当法人は都城市からの委託により、既に 20 年以上にわたって地域子育て支援センターを実施・運営してまいりました。平成 30 年に「ぷれびか」の指定管理者となり 4 年間運営しています。今までの歴史の積み重ねを通しての経験により地域子育て支援拠点事業の更なる展開も可能です。前回の公募同様、今回の公募にあたっては都城市社会福祉法人立保育園・認定こども園園長会も側面から協力していただけることもあり、より広範な子育て支援体制が整うと自負しています。園長会加盟園における利用者を通して情報の拡散も効果が見られており、全国的に見ても一法人の公募に対してその所属する団体が全面的に協力する体制は類をみないものであり、ぷれびかオープンの際には園長会からの協力を頂き、園長先生や職員の方々に交代で手伝いをもらい無事にオープンイベントを実施できました。一周年記念のイベントにおいても協力をもらえたことにより周知活動や当日の運営がスムーズに行え、子育て支援、中心市街地活性化に貢献してきました。

ぷれびか運営開始 1 年目で 10 万人、2 年目に 20 万人、今年 4 月には 30 万人を達成しました。また、市がいち早く進めているデジタル化の取組に対応し、スマートフォン等による会員登録もすすめています。システムが整った中で日々の利用状況の報告や利用者に向けたお知らせ等もスムーズに行えており、これまで大きな混乱を招くことなく運営を続けてまいりました。

新型コロナウイルスに関しては、市内はもとより県内外からも多くの方が来館されるので、感染拡大防止対策のため、日々の消毒や職員の健康管理に努め、今まで安全に運営できたことは職員一人ひとりの努力によるものと自負しております。

子育て支援センター内における年間の行事や日々の取組等も利用が定着し、楽しみながら親子の居場所づくり、出会いの場となっている姿が多く見られます。相談に関しては、子育てコンシェルジュをはじめ、支援センター職員一人ひとり

が手厚く支援を行える体制づくりを心がけています。

一時預かりも年々周知され、一時預かりシステム「c o h a n a」の導入によって安心して利用していただけています。

あそび場においても公平な利用方法で利用者へのルールの説明や見守りの甲斐あって事故や怪我、トラブル等もオープン当初から比べると減少しており、楽しく安全に利用していただけています。現在はコロナ対策のため人数制限を行っていますが、今後制限が緩和されましたら団体利用の増加も見込め、随時受け入れを行いつつ全体の利用者増加に努めてまいります。

毎年実施しているアンケートでも、清潔さや安全・安心感が得られていることや職員の好感の持てる対応への記述が多く、ぷれびかが子育て世代にとって大切な存在であることを深く受け止め、今後も利用者に寄り添いながらよりよくするための努力をいたします。

令和5年4月28日には、ぷれびかオープン5周年目を迎えます。新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが、今後の見通しとしては中心市街地の各施設で実行委員を立ち上げて、市の保育課や園長会の協力を頂きながら、以前にも実施して大好評でした「遊びの広場」を設置して公平かつ安全に利用してもらえる工夫をして中心市街地を盛り上げていきたいと考えています。

また、「遊びの広場」に並行してパネル展示を行い、子育て情報コーナーを設置したり、相談コーナー・身長体重測定コーナー・簡単製作コーナー・絵本の読み聞かせ・おもちゃ病院・フリーマーケット等子育てに関するブースを設けて、子育て世代の方が気軽に訪れて楽しんでもらえるようにしていきたいとも考えています。

新聞・ラジオ・チラシ等で周知を行い、都城市内だけではなく県内外からも来ていただいて賑わい創出事業としても中心市街地活性化に貢献してまいりたいと思っています。その際に、ぷれびかを利用したことのない方にはパンフレット等を配布し、新規登録を促してぷれびかを知っていただくとともに利用の促進に努めてまいります。

あと数年でぷれびか来館者50万人達成が見込まれます。達成の折には市の協力を頂きながら記念のセレモニーを開催し、各メディアにもお伝えして取材や報道を通して50万人達成を祝い、さらなるぷれびかの存在アピールに努め、多くの利用者の方々に対応できる体制づくりに力を入れていきたいと思ひます。

もし今回も当法人が指定管理者に選出された際には、今まで積み上げてきた歴史の重みや、ここまで関わってくださった方々への感謝の意と、その心を繋いでいくことへの責任を真摯に受け止めて、「こども」を中心とした子育て支援を行ってまいります。

近年はコロナ禍ということもあり、以前にも増して人と人とのつながりや関わりが減り、孤独な中での子育てが、今後子ども達に心理的影響を与えるのではないかと危惧しています。そのため、ぷれびかで少しでも人とのつながりが作れるように最大限の努力をして、親子の居場所と出会いの場を提供していきたいと思ひます。子育ての悩みや不安を抱えている方々にも寄り添いながら、やがては笑顔になっていただけるような支援体制を整えて、ぷれびかに来ることで子育てを楽しめる働きかけを行ってまいりたいと思ひます。

今後は都城市外からの利用者も増加するかと思ひますが、都城での子育て環境を感じ取ってもらい、この地で子育てをしたいと思ってもらえたり、もう一人子どもを産み育てたいと思ってもらえたなら、少しでも脱少子化に貢献できるのではないかと考えます。

この地で育った子ども達がさらに都城を盛り上げ次の世代へとつないで都城に定住してもらえればまた、妊娠期から子育て期の切れ目ない支援として「ふれぴか」の存在の意味が見いだせると思います。それを目指して次の5年間でさらに各関係機関との連携を強化しながら子育て支援を行い、中心市街地の各施設・市役所等とともに都城市の中心市街地活性化に貢献し、よりよい運営に努めてまいりたいと思っています。

様式 5 (主要業務実績)

申請団体名 社会福祉法人善隣館福祉会  
希望する施設名 都城市子育て世代活動支援センター

主 要 業 務 実 績

年 度	業 務 名 (施設名称等)	業 務 内 容 (業務概要・発注者等)	受注額 (円)
令和元	都城市 子育て世代活動支援センター	都城市から指定を受け、指定管理者として管理運営を行う ・児童福祉法に規定する地域子育て支援拠点事業の実施 ・未就学児童の一時預かり ・子ども・子育て支援法に規定する利用者支援事業の実施 ・プレイルーム及びおひさまテラスにおいて親子に健全な遊びの場を提供する。	53,661,038
令和2	都城市 子育て世代活動支援センター	都城市から指定を受け、指定管理者として管理運営を行う ・児童福祉法に規定する地域子育て支援拠点事業の実施 ・未就学児童の一時預かり ・子ども・子育て支援法に規定する利用者支援事業の実施 ・プレイルーム及びおひさまテラスにおいて親子に健全な遊びの場を提供する。	54,018,324
令和3	都城市 子育て世代活動支援センター	都城市から指定を受け、指定管理者として管理運営を行う ・児童福祉法に規定する地域子育て支援拠点事業の実施 ・未就学児童の一時預かり ・子ども・子育て支援法に規定する利用者支援事業の実施 ・プレイルーム及びおひさまテラスにおいて親子に健全な遊びの場を提供する。	53,409,028
令和元	ぽっぽ保育所	保護者が働いていたりする等の理由により、家庭において十分な保育が受けられない乳幼児を預かり、保護者に代わって保育することを目的とする。	89,349,073
令和2	ぽっぽ保育所	保護者が働いていたりする等の理由により、家庭において十分な保育が受けられない乳幼児を預かり、保護者に代わって保育することを目的とする。	82,988,483
令和3	ぽっぽ保育所	保護者が働いていたりする等の理由により、家庭において十分な保育が受けられない乳幼児を預かり、保護者に代わって保育することを目的とする。	87,447,328

(備考)

- ※ 過去3年間の主要実績業務について記入してください。  
(同様の施設管理実績がある場合は、これを優先して記入してください。)
- ※ 業務内容欄には、業務の概要、発注者等について可能な限り詳細に記入してください。
- ※ その他、申請団体の概要がわかる資料がある場合は、添付してください。

理事長	園長		担当者

第三号第一様式（第二十七条第四項関係）

# 法人単位貸借対照表

令和 4 年 3 月 31 日 現在

社会福祉法人名 善隣館福祉会

（単位：円）

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
<b>流動資産</b>	<b>20,255,219</b>	<b>21,199,452</b>	<b>△944,233</b>	<b>流動負債</b>	<b>4,301,249</b>	<b>4,872,262</b>	<b>△571,013</b>
現金預金	17,101,369	18,289,524	△1,188,155	短期運営資金借入金	0	0	0
有価証券	0	0	0	事業未払金	626,237	776,809	△150,572
事業未収金	2,666,770	328,800	2,337,970	その他の未払金	99,083	154,376	△55,293
未収金	161,285	1,756,158	△1,594,873	支払手形	0	0	0
未収補助金	300,000	800,000	△500,000	役員等短期借入金	0	0	0
未収収益	0	0	0	1年以内返済予定設備資金借入金	0	0	0
受取手形	0	0	0	1年以内返済予定長期運営資金借入金	0	0	0
立替金	0	0	0	1年以内返済予定リース債務	0	0	0
前払金	25,795	24,970	825	1年以内返済予定役員等長期借入金	0	0	0
前払費用	0	0	0	1年以内支払予定長期未払金	0	0	0
1年以内回収予定長期貸付金	0	0	0	未払費用	2,306,265	2,700,335	△394,070
短期貸付金	0	0	0	預り金	6,350	3,300	3,050
貸付金	0	0	0	職員預り金	1,263,314	1,237,442	25,872
その他の流動資産	0	0	0	前受金	0	0	0
徴収不能引当金	0	0	0	前受収益	0	0	0
				仮受金	0	0	0
				賞与引当金	0	0	0
				その他の流動負債	0	0	0
<b>固定資産</b>	<b>54,294,441</b>	<b>57,912,909</b>	<b>△3,618,468</b>	<b>固定負債</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>基本財産</b>	<b>17,067,998</b>	<b>18,751,845</b>	<b>△1,683,847</b>	設備資金借入金	0	0	0
土地	0	0	0	長期運営資金借入金	0	0	0
建物	16,067,998	17,751,845	△1,683,847	リース債務	0	0	0
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	役員等長期借入金	0	0	0
投資有価証券	0	0	0	退職給付引当金	0	0	0
<b>その他の固定資産</b>	<b>37,226,443</b>	<b>39,161,064</b>	<b>△1,934,621</b>	長期未払金	0	0	0
土地	0	0	0	長期預り金	0	0	0
建物	88,154	105,575	△17,421	その他の固定負債	0	0	0
構築物	1,103,981	141,153	962,828	<b>負債の部合計</b>	<b>4,301,249</b>	<b>4,872,262</b>	<b>△571,013</b>
機械及び装置	0	0	0	<b>純 資 産 の 部</b>			
車両運搬具	29,702	62,102	△32,400	<b>基本金</b>	<b>39,352,800</b>	<b>39,352,800</b>	<b>0</b>
器具及び備品	2,155,498	3,069,367	△913,869	第一号基本金	9,242,800	9,242,800	0
建設仮勘定	0	0	0	第二号基本金	28,000,000	28,000,000	0
有形リース資産	0	0	0	第三号基本金	2,110,000	2,110,000	0
権利	0	0	0	<b>国庫補助金等特別積立金</b>	<b>9,132,625</b>	<b>10,169,534</b>	<b>△1,036,909</b>
ソフトウェア	127,050	173,250	△46,200	<b>その他の積立金</b>	<b>33,722,058</b>	<b>35,609,617</b>	<b>△1,887,559</b>
無形リース資産	0	0	0	措置施設繰越特定積立金	0	0	0
投資有価証券	0	0	0	人件費積立金	0	0	0
長期貸付金	0	0	0	修繕積立金	3,280,419	4,325,419	△1,045,000
退職給付引当資産	0	0	0	備品等購入積立金	874,062	1,716,621	△842,559
長期預り金積立資産	0	0	0	保育所施設・設備整備積立金	29,567,577	29,567,577	0
措置施設繰越特定積立資産	0	0	0	<b>次期繰越活動増減差額</b>	<b>△11,959,072</b>	<b>△10,891,852</b>	<b>△1,067,220</b>
人件費積立資産	0	0	0	（うち当期活動増減差額）	△2,954,779	△3,340,300	385,521
修繕積立資産	3,280,419	4,325,419	△1,045,000	<b>純資産の部合計</b>	<b>70,248,411</b>	<b>74,240,099</b>	<b>△3,991,688</b>
備品等購入積立資産	874,062	1,716,621	△842,559	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>74,549,660</b>	<b>79,112,361</b>	<b>△4,562,701</b>
保育所施設・設備整備積立資産	29,567,577	29,567,577	0				
差入保証金	0	0	0				
長期前払費用	0	0	0				
その他の固定資産	0	0	0				
<b>資産の部合計</b>	<b>74,549,660</b>	<b>79,112,361</b>	<b>△4,562,701</b>				

理事長	園長	担当者

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）

## 法人単位事業活動計算書

（自）令和 3 年 4 月 1 日 （至）令和 4 年 3 月 31 日

社会福祉法人名 善隣館福祉会

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	保育事業収益	137,835,829	133,741,572	4,094,257
	経常経費寄附金収益	1,927,246	1,500,000	427,246
	その他の収益	0	0	0
	サービス活動収益計(1)	139,763,075	135,241,572	4,521,503
	費用			
	人件費	123,898,026	119,272,811	4,625,215
	事業費	11,911,153	12,562,731	△651,578
	事務費	4,984,744	4,985,935	△1,191
	利用者負担軽減額	0	0	0
	減価償却費	3,207,439	3,169,558	37,881
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△1,234,909	△1,135,061	△99,848
	徴収不能額	0	0	0
	徴収不能引当金繰入	0	0	0
サービス活動増減の部	その他の費用	0	0	0
	サービス活動費用計(2)	142,766,453	138,855,974	3,910,479
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△3,003,378	△3,614,402	611,024
	収益			
	借入金利息補助金収益	0	0	0
	受取利息配当金収益	1,039	4,168	△3,129
	有価証券評価益	0	0	0
	有価証券売却益	0	0	0
	投資有価証券評価益	0	0	0
	投資有価証券売却益	0	0	0
	その他のサービス活動外収益	1,092,390	1,070,384	22,006
	サービス活動外収益計(4)	1,093,429	1,074,552	18,877
	費用			
	支払利息	0	0	0
サービス活動増減の部	有価証券評価損	0	0	0
	有価証券売却損	0	0	0
	投資有価証券評価損	0	0	0
	投資有価証券売却損	0	0	0
	その他のサービス活動外費用	846,830	800,450	46,380
	サービス活動外費用計(5)	846,830	800,450	46,380
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	246,599	274,102	△27,503
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△2,756,779	△3,340,300	583,521
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	0	691,000	△691,000
	施設整備等寄附金収益	0	0	0
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収益	0	0	0
	固定資産受贈額	0	0	0
	固定資産売却益	0	0	0
	その他の特別収益	0	0	0
	特別収益計(8)	0	691,000	△691,000
	費用			
	基本金組入額	0	0	0
	資産評価損	0	0	0
	固定資産売却損・処分損	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金取崩額（除却等）	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金積立額	198,000	691,000	△493,000
繰越活動増減差額の部	災害損失	0	0	0
	その他の特別損失	0	0	0
	特別費用計(9)	198,000	691,000	△493,000
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△198,000	0	△198,000
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△2,954,779	△3,340,300	385,521
	前期繰越活動増減差額(12)	△10,891,852	△8,323,960	△2,567,892
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	△13,846,631	△11,664,260	△2,182,371
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	1,887,559	772,408	1,115,151
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	△11,959,072	△10,891,852	△1,067,220





## 都城市未来創造ステーション外4施設指定管理者候補者選定の概要

都城市未来創造ステーション外4施設の指定管理者については、次のとおり候補となる団体を非公募により選定しました。

なお、選定された団体を指定管理者とする議案が、令和4年12月議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営に当たることとなります。

### 1. 指定管理者候補者の概要

#### (1) 団体の名称

都城まちづくり株式会社

#### (2) 代表者名

代表取締役 渡邊 一生

#### (3) 所在地

都城市蔵原町11街区25号

#### (4) 設立年月日

平成6年4月1日

#### (5) 従業員数

56人

#### (6) 業務内容

- ①商業施設及び商業基盤施設等、中心市街地の活性化に寄与する施設の建設、管理、運営
- ②不動産の管理、運用、賃貸
- ③空地・空店舗の先行取得及び譲渡
- ④カルチャー・スポーツクラブ等の経営
- ⑤駐車場の管理、運営に関する受託業務
- ⑥市場調査、広告・宣伝、研修等商店街振興に関する情報収集、処理及び提供サービス
- ⑦地域情報発信及び提供業務
- ⑧店舗の販売促進に関する企画、調査、研究及び指導
- ⑨講習会、音楽会、商店街イベント等の企画実施、企画指導及び技術の提供 他

### 2. 指定期間

令和5年4月1日 ～ 令和7年3月31日（2年間）

### 3. 施設及び業務の概要

#### (1) 施設概要

施設名及び所在地	施設規模等
----------	-------

都城市未来創造ステーション (都城市中町16街区15号)	延床面積：981.63㎡ S造3階建ての2階
都城市まちなか広場 (都城市中町17街区19号)	延床面積：599.90㎡ S造平屋建て
都城市まちなか交流センター (都城市中町17街区19号)	延床面積：1738.48㎡ RC造3階建ての1,2階及び共用部
都城市中央バス待合所 (都城市中町17街区19号)	延床面積：41.72㎡ RC造3階建ての1階
都城市中心市街地中核施設附帯駐車場 (都城市中町15街区16号)	延床面積：5,978.95㎡ S造5階建て

## (2) 業務概要

- ①施設の運営に関すること
- ②維持管理に関すること
- ③施設の安全管理に関すること
- ④業務報告

## 4. 事業計画の概要

事業計画書概要版のとおり

## 5. 選定結果

### (1) 非公募により候補者を選定した理由

都城市未来創造ステーション外4施設は、単なる施設管理面に留まらず、まちなか広場等での賑わい創出事業も指定管理の要件としていることから、まちなかの賑わい創出のための持続的な事業展開や人材育成が必要となり、その点を踏まえた安定的な指定管理者の選定が不可欠となることから、非公募により候補者を選定しました。

### (2) 申請書類の審査結果

#### ①市民の平等な利用の確保について

- ・市の管理運営方針、設置目的をよく把握しており、ウエルネス交流プラザや隣接するウエルネスパーキング（以下、「交流プラザ等」という）を市民が安定して利用できるよう管理してきた実績がある。
- ・利用者からの相談や苦情等を整理し情報共有がなされ、適切な対応ができるような体制づくりが構築されており、平等な利用の確保が期待できる。
- ・窓口・FAX・WEBといった多様な施設予約の手段を整備することで利用機会の均一化を図っている。

②施設の効用の最大限の発揮について

- ・利用促進のための具体的な提案がある。
- ・中心市街地にある中核施設及び周辺施設の一体的管理により、効率的・効果的な管理運営が期待できる。
- ・利用者の意見を聞くことで、利便性の向上につなげ、多様な意見にも臨機応変に対応した実績がある。また、多様な意見を PDCA サイクルに取込み、継続的な業務改善に努めている。
- ・新型コロナウイルス感染症のレベルリスクに応じた対策を講じながら、施設利用の増進を図っている。

③経済的な管理運営と適正な経費配分について

- ・交流プラザ等も含めて一体的な管理運営を行うことで、効率的・効果的な管理運営が期待できる。
- ・施設・設備を資産として捉え、その損傷・劣化等を将来にわたり予測し、功利的かつ効果的な維持管理計画の策定に向けた取組が期待できる。

④安定的に行う物的能力及び人的能力

- ・交流プラザ等の管理実績があり、事業計画に沿った安定的管理が期待できる。
- ・人員体制が整っており、資格取得支援・研修体制等を行った実績があり、職員的能力向上に意欲的に取り組んでいる。
- ・収支計画の積算根拠が明確で、適切である。

⑤地域に貢献する取組の確保について

- ・今まで実施したイベント等を通じて、多くの市民・団体との協働ネットワークを構築しており、中心市街地の活性化に大きく関与した実績がある。今後は、周辺商業施設との連携による相乗効果により、回遊性向上につながり、賑わいの創出が期待できる。
- ・起業支援や創業支援などのイベントを企画しており、中心市街地における雇用創出等に寄与している実績がある。

⑥その他、公の施設を管理させるに当たり必要な基準について

- ・多様かつ優れたイベントを企画・実行するとともに、魅力ある新たな提案がなされている。
- ・中心市街地の発展はもとより、周辺の商業施設への波及効果を含んだ企画・実行が期待できる。

未来創造ステーション外4施設  
指定管理者事業計画書  
〔 概要版 〕



都城まちづくり株式会社





# I 市民の平等な利用に関すること

## (i) 施設管理運営方針について

当社は、行政に求められるパブリックマインドと民間の企業のビジネスマインドを併せ持つ第三セクターの会社です。平成 6 年 4 月に市街地の発展を願う多くの方々の賛同を得て設立されて以来、それぞれの時代にまちに求められる事業を推進してきました。

平成 30 年度に新たに「未来創造ステーション外 4 施設」(以下「未来創造ステーション等」という。 )の指定管理者として、マルシェ等の多彩なイベント実施、まちなかの情報を発信してきました。この 4 年半で、いきいきと活動する人々の輪や楽しみを求める新たな人の流れが生まれ、まちなかのイメージは確実に変わりつつあります。

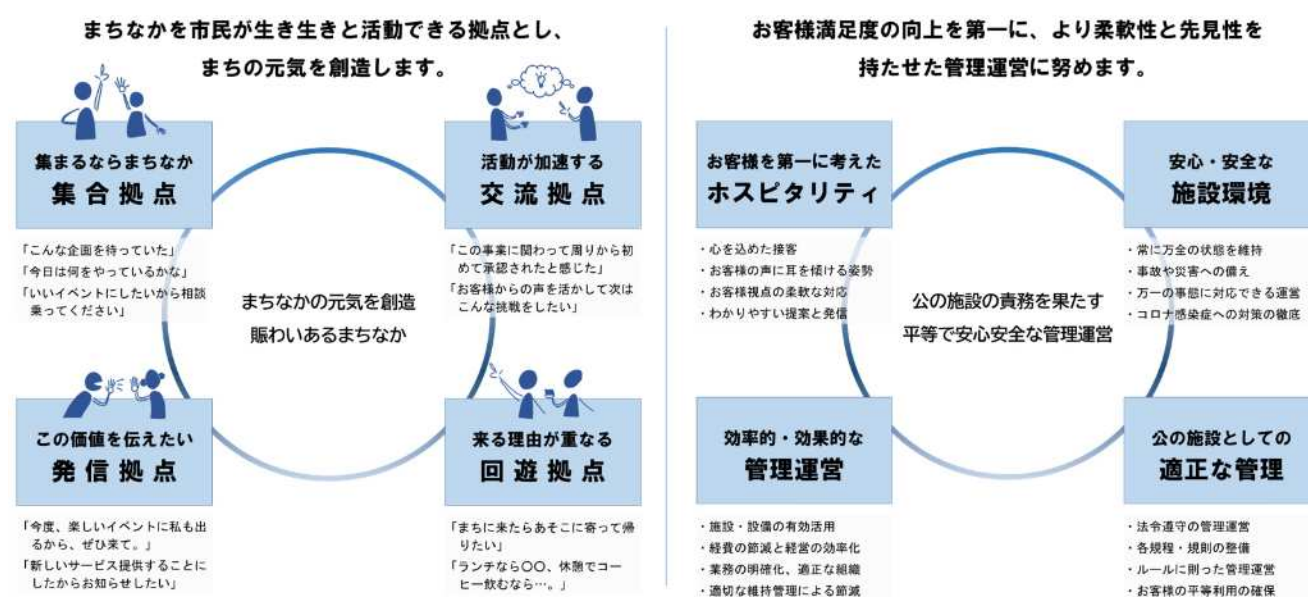
民間複合施設 TERRASTA (以下「TERRASTA」という。 )がオープンし、更なる賑わいづくりが求められること、さらに進行する少子高齢化・人口減少社会のなかで、まちなかで市民が交流する密度 (=「人交密度」) を高める取り組みが必要と考えます。

未来創造ステーション等の設置目的実現、及び、第 2 次都城市総合計画の重点プロジェクトの一つである「中心市街地の活性化とまちなか居住の推進」に向けて、当社が有する「マネジメント」「公益性」「企業性」を最大限に活かした事業計画を提案します。



施設の設置目的を追求し、市民が主役の活力あるまちなかを実現するための 4 つの拠点機能を充実させます。また、利用者満足度を高める管理運営をするための基本方針を下記のとおり定めています。

### 4つの拠点機能と4つの基本方針



## (ii) 市民の平等利用の確保について

### 法令の遵守と各種規定・規則を整備

- ・地方自治法第244条他関係法令を遵守し、不当な差別的取扱いをしません。
- ・条例を基に運用規程・管理規程を定め、公の施設としての責務を果たします。
- ・運用規程・管理規定を基に、利用ルールやマニュアルを整備し、適正に管理運営します。

### 施設・設備の適切な活用と柔軟な対応

- ・高齢の方や障がいのある方等、様々なお客様が安心して利用できる環境整備に努めます。
- ・お客様が気持ちよく利用していただけるよう柔軟な対応に努めます。
- ・館内表示や利用ルールを分かりやすくし、使いやすい施設運営に努めます。

受付に老眼鏡	出入口に車いす・ベビーカー	各種表示と対応を実施	全管理施設合同
			

### 機会の均等化

- ・申請機会の平等性を確保するために、毎月初日に管理施設合同の予約会を実施しています。
- ・窓口やFAXでの予約受付に加え、Web予約ページへアクセスしやすいよう環境を整えています。
- ・Webサイトや館内掲示の他、(Instagram・LINE)等を活用した施設情報を発信しています。
- ・外国人の方にも利用いただけるよう、利用ルールの外国語訳(簡易版)を作成しています。

予約会の実施	Webページの整備	SNSの活用
		

## (iii) 相談や苦情等への対応について

施設の利用環境を向上させ、喜ばれる事業を実施するためには、ご意見や苦情などのお客様の声を逃さず聞き取ることが大切だと考えます。お客様の声に耳を傾け、その声をデータベース化し、より良いサービス提供や施設運営に取り組んでいます。

### 事前の準備態勢

- ・お客様のニーズを把握するために多様な方法でご意見を聞き出し集約することに努めています。
- ・各種会議、研修時、毎朝夕の申し送り会でお客様対応情報の共有を図っています。

### 発生時の迅速・的確な対応

- ・お客様からの相談・苦情等が発生した時には、情報の共有を図ります。
- ・迅速かつ的確に対応し、内容の確認と記録をし、更なるトラブルに発展しないよう努めています。
- ・寄せられた苦情は速やかに内容を所管課へ連絡し情報共有を図ります。

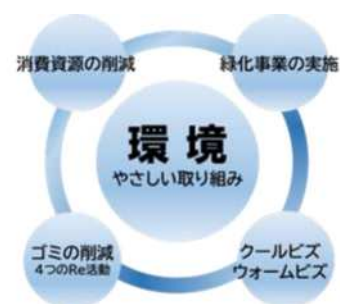
- ・施設間統括会議（長会議）においても適宜協議し、問題事象の防止・緩和・解決に努めています。

### 再発防止・業務改善

- ・得られたご意見や苦情等はデータベース化し、社内で情報共有、蓄積します。
- ・社内研修で問題解決ロールプレー等を実施し、同様のご意見・苦情等の再発防止に努めます。

## （iv）環境に配慮した取り組みについて

経済や社会活動の発展に伴い、世界的に資源の需要が増えるとともに、気候変動や地球温暖化などの環境問題等が深刻化しています。このような環境問題に対し、市民が豊かに生活していける持続可能な社会を実現していくため、社会生活における環境への負荷をできる限り低減し、環境に配慮した施設運営に取り組みます。



### 消費資源の節減

- ・書類のペーパーレス化を始め、消費資源の節減に努めます。
- ・LED 照明への交換などに取り組み、環境とお客様に優しい施設運営に取り組みます。

### 緑化事業の実施

- ・環境への取り組みの一つとして、施設を活用した施設景観事業に取り組みます。
- \* 南九州大学環境園芸学部との協力により、学生と地域市民の交流が生まれる効果がありました。

### ゴミの軽減 4つの「Re」活動の実践

- |           |         |                     |
|-----------|---------|---------------------|
| ・ Refuse  | （リフューズ） | 不要なものは購入しない         |
| ・ Reduce  | （リデュース） | ゴミになるものは極力減らす       |
| ・ Reuse   | （リユース）  | 物をすぐ捨てず、再利用する       |
| ・ Recycle | （リサイクル） | 不要なものは、リサイクルルートへ乗せる |

### 地球温暖化の取り組み

- ・「クールビズ」・「ウォームビズ」を実施します。
- ・施設内空調を夏季は 28℃・冬季は 20℃に設定します。

## II 施設効用の発揮に関すること

### (i) サービス・利便性の維持向上を図るための方法について

#### 一体的な管理運営

お客様満足度を向上させることは、リピーター率の増大、新規顧客の獲得へつながる重要なファクターとなります。当社は、指定管理施設の管理業務において、サービスと利便性の向上を図って、お客様満足度の向上に努めています。この他、全管理施設の窓口で相互の施設の貸出施設の特性や仕様を案内し、全管理施設の予約が可能なサービスを提供するなど、一体的に管理運営することで利便性の向上を図っています。

また、施設の情報だけでなくまちなかの情報やイベントの情報など、様々な情報を集約し効果的に発信し、魅力的な事業を展開することで、施設認知度の向上と来館・来場の機会を創出しています。



#### サービスの向上に向けた取り組み

当社は、「おもてなしの心のこもった接客」と「施設・設備の効果的な活用」、そして「快適な空間の提供」の3つの活動を通して、サービスの向上に努めます。



#### ほほえみ満開運動

- ・笑顔あふれるお出迎えや気持ちのよい対応をいたします。
- ・おもてなしの心でお客様の望むことに「気づき・行動へ移す」接客をします。
- ・ちょっとした心づかいの対応をします。

#### 施設の利便性を向上させる取り組み

- ・利用状況やお客様の動向・ご意見からニーズを把握し、サービス・利便性の維持向上を図ります。
- ・指定管理施設で相互に施設予約等の受付を可能としています。
- ・毎月初日の施設合同での予約会は、平等性を確保、円滑な予約を可能とする方法で実施しています。
- ・窓口やFAX、インターネット等、様々な予約受付方法を準備しています。
- ・公衆電話の代用として電話機の貸出し等の付加サービスを実施しています。

#### 快適な空間の提供

- ・施設・設備の清潔・快適な環境の維持に努めます。
- ・非常事態、緊急事態に備え、安心・安全な施設運営に努めます。
- ・お客様への誠実な対応に努めます。

#### 施設効用を高める事業の実施・協力

- ・利用団体等の魅力を引き出した事業の実施、施設特性を活用した使い方の提案をしています。
- ・施設が回遊を促す集客ポンプとしての機能を果たせるようまちなかで楽しむ機会を創出します。
- ・事業を通じて信頼を構築した市民に、利用団体の催事情報を発信し、集客を支援します。



## 魅力的な事業の展開

施設の設置目的を実現し、中心市街地活性化に寄与するために、重要な拠点機能を最大限に活かした事業を実施します。

## 効果的な広報

効果的な情報の発信のため、当社は主に4つの手法を通じて広報しています。



### 一体的な情報発信

- ・イベント・スポット情報サイト「まちたん」でまちなかの情報を集約、発信しています。
- ・施設情報に留まらず、施設やまちなかのイベント、休館情報、活動主体や店舗の紹介など多岐に渡る情報を発信しています。
- ・イベントの予約も一つのサイトで受け付け、顧客情報を一体的に管理しています。
- ・メール配信やLINE等のSNSにより希望する方々へ必要な情報を適切に届けます。

### PR ツールの作成

- ・お客様の手に取ってもらえるPRツールを、市民が手に取りやすい環境を作ります。
- ・手に取ってもらうだけでなく、アクションを促すPRツールを作成します。

### 口コミ

- ・事業に参加する協力者、興味を持った参加希望者が「つい誰かに話したくなる」「誘いたくなる」事業機会の創出と情報発信に努めています。

### 情報媒体の選択

- ・対象の「関心度」と対象との「関係性」に応じ、発信手段を選択し、効果的な情報発信をします。
- ・プレスリリース等によるテレビ・ラジオ等のマスコミ各社へイベント情報を提供
- ・自社定期行物・チラシ・Webサイト等での施設情報・イベント情報の発信
- ・LINE等のSNS活用によるイベント情報・まちなか店舗等の情報の発信
- ・小学校・事業所・自治公民館等での掲示・回覧を活用した情報発信
- ・ダイレクトメール及びメール配信等での情報提供

## (ii) お客様からのニーズへの対応について

お客様ニーズやまちなか・地域の声を取り入れることが、管理運営上、大切な業務の一つであると考えます。そのため、様々な意見集約の方法を設け、ニーズの分析とそれに対する施策を検討し、設置目的や意見の重要性、そして公平・公正な視点に立って積極的にニーズに応えます。

### 意見の集約の方法

- ・ご意見箱の設置、窓口・電話・Webサイト等での受付等、様々な方法でニーズを聞き取ります。
- ・改善点を探るために事業参加団体や来場者にアンケートやインタビューを実施します。

## 意見の分析と検討、業務への反映

- ・得られた情報を基に、分析・協議・検討し、施設運営の業務改善として反映しています。

## 継続的な取り組み

- ・ニーズから得られた業務改善策を継続し、より良い施設運営を目指します。
- ・私たちは PDCA サイクルマネジメントを取り入れ、日頃から業務改善に努めています。

## (iii) お客様を増やすための工夫について

既存のお客様の利用を促進し、新規のお客様を獲得するため、効果的な広報活動と魅力的な事業の展開、サービスの向上に努めます。

一体的に施設利用を案内することでお客様の満足度が向上し、利用促進に繋がっています。

## 施設利用増進の実績

- ・平成 30 年に未来創造ステーション 23,774 名、まちなか交流センター60,956 名の利用がありました。
- ・まちなか広場では、初年度から年間 306 回のイベントを実施し、238,414 名の集客を得て、目標を大きく上回りました。
- ・開館 3 年目の令和 2 年度には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により集客数が大幅に減少、特にイベント実施を主体に集客していたまちなか広場の集客数は、前年度の約 3 % にまで落ち込みました。
- ・令和 4 年は、4 月にまちなか広場や TERRASTA 駐車場等にて開催した mallmall marche では 7,800 名の集客実績があり、回復傾向にあります。

## お客様を増やすための工夫

- ・効果的な広報活動を通して、施設の情報を発信します。
- ・拠点機能を最大限に活かした魅力的な事業を実施します。
- ・管理施設間の連携による申請時の利便性を確保し、利用機会を創出します。
- ・利用促進のための一体的な営業活動を展開します。
- ・お客様の声をもとにした、充実の利用環境とサービスを提供します。

## (iv) 利用料金の考え方について

### わかりやすい、使いやすい料金設定

- ・施設利用料金は冷暖房設備利用料を含め管理施設全体で料金体系を統一しています。
- ・施設利用料金及び備品使用料にセット料金を設定しています。
- ・料金区分では「営利目的等の利用」と「営利目的等以外利用」に加えて、営利目的区分よりも安価な「共益での利用」を加えた 3 段階の料金区分を設定しています。

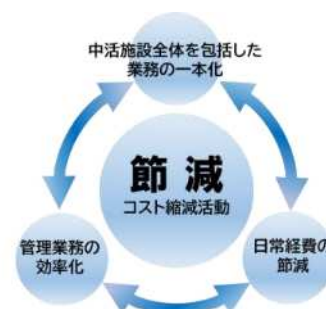




### III 経費節減に関すること

#### (i) 経費節減等について

指定管理施設を一体的に管理運営することで、経営の効率化を実現しています。また、サービスの向上と効率的な経営を両立させるため、スタッフのコスト意識向上を図りつつ、最大限のサービス提供に努めます。



#### 中核施設全体の包括的管理運営

- ・管理運営している管理施設を含めた「中心市街地一帯」を包括した業務を実施します。
- ・管理施設を包括した業務実施と適切な人員配置により、効率的かつ効果的に管理運営しています。

#### 管理業務の効率化

- ・保守点検業務委託契約業務の一本化や保守契約期間の設定、業務仕様の効率化を図ります。
- ・施設及び設備等の点検と部品交換等の修繕をデータベース化することで、データに基づいた計画的な維持管理をし、管理業務の効率化と経費の適正化を実現します。

#### 日常経費の削減

- ・夏季は 28℃・冬季は 20℃に設定する、デマンドシステムを活用した電力管理する等による水道光熱費の節減に取り組みます。
- ・利用状況に合わせたこまめな点灯管理を実施し、コストの節減に取り組みます。

#### (ii) 清掃・維持保守等に関する考えについて

お客様が施設を安心・安全に利用できるため、提供するサービスの質を低下させないために、適切な維持・管理します。

#### 設備の長寿命化と修繕コストの削減

- ・施設・設備等の機能及び性能を維持しながら、お客様の安全管理と衛生環境を管理します。
- ・ライフ・サイクル（耐用年数）を把握し、管理計画を設定します。
- ・施設・設備を資産として捉え、その損傷・劣化等を将来にわたり予測します。
- ・市所管課と密な連携をし、効率的かつ効果的な維持管理計画を策定します。



#### 法令等の遵守と保守点検業務の実施と迅速な対応

- ・建築基準法・建築物衛生法・消防法等、関係各法令に基づき、維持管理業務を確実に遂行します。
- ・保守点検業務は、年間実施計画を策定し、計画に則って保守点検業務を遂行します。
- ・保守点検で不具合が発見された場合は、危険性や緊急性等を検討した上で機能回復を実施します。
- ・定期的な施設・設備等の保守点検をスタッフ自らで実施し、施設の適正な維持管理に努めます。
- ・利用頻度・材質等を考慮し年間計画を策定し実施しています。

#### 再委託業務の内容と委託先の選定

- ・委託するにあたっては、当社契約規程に基づき、公正な再委託契約を締結します。
- ・指定管理期間に応じた契約期間の設定を通し、計画的な維持管理と管理経費の効率化を図ります。

## Ⅳ 安定的な施設の管理運営に関する考え方

### (i) 組織体制、連絡体制、勤務体制及び責任体制等について

平成 30 年度から未来創造ステーション外 4 施設の管理運営を担うこととなり、多世代が交流できる市民活動を推進し中心市街地の賑わい空間創出をするために、各施設において様々なことを取り組んできました。

令和 2 年度からは新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けましたが、その中においても、感染拡大防止に最大の配慮をしつつ、社内ガイドラインを遵守し適切な業務執行に努めました。

今後も、継続的かつ発展的にまちなかの賑わいづくりに貢献し、施設の設置目的と企業理念を追求し続けるには、スタッフの成長と結束によって更なる組織体制の強化を図っていくことが重要と考えます。

効率的かつ効果的な業務体制の構築と複数施設の管理運営を統括的に管理する組織体制を確立し、業務運営体制の充実と事業成果の向上を目指します。

### 組織体制



### ヘッド・オフィス機能による円滑な運営

- ・複数施設の管理運営状況を統括的に管理するため、事務局と総務課から構成されるヘッド・オフィスを設置しています。
- ・経営の安定化及び会社事業としての施設運営を円滑に遂行するために施設マネジメント室を設置し、中長期的な視点に立った組織体制を構築しています。

### プロフェッショナルの養成・配置

- ・イベント運営や施設の管理運営の専門知識を有すエキスパートスタッフを配置します。
- ・これまで培ったノウハウと経験を活かして、お客様の目線に立ったより質の高いサービスを提供します。
- ・イベント空間を活用するために、企画能力と技術力等の必要となる技術とサービスを提供できます。

### 効率的・効果的な業務組織

- ・全施設での確かつ迅速な対応が可能となるよう、社員を各施設・各時間に配置します。
- ・利用状況に合わせた勤務体制によるいつでもお客様へ安心・安全に利用できるサービスの提供します。
- ・シフト勤務は2～3交代制となりますが、情報共有を徹底します。
- ・受付業務や事業実施を全社員で対応できる協力体制を整えています。

## 情報共有体制

定期的な会議や社内情報共有システム、朝礼等での引継ぎを通して情報を共有しています。そして、緊急時における連絡体制の確保に努めています。

### 定期的な会議の実施

- ・中核施設間調整会議（月 1 回・適時）を開催し、他施設管理者とメンテナンス予定や管理運営について定期的に連絡調整をします。
- ・施設間統括会議（長会議）（月 1 回）を各施設を統括する課長（施設長）による会議を開催し、管理する施設の状況（稼働・売上・課題・予実管理・クレーム処理等）を検討します。
- ・業務検討会議（月 1 回）を開催し、日常業務中に発生した課題への対策検討と対応実施に向けて具体的な案を策定します。
- ・施設研修会議（3 ヶ月 1 回・適時）を管理施設別に実施し、施設の管理運営状況や業務上の案等を協議する場とします。
- ・安全管理会議（適時）を事故やヒヤリハット案件が発生した場合に、緊急に開催、対策を協議します。

### 確実な情報の伝達

- ・社内情報共有システムとして、全施設で運用している社内情報共有システム（サイボウズ）を活用し、申し送り事項やプロジェクトの進捗状況等を共有します。
- ・当日出勤しているスタッフ間での情報を共有する手段として、開館前の「朝礼」の実施と、勤務交代時における「申し送り会」を実施します。

### 連絡体制

- ・災害時や緊急時におけるスタッフへの連絡体制は、緊急連絡網の整備し確保しています。
- ・緊急時には、スタッフだけでなく所管課である商工政策課へも連絡します。

## （ii）スタッフの指導育成及び育成支援について

サービス向上のためには社員研修は必要不可欠です。社内研修や、専門機関における社外研修、また社内資格取得推奨制度を活かして、社員のスキルの維持向上に努めています。

安定したサービスを提供できるよう、スタッフのスキルの質を全管理施設において均一化できるよう OJT 機能を活かしながら、計画的な社員研修・人材育成に努めていきます。

### 定期的なスタッフ研修の実施

- ・社員各自が「自己行動方針」を策定し、年間を通して方針に沿った取り組みを進めています。
- ・社員の主体性の向上や会社への貢献意識の向上に繋がっています。

### 専門研修への参加促進

- ・施設管外部の専門機関が主催する研修への社員参加を積極的に促進します。
- ・役職者を中小企業大学校人吉校や宮崎県職業能力開発協会に派遣し、より専門性の高い実践的な研修の機会を設け、経営・管理能力に優れた人材の育成に努めます。
- ・得られた知識を社内研修でフィードバックし、社内全体のスキルアップへと繋がります。

### 資格取得推奨制度

- ・管理運営に係る資格取得や研修参加を奨励します。
- ・スタッフの向上心を後押しする資格取得の制度を設けて、取得を推進しています。
- ・この制度を活用し、これまでに施設管理に係る資格をスタッフが取得しています。

### 経験年数の浅いスタッフへの研修

- ・新規採用スタッフに対し、業務にあたる OJT 機能による「研修カリキュラム」を定めています。
- ・お客様に全管理施設通じて安定したサービスを提供できる体制を構築しています。
- ・商工会議所等が主催する研修にも積極的に参加させ、能力と資質の向上に努めています。

## (iii) 利用団体への指導及び育成支援について

未来創造ステーション等や交流プラザ等の施設は、数多くの会議室とホール・ギャラリー・キッチン・広場など世代や分野を超えた多様な利用形態に応じた施設で、現在多くの方々に利用されています。しかし、多種多様な利用が可能であるがゆえに、施設の特性を十二分に活用した運営には工夫が必要となります。

当社は、長年にわたる交流プラザ等の管理運営と企画・技術スタッフの持つ豊富な経験から、お客様が望む以上の提案を行える多種多様なメニューやプランを数多く持っています。お客様へ分かりやすく、丁寧に助言し、より使いやすい施設利用環境を提供します。

### コーディネーターによる対応

- ・人と施設、コト、ニーズとシーズなど何かと何かを「つなぐ」コーディネーターを配置します。
- ・貸館利用や自主事業の経験から効果的な活用プランを提案し、魅力的で充実した施設活用を実現します。
- ・当社で展開する事業に参加希望団体の相談に対応し、事業の紹介や活躍できる機会の提案をします。

### プロフェッショナルによる提案

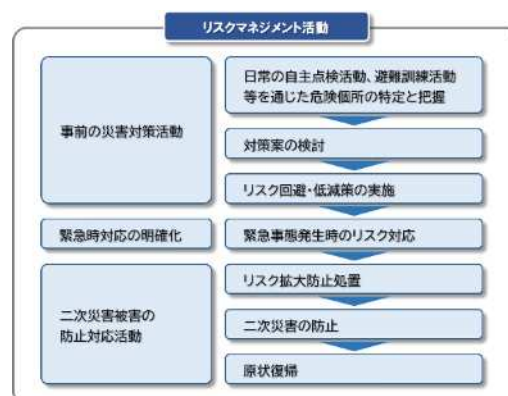
- ・プロの企画・技術者としての目線から、効率的・効果的な施設利用や事業参加を提案します。
- ・個別相談で把握したニーズが他の団体にも共通する場合、事業を企画・設計するなどして、まちなかで様々な活動が展開されるよう好循環が生まれる事業を生み出します。

### 共同制作による市民団体の育成

- ・まちなかの活性化には、様々な活動主体と活動に取り組み、特色ある活動が展開します。
- ・これまでの活動で、協働事業や参加型事業で団体・個人を育成支援する事業を実施します。
- ・自らが企画実践できる市民プロデューサーをまちなかへと輩出してきました。
- ・今後も個人や団体をまちづくり人材として育成、支援に努めています。

#### (iv) 災害時の対応、連絡体制等について

お客様の安全・安心の確保と市の財産である施設設備の保全を根幹として、事故災害等を未然に防止するための環境（人的・物的）を整備しています。具体的には、予めの危険の把握と予防に基づく「日常・訓練における事前の災害対策活動」、いざ危険な状況に際した場合の「緊急時対応やその体制の明確化」、事後にとるべき活動の「二次災害被害の防止対応活動」からなる「リスクマネジメント活動」に管理施設全体で取り組みます。



#### (v) 新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルス感染症に係る国や自治体からの情報や、感染状況の変化に対応するために、ガイドラインを見直しました。また、「ガイドラインに基づく具体的な対応について」規定するとともに、都城地域の感染状況に応じて迅速に再規定しました。

さらに、管理施設内で新型コロナウイルス感染症陽性者等発生に備え、「施設消毒などの緊急対応に関するマニュアル」を作成する等、不測の事態への備えも整備しました。

#### (vi) 個人情報保護、情報公開及び労働法規等の考え方について

施設の管理運営を含め、当社が実施する事業活動すべてにおいて、法令遵守の実践は重要な責務としてとらえています。実践にあたっては、社内規程・規則を設けた上で、道德・モラルを持った社会規則に基づいて行動します。

##### 具体的な取り組み

- ・個人情報保護法に沿った事業展開をし、保護規定を定め、適切に管理します。
- ・公平かつ公正、透明性の高い運営をために、情報公開規程を定め、情報を適正に管理しています。
- ・スタッフの就業に関して、労働基準法等を遵守した労働環境の整備に引き続き取り組みます。

## V 地域に貢献する取り組みの確保に関すること

### (i) 地域貢献に関すること

#### 管理運営面からの地域貢献

「都城で働きたい」「都城に住みたい」に応えるため、安定した雇用の受け皿となる会社として、若い世代やU I J ターン者がやりがいを持って安心して働ける雇用の場を創出しています。

また、若い世代や子育て世代、高齢者など多様な人材を雇用し、個性や経験を重視しながら、お客様への適切な対応に努めています。今後も、更なる業務体制の充実と事業成果の向上を目指します。

#### まちなかへの貢献

まちなかの交流拠点の形成と市民活動の舞台づくりを目的に、まちなかの賑わい創出と地域の文化振興に努めてきました。施設の管理運営や事業実施において、まちなかへの回遊性を高める事業など新たな事業の展開を図りました。また、経営面においても、効率的かつ効果的な施設の管理運営に継続的に取り組み、経営の安定化を図り、会社経営の健全化に努めています。

今後も、市民・まちなかの方のご意見・ご要望を受け止め、地域の期待に応えます。また、今春開業した TERRASTA とも連携し、地域に貢献する会社として更なる努力を継続します。

#### 共助のまちづくりへの貢献

まちづくり協議会等の市民団体と協働し、交通安全のぼり旗の設置、道路や河川敷の清掃作業の実施など、地域の活性化や安全安心なまちづくりに貢献しています。また、地域の自主防災隊への加入や、周辺住民や店舗、事業者と連携した自衛消防訓練の実施など、共助によるまちづくりに関わります。

#### まちなかの賑わいづくりの実績

##### 賑わい創出事業

- ・ 設立以来蓄えたノウハウや地域ネットワークを活用し、まちなか広場において指定管理業務の実施要項の条件である年間 200 回を上回るイベントを実施しました。
- ・ 平日には「人が集う憩いの空間」を、休日は「様々なイベントが開催される機会」を創出しました。
- ・ マルシェ等でまちなかの公共空間や駐車場、建物のセットバック部分、空き店舗等を有効活用し、イベント空間を創出しています。
- ・ 地域住民や事業者との日常会話や、イベント来場者へのアンケートの実施など様々な声に耳を傾け、まちのニーズに応えています。
- ・ 回遊性を高めるために、図書館をはじめとする周辺施設や TERRASTA やオーバルパティオなどの店舗と連携して賑わいを創出し、中心市街地エリアの一体感の醸成に取り組んできました。



## 創業支援事業

- ・起業家応援事業として、100人女子会や女性向け創業セミナー等を実施しました。感染症流行下ではオンラインセミナー、先輩起業家の体験談を聞き、創業を考える機会を提供しました。
- ・創業希望者を対象に商品開発やマルシェ出店体験を伴った年間スクールを実施しました。受講生からは新商品を開発した人、チャレンジショップに出店を果たした人もいます。
- ・都城商工会議所、宮崎県よろず支援拠点、ムカサハブと包括連携協定を締結し、連携先主催の創業塾やよろず相談会が施設で開催され、加えて共同で起業家セミナー等を開催しました。

## 情報発信事業

- ・まちなかのポータルサイト「まちたん」で当社事業の他、まちなかのイベント、店舗や活動団体の情報を通年で発信、SNSや紙媒体等で欲しい人に欲しい情報が届けられるよう工夫しました。
- ・方言日めくりカレンダー制作、写真を募集するフォトコンテスト、小学生向けのまちなか店舗でのお仕事体験等、まちを好きになる機会を提供しました。

## まちなか交流センター

- ・キッチンを活用した魅力的な講師陣による料理体験プログラムを通して、健康と豊かな生活を提案する料理教室を実施しました。
- ・親子で参加できる創造力を触発する文化体験型イベントによって、子育て世代が集い、交わり、楽しむ機会、親子の思い出づくりと絆を深める機会を提供しました。
- ・1階ラウンジや2階ホワイエ、階段部等を活用し、親しみの湧く装飾や季節感のある写真撮影ブース等の設置し、訪れるたびに心ときめく空間を演出しました。

## ウェルネス交流プラザ

- ・県内外で活躍する演奏家を招致し、廉価で質の高いコンサート、気軽に参加できるミニコンサートも開催し、生の演奏に触れ音楽を楽しむ機会を提供しました。
- ・文化団体等と共同で新たな価値を創造する場を提供し、まちなかへ集う機会を創出しました。協力団体との繋がりから活動団体の発信の機会を増やし、より市民の望む企画を実施しています。
- ・児童・保護者向けに、親子で楽しめる参加、体験、鑑賞型のイベントを開催、他施設でも同日に関連イベントを実施し、各施設間や周辺地域への回遊を促しました。
- ・1階ラウンジスペースやインフォメーションに季節感のある装飾を施し、訪れる方にほっと安心できる空間を提供しています。イルミネーションの時期にはミニコンサートを開催しました。

## VI その他、公の施設を管理運営するにあたり必要な基準に関すること

### (i) 中心市街地への賑わいの創出のための提案

#### まちなかに賑わい創出するための方針

未来創造ステーション等の管理運營業務の中で年間 200 回を超える賑わいづくりのイベント等を開催したことでまちなかの新たな可能性の一つの姿を提示できたと考えます。

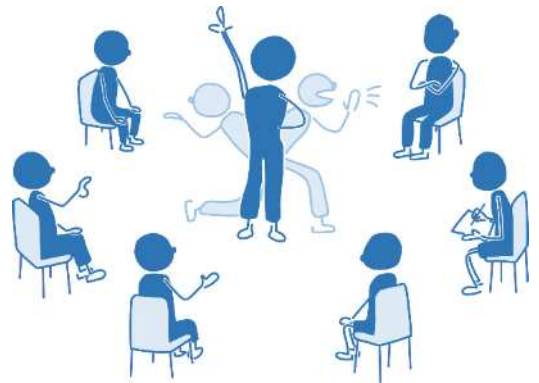
平成 30 年の中核施設の開業以降、新店舗開業やマンション建設、令和 4 年には TERRASTA が開業し、エリアの魅力が増し、更に期待が寄せられています。今後、更に周囲との連携を深め、まちなかの賑わいづくりのため効果的な事業を展開します。



### (ii) 市民や団体等がまちづくりネットワークを構築できる「交流拠点」について

施設に「人が集い、交わり、楽しむ」場を創出し、市民や団体等の活動主体の文化活動・交流活動の拠点とするために活動を展開してきました。企業、まちなか店舗、音楽家、アーティスト、市民、行政などの多様な活動主体が参加できる事業テーマを設定し、参加によって手応えを得ることができる機会を提供します。

今後、更に事業実施を通じた交流やチャレンジを促す場づくり、好循環が生まれる仕組みの提供等を通じて、まちなかに充実したまちづくりネットワークを構築します。

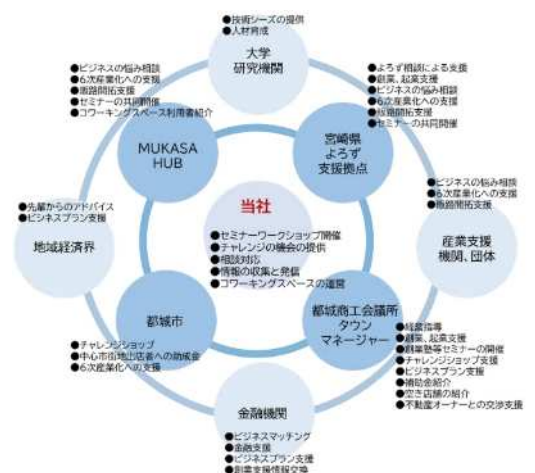


### (iii) 創業支援等を推進するための施策について

未来創造ステーションの開業以来、様々な事業に取り組み、創業支援を推進してきました。今後も創業支援、創業機運の醸成につながる事業を実施します。

#### 創業支援事業の基本的な考え方

- 創業希望者、事業の伸展を図る事業者が取り組みやすいセミナー等を実施します。
- 創業希望者、事業の伸展を図る事業者にチャレンジの機会を提供します。
- 創業希望者、事業の伸展を図る事業者に有益な情報を収集、提供します。
- 創業希望者等の相談を受け付け、ニーズに応じ、当社事業や連携協定先の支援等を紹介します。



## (iv) 賑わい創出事業

当社は、中心市街地の賑わいを創出するため、まちなか広場や中心市街地での年間 200 回を超えるイベント実施による賑わいの創出と、様々な市民活動の支援に取り組みます。

### 事業方針

- ・TERRASTA やオーバルパティオ等の事業者と連携し、アイデアを実現できる体制を構築します。
- ・イベント終了後に、関係者が集まり、意見交換する場をつくり、次の機会に繋がります。
- ・多様な主体が発信したくなる魅力を生み出し、何度も訪れたいまちなかを実現します。
- ・まちなかで活躍する人材を育み、まちの活力となる場をつくります。
- ・清掃活動、祭りなど地域活動、通り会等の自発的に活動する団体等と連携します。

### 事業施策

- ① マルシェや朝市など出店を伴うイベント（リーディングイベント）
- ② ステージや音響機材等を活用したイベントやセレモニー（ステージイベント）
- ③ 専門的な知識や経験、技術を持つ講師による体験プログラム（体験プログラム）
- ④ 日常を意識した持続可能な空間づくり（プレイスメイキング）
- ⑤ 企業等によるイベント利用の促進

### 賑わい創出事業プラン

- ・まちなか広場、その他周辺区域で年間 210 回の事業を実施します。
- ・TERRASTA 等周辺の商業施設と連携した取り組みを年間 4 回以上実施します。
- ・企業等による民間活力が発揮されるイベントがまちなか広場で開催されるよう促進します。
- ・日常的な賑わいと憩いの空間をまちなか広場に創出します。



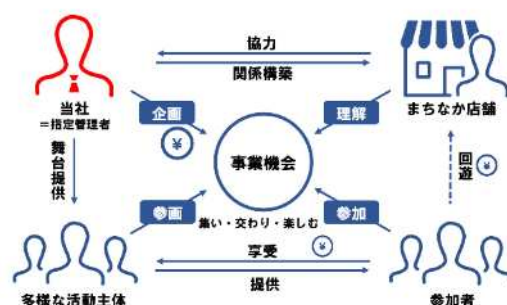


## (v) 自主事業計画について

指定管理者は行政からの指定管理料で管理施設を管理運営し、自主事業で独自の強みや工夫を生かし自主事業を実施します。各指定管理者は施設を活用した市民が楽しむ機会を提供します。

当社は指定管理者として、利用料金収入の一部を活用し、活動主体の活躍の場づくり、市民に喜ばれる機会を創出します。当社事業は、好循環を生み、まちに元気を創造することを特徴とします。

### まちの元気を創造



### 情報発信事業方針

- ・活動主体や店舗、イベント等の情報の繋がりを作り、交流ネットワークと相乗効果を生みます。
- ・まちなかの魅力を発信することで、まちに愛着を持つ人の増加や回遊性の向上を目指します。
- ・Web サイトや紙媒体等を一体的に管理することで情報の信頼性や受け手の利便性を高めます。
- ・地域の活動主体がコミュニティを拡張、個性を発揮して情報発信できるよう働きかけます。

### まちなか交流センター事業方針

- ・活動主体や店舗、イベント等の情報の繋がりを作り、交流ネットワークと相乗効果を生みます。
- ・まちなかの魅力を発信することで、まちに愛着を持つ人の増加や回遊性の向上を目指します。
- ・Web サイトや紙媒体等を一体的に管理することで情報の信頼性や受け手の利便性を高めます。
- ・地域の活動主体がコミュニティを拡張、個性を発揮して情報発信できるよう働きかけます。

### 自主事業計画

- |  |         |
|--|---------|
| ・創業希望者、事業者役に立つ「創業・新規事業等セミナー」           | 6 回／年   |
| ・経営出張相談会や創業塾やセミナー等「連携協定団体の創業支援事業」      | 140 回／年 |
| ・まちの魅力を一体的に発信する「メディア制作」                | 通年      |
| ・まちの「食のプロ」との交流が嬉しい「まちなかクッキング（まちクック）」   | 6 回／年   |
| ・子育て世代への参加型パフォーマンス「体験交流イベント《ドレミファアート》」 | 1 回／年   |
| ・家族で再び訪れるきっかけをつくる「施設景観事業」              | 8 回／年   |





様式 7 (主要業務実績)

申請団体名 都城まちづくり株式会社

希望する施設名 都城市未来創造ステーション外 4 施設

主 要 業 務 実 績

年 度	業 務 名 (施設名称等)	業 務 内 容 (業務概要・発注者等)	受注額 (円)
令和 元年度	都城市ウェルネス交流プラザ 中央地区立体自動車駐車場	指定管理業務	101,967,612
	都城市未来創造ステーション 外 4 施設	指定管理業務	209,089,358
令和 2 年度	都城市ウェルネス交流プラザ 中央地区立体自動車駐車場	指定管理業務	101,992,000
	都城市未来創造ステーション 外 4 施設	指定管理業務	207,192,324
令和 3 年度	都城市ウェルネス交流プラザ 中央地区立体自動車駐車場	指定管理業務	101,32,028
	都城市未来創造ステーション 外 4 施設	指定管理業務	204,959,538

(備考)

※ 過去 3 年間の主要実績業務について記入してください

(同様の施設管理実績がある場合は、これを優先して記入してください)

※ 業務内容欄には、業務の概要、発注者等について可能な限り詳細に記入してください

※ その他、申請団体の概要がわかる資料がある場合は、添付してください



【決議事項】

第1号議案 第28期(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)計算書類承認の件

1. 貸借対照表

【会社全体】

貸 借 対 照 表  
(令和4年3月31日現在)

(単位：円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	192,042,880	【流動負債】	48,091,702
現金・預金	187,321,687	未払金	6,008,255
売掛金	572,135	未払費用	12,571,322
棚卸資産	1,167,082	未払法人税等	1,088,000
前払費用	491,460	未払消費税等	4,788,400
未収入金	2,490,516	前受金	5,168,600
【固定資産】	1,443,013	預り金	18,467,125
[有形固定資産]	275,005		
附属設備	142,541	負債の部合計	48,091,702
車両運搬具	1		
工具器具備品	132,463	純資産の部	
[無形固定資産]	1,107,118	【株主資本】	145,394,191
電話加入権	149,968	[資本金]	99,000,000
ソフトウェア	957,150	[利益剰余金]	46,394,191
[その他の資産]	60,890	その他利益剰余金合計	46,394,191
差入保証金	40,000	繰越利益剰余金	46,394,191
預託金	20,890	繰越利益	40,384,869
		当期純損益金額	6,009,322
		純資産の部合計	145,394,191
資産の部合計	193,485,893	負債及び純資産合計	193,485,893

## 2. 損益計算書

【会社全体】

### 損 益 計 算 書

(自令和3年4月1日～至令和4年3月31日)

(単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
委託金	306,280,566	
利用料金	21,323,581	
使用料金	297,634	
チケット売上	410,700	
会費	528,000	
参加費	136,600	
駐車料金	11,661,300	
サービス券	274,100	
定期駐車	13,575,600	
まちなか広場イベント収入	730,800	
手数料	355,746	
受取補助金	10,266,923	
売上高合計		365,841,550
【売上原価】		
売上原価		0
売上総損益金額		365,841,550
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費計		359,758,192
営業損益金額		6,083,358
【営業外収益】		
受取利息	375	
(入)使用料及び手数料	448,186	
雑収入	1,521,447	
営業外収益合計		1,970,008
【営業外費用】		
雑損失	9,234	
営業外費用合計		9,234
経常損益金額		8,044,132
【特別損失】		
固定資産除却損	15,310	
特別損失合計		15,310
税引前当期純損益金額		8,028,822
法人税等		2,019,500
当期純損益金額		6,009,322

【交流プラザ部門】

損 益 計 算 書

(自令和3年4月1日～至令和4年3月31日)

(単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
委託金	101,321,028	
利用料金	9,253,408	
使用料金	241,812	
チケット売上	410,700	
参加費	63,600	
手数料	97,400	
受取補助金	9,186,778	
売上高合計		120,574,726
【売上原価】		
売上原価		0
売上総損益金額		120,574,726
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		107,635,524
営業損益金額		12,939,202
【営業外収益】		
雑収入	188,590	
(入)使用料及び手数料	178,786	
営業外収益合計		367,376
【営業外費用】		
雑損失	530	
営業外費用合計		530
経常損益金額		13,306,048
税引前当期純損益金額		13,306,048
法人税等		2,019,500
当期純損益金額		11,286,548

【パーキング部門】

損 益 計 算 書

(自令和3年4月1日～至令和4年3月31日)

(単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
駐 車 料 金	6,578,100	
サ ー ビ ス 券	274,100	
定 期 駐 車	13,575,600	
売上高合計		20,427,800
【売上原価】		
売 上 原 価		0
売上総損益金額		20,427,800
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		31,851,985
営業損益金額		－11,424,185
【営業外収益】		
受 取 利 息	375	
雑 収 入	595,892	
(入)使用料及び手数料	92,960	
営 業 外 収 益 合 計		689,227
【営業外費用】		
雑 損 失	5,500	
営 業 外 費 用 合 計		5500
経常損益金額		－10,740,458
【特別損失】		
固 定 資 産 除 却 損	15,310	
特別損失合計		15,310
税引前当期純損益金額		－10,755,768
法人税等		0
当期純損益金額		－10,755,768

【未来創造ステーション部門】

損 益 計 算 書

(自令和3年4月1日～至令和4年3月31日)

(単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
委託金	204,959,538	
利用料金	10,097,604	
使用料金	49,040	
会費	528,000	
参加費	34,000	
手数料	196,427	
受取補助金	1,080,145	
売上高合計		216,944,754
【売上原価】		
売上原価		0
売上総損益金額		216,944,754
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		66,477,608
営業損益金額		150,467,146
【営業外収益】		
雑収入	116,814	
(入)使用料及び手数料	16,820	
営業外収益合計		133,634
【営業外費用】		
雑損失	3,204	
営業外費用合計		3,204
経常損益金額		150,597,576
税引前当期純損益金額		150,597,576
法人税等		0
当期純損益金額		150,597,576



【まちなか広場部門】

損 益 計 算 書

(自令和3年4月1日～至令和4年3月31日)

(単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
利    用    料    金	147,136	
まちなか広場イベント収入	730,800	
売上高合計		877,936
【売上原価】		
売    上    原    価		0
売上総損益金額		877,936
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		75,133,197
営業損益金額		－74,255,261
【営業外収益】		
営    業    外    収    益    合    計		0
【営業外費用】		
営    業    外    費    用    合    計		0
経常損益金額		－74,255,261
税引前当期純損益金額		－74,255,261
法人税等		0
当期純損益金額		－74,255,261

【交流センター部門】

損 益 計 算 書

(自令和3年4月1日～至令和4年3月31日)

(単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
利 用 料 金	1,825,433	
使 用 料 金	6,782	
参 加 費	39,000	
手 数 料	61,919	
売上高合計		1,933,134
【売上原価】		
売 上 原 価		0
売上総損益金額		1,933,134
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		61,292,652
営業損益金額		－59,359,518
【営業外収益】		
雑 収 入	382,136	
(入)使用料及び手数料	109,520	
営 業 外 収 益 合 計		491,656
【営業外費用】		
営 業 外 費 用 合 計		0
経常損益金額		－58,867,862
税引前当期純損益金額		－58,867,862
法人税等		0
当期純損益金額		－58,867,862

【附帯駐車場部門】

損 益 計 算 書

(自令和3年4月1日～至令和4年3月31日)

(単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
駐    車    料    金	5,083,200	
売上高合計		5,083,200
【売上原価】		
売    上    原    価		0
売上総損益金額		5,083,200
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		17,367,226
営業損益金額		－12,284,026
【営業外収益】		
雑            収            入	238,015	
(入)使用料及び手数料	50,100	
営    業    外    収    益    合    計		288,115
【営業外費用】		
営    業    外    費    用    合    計		0
経常損益金額		－11,995,911
税引前当期純損益金額		－11,995,911
法人税等		0
当期純損益金額		－11,995,911

### 3. 株主資本等変動計算書

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書  
(自令和3年4月1日～至令和4年3月31日)

(単位：円)

	株主資本				純資産 合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	
		その他 利益剰余金	利益剰余金 合計		
		繰越利益剰余金			
前期末残高	99,000,000	40,384,869	40,384,869	139,384,869	139,384,869
当期変動額					
当期純利益	0	6,009,322	6,009,322	6,009,322	6,009,322
当期変動額合計	0	6,009,322	6,009,322	6,009,322	6,009,322
当期末残高	99,000,000	46,394,191	46,394,191	145,394,191	145,394,191

### 4. 個別注記表

個 別 注 記 表  
(自令和3年4月1日～至令和4年3月31日)

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

    資産の評価基準及び評価方法

        棚卸資産の評価基準及び評価方法

            最終仕入原価法による原価法によっています。

    固定資産の減価償却の方法

        有形固定資産    平成10年4月1日以後取得建物については定額法、及び平成28年4月1日以降取得した建物、建物附属設備、構築物については定額法、その他は定率法によっています。

        無形固定資産    定額法によっています。営業権（のれん）のうち平成29年3月末以前に取得したものは、5年間の定額法により償却しております。ソフトウェアは、利用可能期間（5年）による定額法により償却しています。

計算書類作成のための重要な事項

    ①リース取引の処理方法

        リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

    ②消費税等の会計処理

        消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

株主資本等変動計算書に関する注記

    発行済株式の数

        前期末株式数（発行済普通株式）                    1,980 株

        当期末株式数（発行済普通株式）                    1,980 株

